

教育課程 メニュー

【1】教育課程の編成方法 >

- 京都学舎（文学部・心理学部・経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部・社会学部） >
 1. 授業科目の区分 >
 2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目 >
 3. クラスの編成 >
- 瀬田学舎（農学部・先端理工学部） >
 1. 授業科目の区分 >
 2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目 >
 3. クラスの編成 >

【2】教養教育科目の教育目的及び履修方法

- 京都学舎（文学部・心理学部・経済学部・法学部・政策学部・国際学部） >
 1. 教養教育カリキュラムとは >
 2. 履修方法について >
 3. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録 >
 4. 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）履修について >
 5. 留学生の必修外国語科目の履修について >
 6. 教養教育科目開設科目 >
- 瀬田学舎（農学部） >
 1. 教養教育カリキュラムとは >
 2. 履修方法について >
 3. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録 >
 4. 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）履修について >
 5. 留学生の日本語科目の履修について >
 6. 教養教育科目開設科目 >
- 京都学舎（経営学部・社会学部） >
 1. 教養教育とは >
 2. 「仏教の思想」科目 >
 3. 言語科目 >
 4. 教養科目 >
 5. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録 >
 6. 留学生の必修外国語科目（日本語科目等） >
 7. 教養教育科目開設科目 >
- 瀬田学舎（先端理工学部） >
 1. 教養教育とは >
 2. 「仏教の思想」科目 >
 3. 言語科目 >
 4. 教養科目 >
 5. 教養教育科目の抽選登録科目 >
 6. 日本語科目等（留学生対象科目） >
 7. 教養教育科目開設科目 >

教育課程の編成方法

【1】教育課程の編成方法

京都学舎

対象： 文学部 心理学部 経済学部 経営学部 法学部 政策学部 国際学部 社会学部

1. 授業科目の区分

本学の教育課程（カリキュラム）の編成は、4年間（8セメスター）にわたっており、その内容は次のとおり構成されています。これらの分類のことを「授業科目の区分」といいます。

- ・ 教養教育科目（「仏教の思想」科目・言語科目・教養科目）
- ・ 専攻科目

2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目

すべての科目は必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目のいずれかに指定されています。

必修科目	卒業要件を満たすために必ず履修し単位を修得しなければならない科目です。この科目の単位が未修得の場合は、修得単位数の合計が卒業要件単位数を超えていても、卒業の認定を受けることができません。
選択必修科目	指定された科目の内から決められた数の科目を任意に選択して単位を修得しなければならない科目です。この科目も必修科目と同じく決められただけの単位数が未修得であれば、卒業の認定を受けることができません。また、これらの科目は、指定された単位数を超えて修得した場合、超えた分の単位数を選択科目の単位数の一部に充てることができます。
選択科目	どの科目を履修するかはすべて学生の自由に任されている科目です。ただし、卒業要件上、一定の単位数を修得することが義務づけられており、この要件を満たしていない場合は卒業の認定を受けることができません。
随意科目	主として各種の資格取得にかかわる科目であって、卒業要件の対象となりません。そのため、随意科目は教養教育科目、専攻科目には分類していません。

3. クラスの編成

(1) クラスとは

クラスとは教育上の効果を考慮して、受講者を適切な規模に分割したものです。

(2) クラスの種類

クラスには次の種類があります。

- ① 「仏教の思想」クラス
- ② 英語クラス
- ③ 初修外国語クラス
- ④ 専攻科目クラス（基礎演習等）
- ⑤ その他教育上の効果を考慮して設定するクラス

瀬田学舎

対象： 農学部 先端理工学部

1. 授業科目の区分

本学の教育課程（カリキュラム）の編成は、4年間（8セメスター）にわたっており、その内容は次のとおり構成されています。これらの分類のことを「授業科目の区分」といいます。

- ・ 教養教育科目（「仏教の思想」科目・言語科目・教養科目）
- ・ 専攻科目

2. 必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目

すべての科目は必修科目、選択必修科目、選択科目、随意科目のいずれかに指定されています。

必修科目	卒業要件を満たすために <u>必ず履修し単位を修得しなければならない科目です。</u> この科目の単位が未修得の場合は、修得単位数の合計が卒業要件単位数を超えていても、卒業の認定を受けることができません。
選択必修科目	指定された科目の内から決められた数の科目を任意に <u>選択して単位を修得しなければならない科目です。</u> この科目も必修科目と同じく決められただけの単位数が未修得であれば、卒業の認定を受けることができません。また、これらの科目は、指定された単位数を超えて修得した場合、超えた分の単位数を選択科目の単位数の一部に充てることができます。
選択科目	どの科目を履修するかはすべて学生の自由に任されている科目です。ただし、卒業要件上、一定の単位数を修得することが義務づけられており、この要件を満たしていない場合は卒業の認定を受けることができません。
随意科目	主として各種の資格取得にかかわる科目であって、卒業要件の対象となりません。そのため、随意科目は教養教育科目、専攻科目には分類していません。

3. クラスの編成

（1）クラスとは

クラスとは教育上の効果を考慮して、受講者を適切な規模に分割したものです。

（2）クラスの種類

クラスには次の種類があります。

- ① 「仏教の思想」クラス
- ② 英語クラス
- ③ 専攻科目クラス（基礎演習等）
- ④ その他教育上の効果を考慮して設定するクラス

教養教育科目の教育目的及び履修方法 京都学舎（文学部・心理学部・経済学部・法学部・政策学部・国際学部）

【2】教養教育科目の教育目的及び履修方法

京都学舎

対象： 文学部 心理学部 経済学部 法学部 政策学部 国際学部

1. 教養教育カリキュラムとは

（1）教養教育の理念・目的

龍谷大学の教養教育は、人間の根源的な問いからその内面を見つめる思考の幅を広げ、人間をとりまく多様な世界を知ることを通じて、自己を確立できる人間の育成を目指して開講されています。このため、建学の精神に基づく高い倫理性や豊かな人間性ととともに、知性・感性を兼ね備え、現代社会でたくましく生きる力を持った人間の形成、つまり、幅広い知識と知的な諸技法の修得に基づく論理的思考力や判断力の涵養により、社会性をもって現実を正しく理解する力と、国際的なコミュニケーション能力をもった「専門性を身につけた教養人の育成」の一翼を担うことを目的としています。

（2）教養教育科目とは

「浄土真宗の精神」を「建学の精神」とする龍谷大学は、大学としての教育理念・目的を「建学の精神に基づき、『真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする』ことのできる人間を育成する」と定めています。その具現化の一つとして、龍谷大学の長期計画である構想400では、「龍谷大学だからこそ」の人を育むとされており、「まごころ～Magokoro～」ある市民を育むことも目標として掲げています。本学は総合大学として幅広い学問分野を有し、教養教育と専攻教育とが両輪となって総合的な能力の育成を担い、「まごころ」ある市民を育む教育に取り組んでいます。「龍谷大学だからこそ」の人を育む、すなわち龍谷人になる一歩を皆さんは歩み始めています。

学生の皆さんは一人ひとり、多様な興味・関心を持っているでしょう。または、高校までと違って、大学では履修する科目を自由に選ぶことができますが、自由さ故に何を学んだら良いのか戸惑う方もいるかもしれません。そうした多様な興味・関心を持っていたり、迷っていたりする龍谷大学生には教養教育科目の受講をすすめます。

現代は、将来の予測が困難な時代と呼ばれています。教養教育の学びは、このような予測が困難な社会において方向性を見出す羅針盤、全体を俯瞰する海図を手に入れ、社会をよりよく生きていく力を身につけることにつながっていくでしょう。

①基礎教養・発展教養及び教養教育科目群について

基礎教養を主に学ぶ1・2年次では、教養教育を学ぶ意義を知り、学問の扉を開ききっかけを見つけるための科目を提供しており、「スタートアップ科目群」「ベーシック教養科目群」「全学共通教育科目群」で構成されています。基礎教養では、教養教育のおもしろさを実感するとともに、主体的・自立的な学びに誘い、真理探究の学問のおもしろさを知り、知的躍動を引き起こす学修者本位の学びを創造するカリキュラムとして展開します。

発展教養を学ぶ2年次からは、「アドバンスト教養科目群」「教養教育ゼミナール科目群」「アクティブ・ラーニング科目群」「融合型科目群」「学部等提供科目群」などを提供しています。

発展教養の中核をなす「アドバンスト教養科目群」の学びでは、多様で幅広い視野を身に付け、専門領域を相対化し、領域を越境する総合知を育みます。「教養教育ゼミナール科目群」「アクティブ・ラーニング科目群」の学びは、主体的・自立的な学びを学生自らが展開していくことができます。文理融合・領域融合の「融合型科目群」の学びでは、俯瞰力を身につけ、専門分野の領域を越え、自らの専門性を相対化するとともに、広く柔らかな視野を持った総合知を得ることができます。「学部・学部共通コース提供科目群」の学びでは、学生のテーマを持った主体的・自立的な学びや領域を融合する学び、分野を越えた多様で幅広い学びにつなげることができ

ます。

こうした教養教育の学びを通じて「専門性とまごころある市民性を備えた教養人（龍谷人）」になることをめざします。

＜教養教育科目群＞

対象： 文学部 心理学部 経済学部 法学部 政策学部 国際学部

基礎教養 大学での学びを始める入学間もない1年次向けに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝え、主体的・意欲的な学びを奨励する科目を展開します。	スタートアップ科目群 大学の学びを始める学生のみなさんに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝えるための科目群です。
	ベーシック教養科目群 学びの基礎となる思考の軸を身につけ、自身の専攻の相対化を図る力を養い、テーマを持った学びへ誘うことを目的とした科目群です。
	全学共通教育科目群 学内にある各種センター等の活動等を活かし、現代的なニーズを捉えた科目や社会で必要となる力を身につける科目を開講し、全学で共通した学びを提供することを目的とした科目群です。
発展教養 様々な学修経験を積んだ高年次（2年次以上）学生に、多様で幅広い学びや、テーマを持った主体的な学びに比べ、分野を超えた学びを組み合わせた総合知を育むための科目を展開します。	アドバンスト教養科目群 1年次で学んだ知識や思考を活かしつつ、より多様で幅広い視野を身につけ、複合的な気づきにつながる力を養うための科目群です。
	教養教育ゼミナール科目群 少人数で深い学び、自由で柔軟な授業内容や運営方法を通じて、自身の専攻を越えた視点を身につけ、主体的・自立的に学ぶ力を養うための科目群です。
	アクティブ・ラーニング科目群 アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBL等の手法を取り入れ、学修者本位の学びや主体的・自立的な学びを引き出すことを目的とした科目群です。
	融合型科目群（分離融合・領域融合） 文理に区分された学修体系や自身の専門分野の領域を越え、融合させることで新たな視野を拓き、俯瞰力を養い、総合知を育むことを目的とした科目群です。
	学部等提供科目群 学部・学部共通コースの専攻教育において導入・基礎にあたる科目を、他学部の学生が教養教育科目として学ぶことで、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした科目群です。

②教養教育分野別科目について

本学の教養教育は、「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目の3つの区分のもと、それぞれの分野別で構成されており、これら全体を教養教育科目とよびます。

＜教養教育分野別科目＞

対象： 文学部 心理学部 経済学部 法学部 政策学部

「仏教の思想」科目	・必修科目【「仏教の思想A/B」（各2単位）】 ・「歎異抄の思想Ⅰ/Ⅱ」「仏教の世界」「真宗教団史」 本学の建学の精神を涵養する科目が「仏教の思想」科目です。仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的とします。
-----------	--

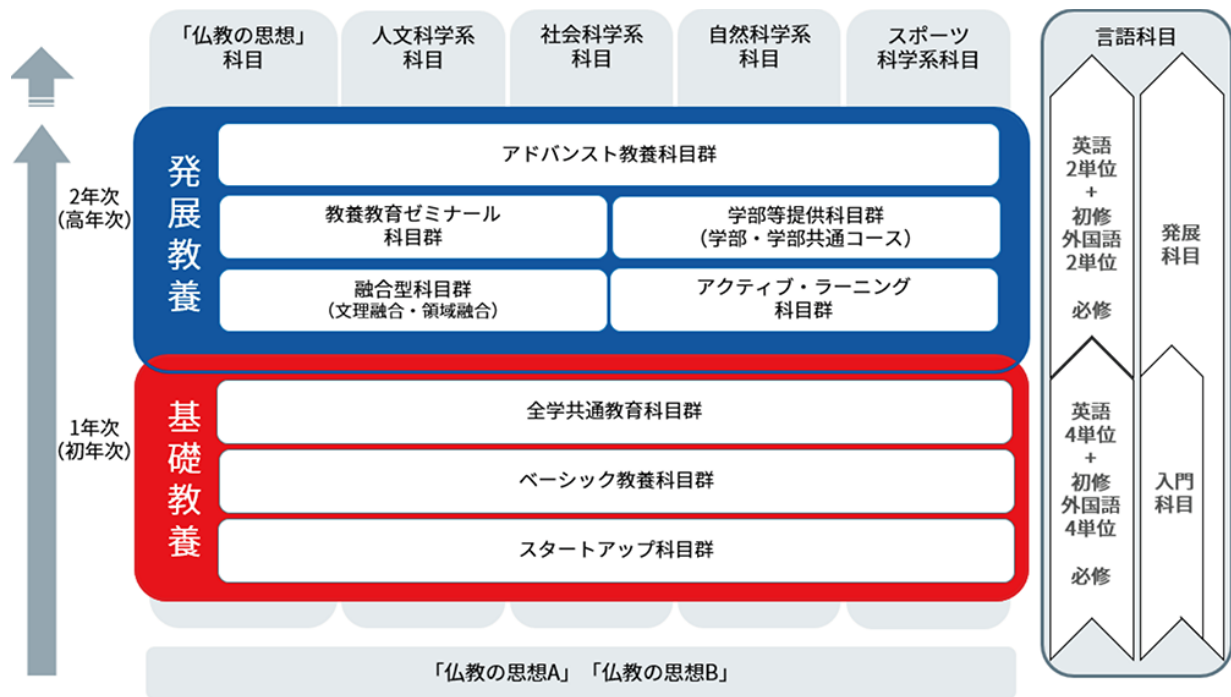
言語科目	・必修外国語科目【英語（6単位）+初修外国語（6単位）】 ・選択外国語科目 必修科目として、英語と初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語のうち1つを選択）の2言語を学びます。他にも選択科目としてポルトガル語、ロシア語、ラテン語、ギリシア語、ペルシア語、トルコ語、アラビア語を開設。外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し異文化理解を深めるとともに、自律的な学修態度を身につけることを目的とします。
教養科目	・人文科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などの分野に分かれ、人間の様々な文化や過去の経験を学ぶことを目的とします。
	・社会科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 社会科学の学びの入り口や基礎となる科目とともに、現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合うための科目を学びます。
	・自然科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 理数系の科目を通じて、社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養うことを目的とします。
	・スポーツ科学系科目 現代社会における人々の健康状況や余暇状況をふまえ、スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学びます。
	・学部・センター等提供科目 学内にいる各種センターや学部・学部共通コースから提供されている科目です。

対象： 国際学部

「仏教の思想」科目	・必修科目【「仏教の思想A/B」（各2単位）】 ・「歎異抄の思想Ⅰ/Ⅱ」「仏教の世界」「真宗教団史」 本学の建学の精神を涵養する科目が「仏教の思想」科目です。仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的とします。
教養科目	・人文科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などの分野に分かれ、人間の様々な文化や過去の経験を学ぶことを目的とします。
	・社会科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 社会科学の学びの入り口や基礎となる科目とともに、現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合うための科目を学びます。
	・自然科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 理数系の科目を通じて、社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養うことを目的とします。
	・スポーツ科学系科目 現代社会における人々の健康状況や余暇状況をふまえ、スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学びます。
	・学部・センター等提供科目 学内にいる各種センターや学部・学部共通コースから提供されている科目です。

<教養教育カリキュラム概念図>

対象： 文学部 心理学部 経済学部 法学部 政策学部 国際学部



- ※ 必修科目として、「仏教の思想A」「仏教の思想B」（各2単位）を履修する必要があります（全学部対象）。
- ※ 必修科目として、言語科目を計12単位（英語6単位・初修外国語6単位）履修する必要があります（国際学部は除く）。
- ※ 選択必修科目として、「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」の中から各1科目（2単位）以上修得する必要があります（国際学部グローバルスタディーズ学科は除く）。

<カリキュラムマップ>



(3) 教養教育科目群とは

教養教育科目群は、基礎教養と発展教養の区分のもと、多様な科目群で構成されています。

基礎教養

大学での学びを始める入学間もない1年次向けに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝え、主体的・意欲的な学びを奨励する科目を展開します。

スタートアップ科目群

大学の学びを始める学生みなさんに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝えるための科目群です。

<人文科学系科目>

宗教の世界A、宗教の世界B、アジアの文学A、アジアの文学B、日本の歴史A、日本の歴史B、歴史学のすすめ、教育学A、教育学B

<社会科学系科目>

日本国憲法、法学のすすめ、政治学のすすめ、社会学のすすめ、地理学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ、国際学のすすめ、文化人類学のすすめ、社会調査のすすめ、社会統計学のすすめ

<スポーツ科学系科目>

スポーツ科学のすすめ

ベーシック教養科目群

学びの基礎となる思考の軸を身につけ、自身の専攻の相対化を図る力を養い、テーマを持った学びへ誘うことを目的とした科目群です。

<人文科学系科目>

哲学入門、哲学A、倫理学入門、倫理学A、クリティカル・シンキング、宗教学入門、宗教の世界A、宗教の世界B、アジアの思想A、アジアの思想B、日本の文学A、日本の文学B、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋の文学A、西洋の文学B、文章表現法A、文章表現法B、言語と文化、日本の歴史A、日本の歴史B、アジアの歴史A、アジアの歴史B、西洋の歴史A、西洋の歴史C、現代世界の歴史A、現代世界の歴史B、心理学入門、心理学A、心理学B、教育学A、教育学B

<社会科学系科目>

日本国憲法、法学のすすめ、政治学のすすめ、社会学のすすめ、地理学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ、国際学のすすめ、文化人類学のすすめ、社会調査のすすめ、社会統計学のすすめ、人権論A、人権論B、データサイエンス・AI入門

<自然科学系科目>

数学入門、確率・統計入門、数学への旅、行列と行列式、微分と積分、物理科学の世界、宇宙の科学Ⅰ、時間と空間の科学、自然科学史Ⅰ、生物科学のすすめ、生命科学のすすめ、生命科学、生態学のすすめ、人類学のすすめ、地球科学のすすめ、地球科学、日本の自然、情報科学入門、情報科学実習

<スポーツ科学系科目>

現代社会とスポーツ、スポーツ技術学演習、人間とスポーツ、スポーツ科学最前線

全学共通教育科目群（学内センター等提供科目）

学内にある各種センター等の活動等を活かし、現代的なニーズを捉えた科目や社会で必要となる力を身につける科目を開講し、全学で共通した学びを提供することを目的とした科目群です。

<キャリアセンター>

キャリア入門、キャリア・ディスカバリー

<グローバル教育推進センター>

みんなのコミュニケーションA、みんなのコミュニケーションB、Inclusive Communication、みんなで学ぶ国際ビジネス事情、英語で学ぶ日本の社会A、英語で学ぶ日本の社会B

<ユネスソーシャルビジネスセンター（REC）>

仏教SDGs 概論、アントレプレナーシップ入門、テクノロジーと事業創出、ソーシャルインパクト概論、協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）

<学修支援・教育開発センター>

アカデミック・ライティング入門

<ボランティア・NPO活動センター>

ボランティア・NPO入門

<データサイエンス教育プログラム運営委員会>

データサイエンス・AI入門、データサイエンス基礎、AI基礎

発展教養

様々な学修経験を積んだ高年次（2年次以上）学生に、多様で幅広い学びや、テーマを持った主体的な学びに応え、分野を越えた学びを組み合わせた総合知を育むための科目を展開します。

アドバンスト教養科目群

1年次で学んだ知識や思考を活かしつつ、より多様で幅広い視野を身につけ、複合的な気づきにつながる力を養うための科目群です。

<「仏教の思想」科目>

歎異抄の思想Ⅰ、歎異抄の思想Ⅱ、真宗教団史

<人文科学系科目>

哲学B、倫理学B、論理学、日本の文学C、歴史学、アジア交流史、西洋の歴史B、応用心理学A、応用心理学B、芸術の世界A、芸術の世界B、日本の思想、アジアの文化、現代社会と教育A、現代社会と教育B、教育原論A、教育原論B、学習・発達論A、学習・発達論B、大学論、グローバル・ヒストリー、文化交流論、西洋の文学C、西洋の文学D

<社会科学系科目>

現代社会とメディア、現代社会と福祉、現代社会と法、環境と社会、平和学A、ジェンダー論、国際社会論、現代社会の諸問題、地域論、企業と会計、現代社会と労働、社会思想史、グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）、グローバル・シチズンシップB（民主主義）、グローバル・シチズンシップC（平和構築）、グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）、データサイエンス基礎、AI基礎

<自然科学系科目>

数理統計学、数理と論証、数理と計算、数学の世界、宇宙の科学II、自然科学史II、エネルギー入門、科学論、技術論、生命誌、植物の自然誌、動物の自然誌、民族の自然誌、人類進化学、人間の生物学I、人間の生物学II、情報科学I、情報科学II

<スポーツ科学系科目>

健康とスポーツ、スポーツと人権・平和、スポーツ文化史

教養教育ゼミナール科目群

少人数で深い学び、自由で柔軟な授業内容や運営方法を通じて、自身の専攻を越えた視点を身につけ、主体的・自立的に学ぶ力を養うための科目群です。

<人文科学系科目>

教養教育ゼミナール（人文科学）

<社会科学系科目>

教養教育ゼミナール（社会科学）

<自然科学系科目>

教養教育ゼミナール（自然科学）

<スポーツ科学系科目>

教養教育ゼミナール（スポーツ科学）

アクティブ・ラーニング科目群

アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBL等の手法を取り入れ、学修者本位の学びや主体的・自立的な学びを引き出すことを目的とした科目群です。

※「アクティブ・ラーニング科目群」は『発展教養』として位置づけますが、1年次配当科目も含んでいます。

<社会科学系科目>

社会学のすすめ〈1年次〜〉、社会調査のすすめ〈1年次〜〉、人権論A〈1年次〜〉、人権論B〈1年次〜〉、データサイエンス・AI入門〈1年次〜〉、データサイエンス基礎、AI基礎、現代社会の諸問題、現代社会とメディア、社会課題発見演習〈1年次〜〉、社会課題解決演習

<自然科学系科目>

自然誌実習、野外観察法

<文学部>

近代文学講読（C）A、近代文学講読（C）B、情報出版学講読（B）A

<政策学部>

地域課題発見演習

<社会学部>

社会参画技法、社会起業演習A、社会起業演習B

<英語コミュニケーションコース>

Global Understanding in English、Forum

融合型科目群（文理融合・領域融合）

文理に区分された学修体系や自身の専門分野の領域を越え、融合させることで新たな視野を拓き、俯瞰力を養い、総合知を育むことを目的とした科目群です。

※「融合型科目群」は『発展教養』として位置づけますが、1年次配当科目も含んでいます。

<「仏教の思想」科目>

仏教の世界

<社会科学系科目>

現代社会の諸問題、地理学のすすめ〈1年次〜〉（※再掲）

<自然科学系科目>

環境学〈1年次〜〉、平和学B、里山学Ⅰ〈1年次〜〉

<経営学部>

経営科学（※再掲）

<政策学部>

地域レジリエンス論（※再掲）

学部等提供科目群

学部・学部共通コースの専攻教育において導入・基礎にあたる科目を、他学部の学生が教養教育科目として学ぶことで、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした科目群です。

※教養教育科目としては2年次からの履修を基本としますが、学部等で1年次配当の科目は、1年次での履修を可とする場合もあります。

<文学部提供科目>

真宗教団史、仏教美術（イコノロジー）入門A、仏教美術（イコノロジー）入門B、サンスクリット語仏典入門A1、サンスクリット語仏典入門A2、チベット語仏典入門A1、チベット語仏典入門A2、古典文学講読（A）A、古典文学講読（A）B、近代文学講読（C）A、近代文学講読（C）B、情報出版学講読（B）A、米文学史A、米文学史B

<心理学部提供科目>

脳と心、仏教と心理学

<経済学部提供科目>

経済英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、経済社会論入門、地域産業活性化プロジェクトⅠ（京の老舗と不易流行）、地域産業活性化プロジェクトⅡ（京の老舗と不易流行）、留学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

<経営学部提供科目>

経営科学、社会データ分析、ワークルール入門、消費者問題論

<政策学部提供科目>

比較社会政策、グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）、グローバル・シチズンシップB（民主主義）、グローバル・シチズンシップC（平和構築）、グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）、公務員論、国際ビジネス論、財政学、地方財政論、地域レジリエンス論、地域課題発見演習

<国際学部提供科目>

会話分析入門A、会話分析入門B、言語習得論、異文化間コミュニケーション論、Introduction to Sociolinguistics、国際関係入門、政治思想概論、国際開発協力学、グローバル・ヒストリー入門、Introduction to Cultural Anthropology、文化遺産学、南アジアの言語、グローバリゼーションとアフリカ、グローバリゼーションと東アジア、グローバリゼーションと南アジア、グローバリゼーションとヨーロッパ、グローバリゼーションとラテンアメリカ、グローバル・ガバナンス論、宗教文化学入門、日本語教育入門、世界文学入門、都市計画入門、自然人類学入門、東西文化交流入門

<国際関係コース提供科目>

英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

<英語コミュニケーションコース提供科目>

Global Understanding in English、Forum

<環境サイエンスコース提供科目>

※科目の中には、複数の科目群に跨るものがあります。科目の詳細については、「6. 教養教育科目開設科目」を確認してください。

(4) 教養教育分野別科目とは

本学の教養教育は、「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目の3つの区分のもと、それぞれの分野別で構成されています。

「仏教の思想」科目

本学は「親鸞聖人によって開示された浄土真宗の精神を建学の精神にもち、真の人間たるにふさわしい世界を開くことをめざし、深い学識と教養をもちながら国際社会の一員として努力する人間を育成すること」をめざしています。

「仏教の思想」は本学の建学の精神を学ぶために必修科目として位置づけられ、大学の一つの個性となっています。この講義では本学のよき伝統を知り、仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的としています。「仏教の思想」は、各学部のカリキュラムに沿って履修しやすいように、クラス指定で1年次の開講されています。また、入学した学生にいち早く建学の精神を学んでほしいという願いもあります。この「仏教の思想」を平易に理解するために、次のような教育目標を掲げています。

1. 人間にとっての宗教の意義を明らかにする。真実の宗教を見極める眼を育てる。
2. 倫理・歴史として「仏教の思想」を学ぶ。
3. 人間学として「仏教の思想」を学ぶ。
4. 広い視野を育てるために「仏教の思想」を学ぶ。
5. 現代世界のあり方を考える思想として「仏教の思想」を学ぶ。
6. いのちのかけがえのなさに目覚め、異なる意見と対話・交流しあえるような姿勢を培うために、「仏教の思想」を学ぶ。
7. 「仏教の思想」を通して、龍谷大学の建学の精神を学ぶ。

<「仏教の思想」科目>

仏教の思想A ※必修、仏教の思想B ※必修、歎異抄の思想Ⅰ、歎異抄の思想Ⅱ、仏教の世界、真宗教団史

言語科目

外国語教育では、母語とは異なる言語に接することで、母語に基づく思考形式とは異なる思考形式への認識を深めることができます。これにより他の言語圏の文化、芸術、社会に現れたさまざまな伝統や価値観を偏りなく理解する能力が培われます。それは、母語をも客観的に眺め、母語を含めた自らの言語能力を見直すためのよい機会となるでしょう。この意味で外国語修得は大学生活に必須の学問的基礎の一つであり、この目標を達成するには地道な努力の継続が欠かせないこと、また、教室外での実践的学習も必要であることを、心に留めておいてください。

[英語]

●必修外国語科目・英語（英語総合）の到達目標

標準的な語彙を用いた文字または音声による英語の内容を的確に捉えられるようにします。また、基本的な文法能力や談話能力を身につけたうえで、さらに発展的な高次の学習環境を自発的に創造できるような自律的な学習態度を身につけます。

●選択外国語科目・英語（英語セミナーなど）の到達目標

基礎的な英語運用能力のさらなるレベルアップをはかるとともに、専門分野での学習、海外留学、資格試験対策など、個々の学生のニーズに合わせた知的情報の受信・発信能力のさらなる向上をめざします。

[初修外国語]

本学では、英語以外の外国語で、歴史的・社会的・文化的に見て影響力の大きな言語の中から、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語の5言語を「初修外国語」として必修科目に組み入れています。

英語以外の外国語を学ぶことにより、その運用能力を身につけるとともに、言語一般の普遍的構造や機能に対する理解を深め、世界を複眼的に考察する視点を養います。

<英語科目>

英語総合1 (A) ※必修、英語総合1 (B) ※必修、英語総合2 (A) ※必修、英語総合2 (B) ※必修、英語総合3 ※必修、英語総合4 ※必修、英語セミナーA、英語セミナーB、英語セミナーC、英語セミナーD、英語セミナーE、英語セミナーF、英語セミナーG、英語セミナーI、英語セミナーJ、英語セミナーK、Culture through English 1、Current Topics through English 1、Culture through English 2、Current Topics through English 2

<初修外国語科目>

- ドイツ語Ⅰ ※必修、ドイツ語Ⅱ ※必修、ドイツ語ⅢA ※必修、ドイツ語ⅢB ※必修、ドイツ語セミナーⅠ A、ドイツ語セミナーⅠ B、ドイツ語セミナーⅠ C、ドイツ語セミナーⅠ D、ドイツ語セミナーⅡ A、ドイツ語セミナーⅡ B、ドイツ語セミナーⅡ C、ドイツ語セミナーⅡ D、ドイツ語コミュニケーションⅠ、ドイツ語コミュニケーションⅡ
- フランス語Ⅰ ※必修、フランス語Ⅱ ※必修、フランス語ⅢA ※必修、フランス語ⅢB ※必修、フランス語セミナーⅠ A、フランス語セミナーⅠ B、フランス語セミナーⅠ C、フランス語セミナーⅠ D、フランス語セミナーⅡ A、フランス語セミナーⅡ B、フランス語セミナーⅡ C、フランス語セミナーⅡ D、フランス語コミュニケーションⅠ、フランス語コミュニケーションⅡ
- 中国語Ⅰ ※必修、中国語Ⅱ ※必修、中国語ⅢA ※必修、中国語ⅢB ※必修、中国語セミナーⅠ A、中国語セミナーⅠ B、中国語セミナーⅠ C、中国語セミナーⅠ D、中国語セミナーⅡ A、中国語セミナーⅡ B、中国語セミナーⅡ C、中国語セミナーⅡ D、中国語コミュニケーションⅠ、中国語コミュニケーションⅡ
- スペイン語Ⅰ ※必修、スペイン語Ⅱ ※必修、スペイン語ⅢA ※必修、スペイン語ⅢB ※必修、スペイン語セミナーⅠ A、スペイン語セミナーⅠ B、スペイン語セミナーⅠ C、スペイン語セミナーⅠ D、スペイン語セミナーⅡ A、スペイン語セミナーⅡ B、スペイン語セミナーⅡ C、スペイン語セミナーⅡ D、スペイン語コミュニケーションⅠ、スペイン語コミュニケーションⅡ
- コリア語Ⅰ ※必修、コリア語Ⅱ ※必修、コリア語ⅢA ※必修、コリア語ⅢB ※必修、コリア語セミナーⅠ A、コリア語セミナーⅠ B、コリア語セミナーⅠ C、コリア語セミナーⅠ D、コリア語セミナーⅡ A、コリア語セミナーⅡ B、コリア語セミナーⅡ C、コリア語セミナーⅡ D、コリア語コミュニケーションⅠ、コリア語コミュニケーションⅡ
- ポルトガル語Ⅰ、ポルトガル語Ⅱ、ポルトガル語ⅢA、ポルトガル語ⅢB
- ロシア語Ⅰ、ロシア語Ⅱ、ロシア語ⅢA、ロシア語ⅢB
- ラテン語Ⅰ、ラテン語Ⅱ
- ギリシア語Ⅰ、ギリシア語Ⅱ、ペルシア語Ⅰ、ペルシア語Ⅱ、トルコ語Ⅰ、トルコ語Ⅱ、アラビア語Ⅰ、アラビア語Ⅱ
- 日本語

※初修外国語の必修科目については、「ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語」のうち、履修する言語をいずれか1つ選択します。

人文科学系科目

人文科学は、人間の様々な文化や過去の経験を研究する学問領域で、大きくは文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などに分かれます。人文科学系科目では、先入観や偏見から自由になってものごとを考える力、芸術作品を鑑賞する能力、感情や意見の表現の仕方、人間の心理を理解する方法などを身につけることを目的にしています。

<人文科学系科目>以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

哲学入門、哲学A、哲学B、倫理学入門、倫理学A、倫理学B、論理学、クリティカル・シンキング、宗教学入門、宗教の世界A、宗教の世界B、アジアの思想A、アジアの思想B、日本の文学A、日本の文学B、日本の文学C、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋の文学A、西洋の文学B、文章表現法A、文章表現法B、言語と文化、歴史学のすすめ、歴史学、日本の歴史A、日本の歴史B、アジアの歴史A、アジアの歴史B、アジア交流史、西洋の歴史A、西洋の歴史B、西洋の歴史C、現代世界の歴史A、現代世界の歴史B、心理学入門、心理学A、心理学B、応用心理学A、応用心理学B、教育学A、教育学B、芸術の世界A、芸術の世界B、日本の思想、アジアの文化、現代社会と教育A、現代社会と教育B、教育原論A、教育原論B、学習・発達論A、学習・発達論B、大学論、グローバル・ヒストリー、文化交流論、西洋の文学C、西洋の文学D、教養教育ゼミナール（人文科学）

社会科学系科目

社会科学は、絶えず変動し複雑さを増す現代社会を広く見渡すとともに、現代社会の諸問題を多角的に捉え、思考・判断する力を養います。そのために、様々な学問分野が培ってきた「ものの見方」や「考え方」、さらには幅広い知識や知的な諸技法を学びます。

＜社会科学系科目＞以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

日本国憲法、法学のすすめ、政治学のすすめ、社会学のすすめ、地理学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ、国際学のすすめ、文化人類学のすすめ、社会調査のすすめ、社会統計学のすすめ、人権論A、人権論B、現代社会とメディア、現代社会と福祉、現代社会と法、環境と社会、平和学A、ジェンダー論、国際社会論、現代社会の諸問題、地域論、企業と会計、現代社会と労働、社会思想史、データサイエンス・AI入門、データサイエンス基礎、AI基礎、社会課題発見演習、社会課題解決演習、グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）、グローバル・シチズンシップB（民主主義）、グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）、グローバル・シチズンシップC（平和構築）、教養教育ゼミナール（社会科学）

自然科学系科目

自然科学は社会生活を送るうえで重要な分野の一つをなしています。社会人になってからの生活や社会活動の際に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養います。数学、情報科学、物理学、天文学、科学史、地球科学、生物学、環境学、化学などの主要分野をカバーする科目を開設します。

＜自然科学系科目＞以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

数学入門、確率・統計入門、数学への旅、行列と行列式、微分と積分、数理統計学、数理と論証、数理と計算、数学の世界、物理科学の世界、宇宙の科学Ⅰ、宇宙の科学Ⅱ、時間と空間の科学、自然科学史Ⅰ、自然科学史Ⅱ、生物科学のすすめ、生命科学のすすめ、生命科学、生態学のすすめ、人類学のすすめ、環境学、地球科学のすすめ、地球科学、エネルギー入門、科学論、技術論、平和学B、里山学、日本の自然、生命誌、植物の自然誌、動物の自然誌、民族の自然誌、人類進化学、人間の生物学Ⅰ、人間の生物学Ⅱ、自然誌実習、野外観察法、情報科学入門、情報科学Ⅰ、情報科学Ⅱ、情報科学実習、教養教育ゼミナール（自然科学）

スポーツ科学系科目

生涯にわたる健康で文化的な生活の基礎を築くため、実際に身体活動・スポーツを行う実習・演習科目や行動変容を促す講義科目を設定しています。各科目での学修を通じて、自身の身体に向き合うとともに、文化としてのスポーツへの理解を深め、現代社会におけるスポーツの役割や人間の身体がもつ可能性について考えることを目的とします。

＜スポーツ科学系科目＞

健康とスポーツ、現代社会とスポーツ、スポーツ技術学演習※、人間とスポーツ、スポーツと人権・平和、スポーツ文化史、スポーツ科学最前線、スポーツ科学のすすめ、教養教育ゼミナール（スポーツ科学）

※「スポーツ技術学演習」

- ① 「スポーツ技術学演習」を履修するためには、本学で行う健康診断を受けておかなければなりません。健康診断の日程については履修説明会や本学ホームページにて確認してください。
- ② 各演習ともに、第1回目の授業は「体育館メインフロア（2階）」に集合してください。

2. 履修方法について

（1）「仏教の思想」科目の履修方法

① 必修科目

「仏教の思想A」「仏教の思想B」は必修科目です。配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。

② 選択科目

「仏教の世界」「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」「真宗教団史」は選択科目で、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

③ クラス指定

授業内容の系統性を確保するため、「仏教の思想A」「仏教の思想B」は同一の授業担当者になります。学部指定やクラス指定を行っていますので、時間割の指示にしたがって履修登録してください。なお、9月入学生については、所属学部教務課の指示にしたがって履修してください。

④ 「仏教の思想A」「仏教の思想B」の再履修

配当されたセメスターで不合格となった場合は、2年次以降に次のとおり再度履修してください。

なお、この場合は、上記③（同一の授業担当者による受講及びクラス指定）は適用しません。各自、履修登録を行ってください。

年次	セメスター	科目名
2年次 (注1)	3	「仏教の思想A」(正規クラスを再履修として履修)
	4	「仏教の思想B」(正規クラスを再履修として履修)
3年次～ (注2)	5	「仏教の思想A」(正規クラスを再履修として履修) 「仏教の思想B」(再履修クラス)
	6	「仏教の思想A」(再履修クラス) 「仏教の思想B」(正規クラスを再履修として履修)

(注1) 経済学部2年次の再履修については、3セメスターで「仏教の思想A」、4セメスターで「仏教の思想B」が履修できる再履修クラスで履修をしてください。

(注2) 3年次以上は、同一セメスターで、A・Bを同時履修することが可能です。

(2) 言語科目の履修方法

対象： 文学部 心理学部 経済学部 法学部 政策学部

① 必修外国語科目の履修

「読む・書く・聴く・話す」といった言語能力の向上を図るとともに、国際社会において適切な判断・主張・行動ができるための素地の育成をめざします。

計12単位を必修とし、2年間で英語と初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語のうち1つを選択）を学びます。

<開設科目・配当セメスター>

1年次		2年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター
＜英語 4単位＞		＜英語 2単位＞	
英語総合1（A） （週1回：1単位）	英語総合2（A） （週1回：1単位）	英語総合3 （週1回：1単位）	英語総合4 （週1回：1単位）
英語総合1（B） （週1回：1単位）	英語総合2（B） （週1回：1単位）		
＜初修外国語 4単位＞		＜初修外国語 2単位＞	
初修外国語Ⅰ （週2回：2単位）	初修外国語Ⅱ （週2回：2単位）	初修外国語ⅢA （週1回：1単位）	初修外国語ⅢB （週1回：1単位）

<初修外国語の言語選択スケジュール>

＜入学前＞ Web手続き	初修外国語の言語選択希望調査 「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」「コリア語」から、履修を希望する順に言語を選択します。
-----------------	---



＜1年次＞ Web履修登録画面 (4月)	初修外国語の言語発表 言語選択希望調査をふまえ、第1学期（前期）の履修登録時に、Web履修登録画面にて履修する言語を発表します。 ※必ずしも希望した順の言語が履修できるとは限りません。
----------------------------	---

②習熟度別クラス編成

英語のクラスは、習熟度別クラス編成を行っています。これは、既修の英語の知識、能力を踏まえつつ、より学生の実態に即した教育を行うためのものです。

1年次クラスは入学時に実施する英語クラス編成テスト（プレイスメントテスト）、2年次クラスは1年次の12月頃に実施する英語クラス編成テスト（英語確認テスト）の得点結果によって編成します。

③先修制

必修外国語科目のうち以下の科目には先修制が定められています。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名及び単位数
ドイツ語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠB	ドイツ語Ⅰ（2単位）
フランス語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠB	フランス語Ⅰ（2単位）
中国語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠB	中国語Ⅰ（2単位）
スペイン語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠB	スペイン語Ⅰ（2単位）
コリア語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠB	コリア語Ⅰ（2単位）

④再履修

必修外国語科目が不合格になった場合は、定められた方法により、再履修しなければなりません。

再履修するには、受講予定者自身が履修登録期間中に履修登録を行う必要があります。希望の曜講時を選択し登録してください。

※受講者数が均等になるよう調整するため、担当者やクラスを選択できない場合があります。

※履修方法等については、科目ごとに異なりますので注意してください。

○英語の再履修について

英語総合の再履修	再履修用科目「英語総合（再）」を、必要単位数（不合格となった科目数）履修してください。評価の最高点は79点となります。 <u>なお、すでに単位を修得した「英語総合（再）」と同じ開講期・曜講時に開講する「英語総合（再）」は、再度履修することはできません。</u>
----------	---

例：第2学期（後期）月曜日5講時に開講する「英語総合（再）」の単位を修得した場合、次年度以降、第2学期（後期）月曜日5講時に開講する「英語総合（再）」は履修できません。ただし、第1学期（前期）月曜日5講時やその他の曜日に開講する「英語総合（再）」は履修できます。

○初修外国語の再履修について

初修外国語Ⅰ・Ⅱの再履修	不合格となった科目の再履修クラスあるいは正規クラスを選択して履修してください。 ※クラス名は、別途配布の時間割表やWeb履修登録画面にて確認のこと。
初修外国語ⅢⅠA～ⅢⅠBの再履修	不合格となった科目あるいは再履修用科目（○○○語Ⅲ（再））を履修してください。 例）ドイツ語ⅢⅠAを不合格となった場合、ドイツ語ⅢⅠAあるいはドイツ語Ⅲ（再）を履修。

＜選択した必修外国語（初修外国語）科目以外の必修外国語科目（初修外国語）を履修したい場合（2年次生以降）＞

各自が選択した必修外国語（初修外国語）科目以外で、先修条件を満たしている必修外国語（初修外国語）科目は履修することができます。履修を希望する場合は、所属学部教務課にある「希望届」を所属学部教務課に提出してください。ただし、「希望届」の内容、各言語の開講曜日、クラス編成などの条件により、許可されない場合があります。

修得した単位数はフリーゾーンとして卒業要件に含むことができます。

例：中国語を選択している学生が、「スペイン語Ⅰ」を履修し修得した単位

＜初修外国語の言語を変更したい場合（2年次生以降）＞

一旦選択した初修外国語の履修を放棄し、他の言語への変更を特に希望する場合は、所属学部教務課にある「変更理由書」を、所属学部教務課に提出してください。ただし、「変更理由書」の内容、各言語の開講曜日、クラス編成などの条件により、許可されない場合があります。変更が認められた場合は、新たに「Ⅰ」から履修してください。

変更前に修得した言語の単位はフリーゾーンとして卒業要件に含むことができます。

例：「ドイツ語Ⅰ」の単位修得後、フランス語に言語変更した場合、先に修得した「ドイツ語Ⅰ」は「フランス語Ⅰ」として読み替えられませんので注意が必要です。

⑤選択外国語科目の履修

選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目が開設されています。高度な運用能力（読む・聴く・話す・書く）の育成を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。なお、選択外国語科目は教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

【入門科目】開設言語	【発展科目】開設言語
ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、ラテン語、ギリシア語、ペルシア語、トルコ語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、ロシア語

＜English Immersion Programについて＞

English Immersion Programは、2年次に1年間で「Current Topics through English 1/2」と「Culture through English 1/2」の4科目を集中的に学ぶプログラムです。英語を用いて文化や時事問題を学び、すべての授業は英語で行われます。授業では、ディスカッションやグループワークを通じて多様な価値観を理解し、プレゼンテーションやエッセイ作成のスキルを養います。

＜選択外国語 開設科目・配当セメスター＞

		1年次		2年次		3年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター
英語	【発展科目】	英語セミナーA (2単位)		英語セミナーD (2単位)	Current Topics through English 2 (2単位)		
		英語セミナーB (2単位)		英語セミナーH (2単位)	Culture through English 2 (2単位)		
		英語セミナーC (2単位)		英語セミナーJ (2単位) Current Topics through English 1 (2単位)			
		英語セミナーE (2単位)		英語セミナーK (2単位) Culture through			

				gh English 1 (2単位)			
		英語セミナーF (2単位)					
		英語セミナーG (2単位)					
		英語セミナーI (2単位)					
		英語資格試験セミナー (2単位/サマーセッション)					
		海外英語研修（注） (2単位/集中)					
初 修 外 国 語	【入門科目】 ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 韓国語				コミュニケー ションⅠ (2単位)	コミュニケー ションⅡ (2単位)	
	【発展科目】 ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 韓国語			セミナーⅠA (2単位)	セミナーⅠB (2単位)	セミナーⅡA (2単位)	セミナーⅡB (2単位)
				セミナーⅠC (2単位)	セミナーⅠD (2単位)	セミナーⅡC (2単位)	セミナーⅡD (2単位)
	【入門科目】 ラテン語 ギリシア語 ペルシア語 トルコ語 アラビア語 ポルトガル語 ロシア語			Ⅰ (2単位)	Ⅱ (2単位)		
	【発展科目】 ポルトガル語 ロシア語					ⅢA (2単位)	ⅢB (2単位)

（注）「海外英語研修」（2単位）は1年次生と2年次生のみ履修が可能です。グローバル教育推進センターにおいて申込み手続きを行ってください（Web履修登録不要）。

⑥先修制

選択外国語科目のうち以下の科目には先修制が定められています。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名及び単位数
ドイツ語セミナーⅠA～ⅠD	「ドイツ語Ⅰ」（2単位）
フランス語セミナーⅠA～ⅠD	「フランス語Ⅰ」（2単位）
中国語セミナーⅠA～ⅠD	「中国語Ⅰ」（2単位）
スペイン語セミナーⅠA～ⅠD	「スペイン語Ⅰ」（2単位）
韓国語セミナーⅠA～ⅠD	「韓国語Ⅰ」（2単位）

ドイツ語セミナーⅡA～ⅡD	「ドイツ語ⅢA～ⅢB」(計2単位)または「ドイツ語セミナーⅠA～ⅠD」(各2単位)より1科目(2単位)
フランス語セミナーⅡA～ⅡD	「フランス語ⅢA～ⅢB」(計2単位)または「フランス語セミナーⅠA～ⅠD」(各2単位)より1科目(2単位)
中国語セミナーⅡA～ⅡD	「中国語ⅢA～ⅢB」(計2単位)または「中国語セミナーⅠA～ⅠD」(各2単位)より1科目(2単位)
スペイン語セミナーⅡA～ⅡD	「スペイン語ⅢA～ⅢB」(計2単位)または「スペイン語セミナーⅠA～ⅠD」(各2単位)より1科目(2単位)
コリア語セミナーⅡA～ⅡD	「コリア語ⅢA～ⅢB」(計2単位)または「コリア語セミナーⅠA～ⅠD」(各2単位)より1科目(2単位)
ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語コミュニケーションⅠ」(2単位)
フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語コミュニケーションⅠ」(2単位)
中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語コミュニケーションⅠ」(2単位)
スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語コミュニケーションⅠ」(2単位)
コリア語コミュニケーションⅡ	「コリア語Ⅰ」(2単位)または「コリア語コミュニケーションⅠ」(2単位)
英語セミナーD,H,J,K	「英語総合1(A),1(B),2(A),2(B)」(計4単位)
ポルトガル語Ⅱ、ⅢA,ⅢB	「ポルトガル語Ⅰ」(2単位)
ロシア語Ⅱ、ⅢA,ⅢB	「ロシア語Ⅰ」(2単位)
ペルシア語Ⅱ	「ペルシア語Ⅰ」(2単位)

(3) 教養科目の履修方法

教養科目は、科目群のほか「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」「スポーツ科学系科目」の4つの分野に分類されており、それぞれに教養教育科目群が構成されています。偏りなく履修することで、幅広い教養を身につけることを可能にしています。

すべての教養科目は自由に選択できますが、選択必修として「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」の中から各1科目(2単位)以上修得する必要があります(分野必修)。なお、「スポーツ科学系科目」及び2単位を超えて修得した単位については、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

それぞれの教養教育分野及び教養教育科目群の特徴を確認して履修を行うようにしてください。

※科目によっては学部や学年が指定されています。履修登録時には注意してください。

(4) 単位認定の方法

単位は、それぞれの科目ごとに認定されます。

(5) 開講方式及び履修方法

- ① すべての科目には配当セメスターが設定されており、配当セメスターより前のセメスターにおいては履修できません。
- ② 同一科目名の授業の中にも、セメスター型、通年型の開講方式があり、いずれの方式の授業でも履修できます(ただし、1科目のみ)。

- ③ 同一科目名で授業担当者が異なる場合でも同一科目として取り扱います。
よって、同じセメスターにおいて、2つ以上同時に履修することや一度単位認定された科目を再度履修することはできません。
- ④ 同一の科目名でありながら、「〇〇A」「〇〇B」とある科目や「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」「〇〇Ⅲ」とある科目は、それぞれ独立した科目であり、いずれも卒業要件として認定されます。「〇〇A」という科目を修得していなくても、「〇〇B」の履修は可能です。なお、「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」「〇〇Ⅲ」の「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」は科目内容のグレードを表していますので、できるだけ順序だてて履修してください。

3. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録

必修科目を除く教養教育科目では、各授業科目の受講者数を適正規模に調整するために定員を超過する場合には抽選を行うことがあります。

したがって、必修科目を除く教養教育科目の受講に際しては、年次にかかわらず、履修登録期間に抽選登録科目の履修登録を行う必要があります。

抽選登録科目は上限履修登録数及び学期ごとに定められている履修登録制限単位数に基づき、履修計画をたてた上で、登録を行ってください（一部抽選が不要な科目もありますので、以下の「(5) 抽選が不要な科目」を参照してください）。

履修登録の結果、受講が許可された科目は、Web履修登録画面にあらかじめ確定した状態で表示されます。その場合、登録の取消はできませんので注意してください。

なお、履修登録で希望した科目の受講が許可されなかった場合や、同期間で履修登録を行わなかった場合でも、Web履修登録画面に表示されている科目を選択し履修登録することができます。

(1) 抽選登録科目の登録方法

本学ホームページの「ポータルサイト」から、Web履修登録画面にアクセスの上、履修を希望する抽選登録選科目を選択します。

履修登録期間については、履修説明会及びポータルサイトで確認してください。

(2) 抽選登録科目（うち、教養教育科目のみ対象）の上限履修登録単位

第1学期（前期）（通年科目含む）：7科目

第2学期（後期）：5科目（ただし、文学部、心理学部については、7科目）

なお、4年次生には抽選登録科目の制限はありません。

(3) 抽選登録科目の履修登録結果発表

履修登録結果はWeb履修登録画面で確認してください。

なお、発表日時（履修登録期間）については、履修説明会及びポータルサイトで確認してください。

(4) 抽選登録科目の履修登録に関する注意事項

- ① 第1学期（前期）の履修登録は、第1学期（前期）開講科目と通年科目及び8月と9月に開講されるサマーセッション科目を登録します。第2学期（後期）の履修登録は、第2学期（後期）開講科目を登録します（ただし、4年次生以上は、第1学期（前期）に第2学期（後期）開講科目を含む通年分の履修登録をする必要があります）。
- ② 各年次について定められている抽選登録科目の上限履修登録数及び履修登録制限単位の範囲で履修登録をしてください。
- ③ 重複登録（同一曜講時に2科目以上の抽選A科目を登録すること）、二重登録（すでに修得した科目（既修得科目）を再度登録すること、及び同時に同一科目を2科目以上登録すること）をした場合、当該科目はすべて無効となります。

(5) 抽選が不要な科目

以下の科目は抽選が不要です。

「人権論A・B」（1年次配当科目）受講を希望する場合は、履修登録期間中に履修登録をしてください。

対象： **文学部** **心理学部** **経済学部** **法学部** **政策学部**

「海外英語研修」（1年次配当科目。1年次生と2年次生のみ履修可）※

※「海外英語研修」の履修を希望する学生は、グローバル教育推進センターが開催する説明会に参加してください（開催日等はポータルサイト等で確認してください）。その上で申込み手続きを行ってください。

4. 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）履修について

一部の科目は、自身の所属学部（学舎）にとらわれずに履修できます。

全学に共通した学びを提供することを目的とした「全学共通教育科目群」、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした「学部等提供科目群」及び深草学舎・瀬田学舎それぞれで開講される一部の科目を対象とし、学舎や所属学部を越えた多様な学びを展開しています。

(1) 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）の履修方法

学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）は、他の科目と同様、履修登録期間内に履修登録を行ってください。

なお、原則として対面形式で開講しますので、所属する学舎からの移動時間を見込んでおく必要があります。そのため、1・2講時や3・4講時といった連続受講は認められませんが、2講時と3講時は昼休みを含み移動時間が確保できることから、連続受講することができます。

学舎の移動には、スクールバスを活用するなどして計画的な履修登録をしてください。

(2) 学舎を跨いで履修できる科目（キャンパスコネクト科目）一覧

開講学舎や開講形態は科目によって異なります。詳細はこちら「履修要項Webサイト」

(<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html>) からご確認ください。

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

[illegible]

ボランティア・NPO 入門	2	○								ボランティア・NPO活動センター提供科目
データサイエンス・AI入門 ※1	2	●								データサイエンス教育プログラム運営委員会提供科目
データサイエンス基礎 ※2	2			●						
AI基礎 ※2	2				●					
真宗教団史 ※1	4				○					
西洋の文学C (文学部専攻科目名：「米文学史A」) ※2	2			●						文学部提供科目 【文学部履修不可】
西洋の文学D (文学部専攻科目名：「米文学史B」) ※2	2				●					
仏教美術（イコノロジー）入門A	2				○					
仏教美術（イコノロジー）入門B	2					○				文学部提供科目 【文学部・国際学部国際文化学科履修不可】
サンスクリット語仏典入門A1	2				○					
サンスクリット語仏典入門A2	2					○				文学部提供科目 【文学部履修不可】
チベット語仏典入門A1	2				○					
チベット語仏典入門A2	2					○				
古典文学講読（A）A	2				○					
古典文学講読（A）B	2					○				
近代文学講読（C）A ※4	2				○					
近代文学講読（C）B ※4	2					○				
情報出版学講読（B）A ※4	2				○					
脳と心	2					○				
仏教と心理学	2					○				
経済英語Ⅰ	2			○						経済学部提供科目 【経済学部・国際学部国際文化学科履修不可】
経済英語Ⅱ	2				○					
経済英語Ⅲ	2					○				
経済社会論入門	2			○						
地域産業活性化プロジェクトⅠ (京の老舗と不易流行)	4				○					経済学部提供科目 【経済学部履修不可】

学部等提供
※1 「仏教の思想」科目のアドバンストを兼ねる
※2 人文科学系科目のアドバンストを兼ねる
※3 社会科学系科目のアドバンストを兼ねる
※4 アクティブ・ラーニングを兼ねる
※5 融合型を兼ねる

地域産業活性化プロジェクトⅡ (京の老舗と不易流行)	2				○				
留学英語Ⅰ	4			○					
留学英語Ⅱ	2			○					
留学英語Ⅲ	4				○				
留学英語Ⅳ	2				○				
経営科学 ※5	2					○			
社会データ分析	2				○				
ワークルール入門	2				○				
消費者問題論	2			○					
比較社会政策	2				○				
公務員論	2				○				
国際ビジネス論	2					○			
財政学	2			○					
地方財政論	2				○				
地域レジリエンス論 ※5	2			○					
地域課題発見演習 ※4	4			○					
グローバル・シチズンシップA (公共性・コミュニティ) ※3	2				●				
グローバル・シチズンシップB (民主主義) ※3	2				●				
グローバル・シチズンシップC (平和構築) ※3	2				●				
グローバル・シチズンシップD (人間の安全保障) ※3	2				●				
会話分析入門A	2			○					
会話分析入門B	2			○					

経済学部提供科目 【経済学部・国際学部国際文化学科履修不可】
経営学部提供科目 【経営学部経営学科履修不可】
経営学部提供科目 【経営学部商学科履修不可】
政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
政策学部提供科目 【法学部・政策学部履修不可】
政策学部提供科目 【経済学部・政策学部履修不可】
政策学部提供科目 【経済学部・法学部・政策学部履修不可】
政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】

言語習得論	2				○				
異文化間コミュニケーション論	2			○					
Introduction to Sociolinguistics	2			○					
国際関係入門	2			○					
政治思想概論	2			○					
国際開発協力論	2			○					
Introduction to Cultural Anthropology	2				○				
文化遺産学	2				○				
南アジアの言語	2			○					
グローバリゼーションとアフリカ	2			○					
グローバリゼーションと東アジア	2				○				
グローバリゼーションと南アジア	2			○					
グローバリゼーションとヨーロッパ	2				○				
グローバリゼーションとラテンアメリカ	2			○					
グローバル・ガバナンス論	2				○				
宗教文化学入門	2			○					
日本語教育入門	2				○				
世界文学入門	2			○					
都市計画入門	2			○					
自然人類学入門	2			○					
グローバル・ヒストリー （国際学部専攻科目名：「グローバル・ヒストリー入門」） ※2	2				●				

国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部国際文化学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部国際文化学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】

英語セミナーA	2	○							—	英語科目部会、国際学部履修不可
英語セミナーD	2		○						—	
英語セミナーG	2	○							—	
アジアの文学A	2	●							スタートアップ (京都学舎のみ) / ベーシック	人文科学系科目部会
アジアの文学B	2	●							スタートアップ (京都学舎のみ) / ベーシック	
西洋の文学A	2	●							ベーシック	
西洋の文学B	2		●						ベーシック	
歴史学のすすめ	2	●							スタートアップ	
アジアの文化	2				●				アドバンスト	
現代社会の諸問題	2			●					融合型(京都学舎のみ) / アドバンスト (京都学舎のみ) / アクティブ・ラーニング	社会科学系科目部会
教養教育ゼミナール(社会科学)	2				●				教養教育ゼミ	
社会課題発見演習	2	●							アクティブ・ラーニング	
社会課題解決演習	2			●					アクティブ・ラーニング	

5. 留学生の必修外国語科目の履修について

対象： **文学部** **心理学部** **経済学部** **法学部** **政策学部**

外国語教育では、母語とは異なる言語に接することで、母語に基づく思考形式とは異なる思考形式への認識を深めることができます。これにより他の言語圏の文化、芸術、社会に現れたさまざまな伝統や価値観を偏りなく理解する能力が培われます。それは、母語をも客観的に眺め、母語を含めた自らの言語能力を見直すためのよい機会となるでしょう。

留学生は、決められたパターンによって、「日本語」「英語」「初修外国語」の中から日本語の知識や運用能力に合わせて2言語（母語以外）を必修外国語として12単位履修し、修得します（パターン①、②、③は以下の「②留学生の必修外国語科目履修パターン」を参照ください）。原則として、パターン①の「日本語」の授業では、【文法系・文章表現系・読解系・聴解口頭系】の4つの分野を履修し、パターン②の「日本語」の授業では、【文法系・文章表現系・読解系・聴解口頭系・アカデミック系】の5つの分野を履修し、修得することで、日本語の知識や運用能力の向上を目指します。パターン③は、日本語以外の英語又は初修外国語（いずれも母語以外）を選択します。

英語及び初修外国語の到達目標については「(4) 教養教育分野別科目とは」を確認してください。

(1) 留学生の必修外国語科目の履修スケジュール及び履修パターン

①留学生の履修言語の発表スケジュール

<入学前>	日本語の知識と運用能力の測定 日本語運用能力を測定します。 希望言語の調査
-------	--

	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」「コリア語」から、履修を希望する順に言語を選択します（ただし、母語は除く）。 希望言語の調査をふまえ、第1学期（前期）の履修登録時に、Web履修登録画面にて履修する言語を発表します。 ※必ずしも希望した順の言語が履修できるとは限りません。
--	---



<1年次> 4月上旬	履修言語の発表 インタビューと希望言語の調査を踏まえ、大学がパターンを決定し、第1学期履修登録時に、Web履修登録画面にて、履修する言語を発表します。
-----------------------------	--



<1年次> 4月中旬～	授業開始 決定したパターン及び言語の変更は認められません。
------------------------------	--

②留学生の必修外国語科目履修パターン

入学前に実施するインタビューの結果を踏まえ、履修するパターンを以下の3つから大学が決定します。

【パターン①】日本語を重点的に学修するパターン

日本語（8単位）に加え、英語または初修外国語（いずれも母語以外）から選択した1言語（4単位）の合計12単位を履修します。

	1年次		2年次	
	第1セメスター <4単位>	第2セメスター <4単位>	第3セメスター <2単位>	第4セメスター <2単位>
日本語	週2回：2単位	週2回：2単位	週2回：2単位	週2回：2単位
英語または初修外国語 (いずれも母語以外)	週2回：2単位	週2回：2単位	—	—

【パターン②】日本語を標準的に学修するパターン

日本語（6単位）に加え、英語または初修外国語（いずれも母語以外）から選択した1言語（6単位）の合計12単位を履修します。

	1年次		2年次	
	第1セメスター <4単位>	第2セメスター <4単位>	第3セメスター <2単位>	第4セメスター <2単位>
日本語	週2回：2単位	週2回：2単位	週1回：1単位	週1回：1単位
英語または初修外国語 (いずれも母語以外)	週2回：2単位	週2回：2単位	週1回：1単位	週1回：1単位

【パターン③】英語または初修外国語を学修するパターン

英語または初修外国語（いずれも母語以外）から選択した2言語（各6単位）の合計12単位を履修します。

	1年次		2年次	
	第1セメスター <4単位>	第2セメスター <4単位>	第3セメスター <2単位>	第4セメスター <2単位>
第1選択言語 (英語または初修外国	週2回：2単位	週2回：2単位	週1回：1単位	週1回：1単位

フランス語Ⅱ	2		◎									
フランス語ⅢA	1			◎								
フランス語ⅢB	1				◎							
中国語Ⅰ	2	◎										
中国語Ⅱ	2		◎									
中国語ⅢA	1			◎								
中国語ⅢB	1				◎							
スペイン語Ⅰ	2	◎										
スペイン語Ⅱ	2		◎									
スペイン語ⅢA	1			◎								
スペイン語ⅢB	1				◎							
コリア語Ⅰ	2	◎										
コリア語Ⅱ	2		◎									
コリア語ⅢA	1			◎								
コリア語ⅢB	1				◎							
英語セミナーA	2	○										
英語セミナーB	2		○									
英語セミナーC	2	○										
英語セミナーD	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
英語セミナーE	2	○										
英語セミナーF	2		○									
英語セミナーG	2	○										国際関係コース生履修不可
英語セミナーH	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
英語セミナーI	2	○										
英語セミナーJ	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
英語セミナーK	2				○							先修制あり
Culture through English 1	2			○								先修制あり、English Im mersion Program科目
Current Topics through English 1	2			○								先修制あり、English Im mersion Program科目

[illegible]

												可
フランス語セミナーⅠC	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語セミナーⅠD	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語セミナーⅡA	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語セミナーⅡB	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語セミナーⅡC	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語セミナーⅡD	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
フランス語コミュニケーションⅠ	2				○							国際関係コース提供科目 国際関係コース生履修不可
フランス語コミュニケーションⅡ	2					○						先修制あり、国際関係コース提供科目 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅠA	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅠB	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅠC	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅠD	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅡA	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
中国語セミナーⅡB	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可

[illegible]

コリア語セミナーⅠB	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅠC	2			○								先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅠD	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅡA	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅡB	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅡC	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語セミナーⅡD	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
コリア語コミュニケーションⅠ	2				○							国際関係コース提供科目 国際関係コース生履修不可
コリア語コミュニケーションⅡ	2					○						先修制あり、国際関係コース提供科目 国際関係コース生履修不可
ポルトガル語Ⅰ	2			○								国際関係コース生履修不可
ポルトガル語Ⅱ	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
ポルトガル語ⅢA	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可
ポルトガル語ⅢB	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
ロシア語Ⅰ	2			○								国際関係コース生履修不可
ロシア語Ⅱ	2				○							先修制あり 国際関係コース生履修不可
ロシア語ⅢA	2					○						先修制あり 国際関係コース生履修不可

												可
ロシア語Ⅲ B	2						○					先修制あり 国際関係コース生履修不可
ラテン語Ⅰ	2			○								
ラテン語Ⅱ	2				○							
ギリシア語Ⅰ	2			○								
ギリシア語Ⅱ	2				○							
ペルシア語Ⅰ	2			○								
ペルシア語Ⅱ	2				○							先修制あり
トルコ語Ⅰ	2			○								
トルコ語Ⅱ	2				○							
アラビア語Ⅰ	2			○								
アラビア語Ⅱ	2				○							

※下記の科目は留学生のみ履修可能です。

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
日本語	1	◎	◎									留学生対象科目

(3) 教養科目

人文科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
哲学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
哲学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
哲学B	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
倫理学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
倫理学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
倫理学B	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
論理学	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
クリティカル・シンキング	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
宗教学入門	4	●								基礎	ベーシック	(※1)

宗教の世界 A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
宗教の世界 B	2		●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの思想 A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの思想 B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学 A	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学 B	4		●							基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学 C	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
アジアの文学 A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの文学 B	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
西洋の文学 A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学 B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学 C	2			●						発展	学部等提供／アド バンスト	文学部提供科目、文学部 履修不可 (※1)
西洋の文学 D	2				●					発展	学部等提供／アド バンスト	文学部提供科目、文学部 履修不可 (※1)
文章表現法 A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
文章表現法 B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
言語と文化	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
歴史学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
歴史学	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
日本の歴史 A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
日本の歴史 B	2		●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの歴史 A	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの歴史 B	4		●							基礎	ベーシック	(※1)
アジア交流史	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
西洋の歴史 A	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
西洋の歴史 B	2		●							発展	アドバンスト	(※1)
西洋の歴史 C	2			●						基礎	ベーシック	(※1)
現代世界の歴史 A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)

現代世界の歴史 B	2		●						基礎	ベーシック	(※1)
心理学入門	4	●							基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
心理学A	2	●							基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
心理学B	2		●						基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
応用心理学 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
応用心理学 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
教育学A	2	●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	文学部哲学科教育学専攻 履修不可 (※1)
教育学B	2		●						基礎	スタートアップ／ ベーシック	文学部哲学科教育学専攻 履修不可 (※1)
芸術の世界 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
芸術の世界 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
日本の思想	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
アジアの文化	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と教育 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と教育 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
教育原論 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
教育原論 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
大学論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
グローバル・ヒストリー	2				●				発展	学部等提供／アド バンスト	国際学部提供科目、国際 学部グローバルスタディ ーズ学科履修不可 (※1)
文化交流論	2				●				発展	学部等提供／アド バンスト	国際学部提供科目、国際 学部国際文化学科履修不 可 (※1)
教養教育ゼミナール（人 文学）	4			●					発展	教養教育ゼミ	(※1)

(※1) …1科目（2単位以上）必修

社会科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
日本国憲法	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	法学部・政策学部履修不可 (※1)
法学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	法学部履修不可 (※1)
政治学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	法学部・政策学部履修不可 (※1)
社会学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	社会学部履修不可 (※1)
地理学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
										発展	融合型	
経済学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	経済学部・政策学部履修不可 (※1)
経営学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	経営学部履修不可 (※1)
国際学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	国際学部履修不可 (※1)
文化人類学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
社会調査のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	社会学部履修不可 (※1)
										発展	アクティブ・ラー ニング	
社会統計学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
人権論A	2	●								基礎	ベーシック／ アクティブ・ラー ニング	(※1)
人権論B	2		●							基礎	ベーシック／ アクティブ・ラー ニング	(※1)
現代社会とメディア	2			●						発展	アドバンスト／ アクティブ・ラー ニング	法学部・社会学部履修不可 (※1)
現代社会と福祉	2			●						発展	アドバンスト	社会学部履修不可 (※1)

現代社会と法	2			●					発展	アドバンスト	法学部・政策学部履修不可 (※1)
環境と社会	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
平和学A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
ジェンダー論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
国際社会論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会の諸問題	2			●					発展	融合型／アクティブ・ラーニング／アドバンスト	(※1)
地域論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
企業と会計	2			●					発展	アドバンスト	経営学部履修不可 (※1)
現代社会と労働	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
社会思想史	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップB（民主主義）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップC（平和構築）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
データサイエンス・A I 入門	2	●							基礎	全学共通／ベーシック	データサイエンス教育プログラム運営委員会提供科目 (※1)
									発展	アクティブ・ラーニング	
データサイエンス基礎	2			●					基礎	全学共通	
									発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	
A I 基礎	2				●				基礎	全学共通	
									発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	
教養教育ゼミナール（社会科学）	2				●				発展	教養教育ゼミ	(※1)

社会課題発見演習	2	●								発展	アクティブ・ラーニング	(※1)
社会課題解決演習	2			●						発展	アクティブ・ラーニング	(※1)

(※1) …1科目 (2単位以上) 必修

自然科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
数学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
確率・統計入門	2	●								基礎	ベーシック	
数学への旅	2	●								基礎	ベーシック	
行列と行列式	4	●								基礎	ベーシック	
微分と積分	4	●								基礎	ベーシック	
数理統計学	4			●						発展	アドバンスト	
数理と論証	2			●						発展	アドバンスト	
数理と計算	2			●						発展	アドバンスト	
数学の世界	4			●						発展	アドバンスト	
物理科学の世界	4	●								基礎	ベーシック	
宇宙の科学Ⅰ	4	●								基礎	ベーシック	
宇宙の科学Ⅱ	2			●						発展	アドバンスト	
時間と空間の科学	2	●								基礎	ベーシック	
自然科学史Ⅰ	2	●								基礎	ベーシック	
自然科学史Ⅱ	2			●						発展	アドバンスト	
生物科学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	
生命科学のすすめ	2	●								基礎	ベーシック	
生命科学	2		●							基礎	ベーシック	
生態学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	
人類学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	
環境学	4	●								発展	融合型	
地球科学のすすめ	2	●								基礎	ベーシック	
地球科学	2		●							基礎	ベーシック	
エネルギー入門	2			●						発展	アドバンスト	

科学論	2			●						発展	アドバンスト
技術論	2				●					発展	アドバンスト
平和学B	2			●						発展	融合型
里山学	2	●								発展	融合型
日本の自然	4	●								基礎	ベーシック
生命誌	2			●						発展	アドバンスト
植物の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
動物の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
民族の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
人類進化学	2			●						発展	アドバンスト
人間の生物学Ⅰ	2			●						発展	アドバンスト
人間の生物学Ⅱ	2				●					発展	アドバンスト
自然誌実習	4			●						発展	アクティブ・ラーニング
野外観察法	2			●						発展	アクティブ・ラーニング
情報科学入門	2			●						基礎	ベーシック
情報科学Ⅰ	2				●					発展	アドバンスト
情報科学Ⅱ	2					●				発展	アドバンスト
情報科学実習	4		●							基礎	ベーシック
教養教育ゼミナール（自然科学）	2			●						発展	教養教育ゼミ

（※1）…1科目（2単位以上）必修

スポーツ科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
健康とスポーツ	2			○						発展	アドバンスト	
現代社会とスポーツ	2		○							基礎	ベーシック	
スポーツ技術学演習	2	○								基礎	ベーシック	
人間とスポーツ	2	○								基礎	ベーシック	
スポーツと人権・平和	2			○						発展	アドバンスト	
スポーツ文化史	2			○						発展	アドバンスト	社会学部履修不可

スポーツ科学最前線	2	○								基礎	ベーシック	
スポーツ科学のすすめ	2	○								基礎	スタートアップ	
教養教育ゼミナール（スポーツ科学）	2			○						発展	教養教育ゼミ	

学部・センター等提供科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
キャリア入門	2	○								基礎	全学共通	キャリアセンター提供科目
キャリア・ディスカバリー	2				○					基礎		
みんなのコミュニケーションA	2	○								基礎		グローバル教育推進センター提供科目
みんなのコミュニケーションB	2	○								基礎		
Inclusive Communication	2	○								基礎		
みんなで学ぶ国際ビジネス事情	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会A	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会B	2	○								基礎		
仏教SDGs 概論	2		○							基礎		ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター（Ryukoku Extension Center）提供科目
アントレプレナーシップ入門	2		○							基礎		
テクノロジーと事業創出	2				○					基礎		
ソーシャルインパクト概論	2				○					基礎		
協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）	2				○					基礎		
アカデミック・ライティング入門	2	○								基礎		学修支援・教育開発センター提供科目
ボランティア・NPO 入門	2	○								基礎		ボランティア・NPO活動センター提供科目
仏教美術（イコノロジー）入門A※	2			○						発展	学部等提供	文学部提供科目、文学部履修不可 ※は国際学部国際文化学科も履修不可
仏教美術（イコノロジー）入門B※	2				○					発展		

サンスクリット語仏典入門A 1	2			○					発展	学部等提供／アク ティブ・ラーニン グ	
サンスクリット語仏典入門A 2	2				○				発展		
チベット語仏典入門A 1	2			○					発展		
チベット語仏典入門A 2	2				○				発展		
古典文学講読（A）A	2			○					発展		
古典文学講読（A）B	2				○				発展		
近代文学講読（C）A	2			○					発展		
近代文学講読（C）B	2				○				発展		
情報出版学講読（B）A	2			○					発展		
脳と心	2				○				発展	学部等提供	心理学部提供科目、心理 学部履修不可
仏教と心理学	2				○				発展		
経済英語Ⅰ※	2		○						発展	学部等提供	経済学部提供科目、経済 学部履修不可 ※は国際学部国際文化学 科も履修不可
経済英語Ⅱ※	2			○					発展		
経済英語Ⅲ※	2				○				発展		
経済社会論入門※	2		○						発展		
地域産業活性化プロジェ クトⅠ（京の老舗と不易 流行）	4			○					発展		
地域産業活性化プロジェ クトⅡ （京の老舗と不易流行）	2				○				発展		
留学英語Ⅰ※	4			○					発展		
留学英語Ⅱ※	2			○					発展		
留学英語Ⅲ※	4				○				発展		
留学英語Ⅳ※	2				○				発展		
経営科学※1	2					○			発展	学部等提供／融合 型	経営学部提供科目 ※1は経営学部経営学科 履修不可 ※2は経営学部商学科履 修不可
社会データ分析※2	2				○				発展	学部等提供	
ワークルール入門※2	2				○				発展		
消費者問題論※2	2			○					発展		

比較社会政策	2				○					発展	学部等提供	政策学部提供科目、政策学部履修不可 ※1は経済学部も履修不可 ※2は法学部も履修不可 ※3は経済学部・法学部も履修不可
公務員論※2	2				○					発展		
国際ビジネス論※1	2					○				発展		
財政学※3	2			○						発展		
地方財政論※3	2				○					発展		
地域レジリエンス論	2			○						発展	学部等提供／融合型	
地域課題発見演習	4				○					発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	
会話分析入門A※1	2			○						発展	学部等提供	国際学部提供科目 ※1は国際学部履修不可 ※2は国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可 ※3は国際学部国際文化学科履修不可
会話分析入門B※1	2			○						発展		
言語習得論※2	2				○					発展		
異文化間コミュニケーション論※1	2			○						発展		
Introduction to Sociolinguistics※1	2			○						発展		
国際関係入門※1	2			○						発展		
政治思想概論※2	2			○						発展		
国際開発協力論※2	2			○						発展		
Introduction to Cultural Anthropology※1	2				○					発展		
文化遺産学※2	2				○					発展		
南アジアの言語※2	2			○						発展		
グローバリゼーションとアフリカ※1	2			○						発展		
グローバリゼーションと東アジア※1	2				○					発展		
グローバリゼーションと南アジア※1	2			○						発展		
グローバリゼーションとヨーロッパ※1	2				○					発展		
グローバリゼーションとラテンアメリカ※1	2			○						発展		
グローバル・ガバナンス論※2	2				○					発展		
宗教文化学入門※2	2			○						発展		
日本語教育入門※3	2				○					発展		

世界文学入門※1	2			○					発展		
都市計画入門※3	2			○					発展		
自然人類学入門※1	2			○					発展		
クラウドコンピューティング演習	2			○	※				発展	学部等提供	先端理工学部提供科目 ※は第4クォーター開講科目
理工学のすすめ	2			○					発展		
差別と排除の社会学	2			○					発展	学部等提供	
市民社会の歴史と現在	2				○				発展		
社会学の歴史と理論	2					○			発展		
アートと社会	2				○				発展		
宗教社会学	2			○					発展		
子ども社会学	2			○					発展		
社会参画技法	2			○					発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	社会学部提供科目、社会学部履修不可
社会起業演習A	2						○		発展		
社会起業演習B	2							○	発展		
音楽社会学	2			○					発展	学部等提供	
カルチュラルスタディーズ	2			○					発展		
情報社会論	2			○					発展		
デジタルメディア論	2			○					発展		
農業を支える植物細胞の力	2			○					発展	学部等提供	農学部提供科目
英語コミュニケーションⅠ※	2			○					発展	学部等提供	先修制あり、国際関係コース提供科目、国際関係コース生履修不可 ※は国際学部国際文化学科も履修不可
英語コミュニケーションⅡ※	2				○				発展		
Global Understanding in English※1	4				○				発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	先修制あり、英語コミュニケーションコース提供科目、英語コミュニケーションコース生履修不可 ※1は国際学部国際文化学科も履修不可 ※2は法学部・国際学部国際文化学科も履修不可
Forum※2	2				○				発展		
自然保護論	2					○			発展	学部等提供	環境サイエンスコース提供科目、環境サイエンスコース生履修不可

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
教養教育科目特別講義	2	○									—	4単位科目と2単位科目を複数開講するが、1科目（2単位／4単位）のみ卒業要件単位となる。
	4	○										

注意事項

（注1）各印は配当セメスターを示しています。ただし、それ以上の学年・セメスターであれば受講可能です（一部例外あり）。

（例：1年次配当科目であれば、2年次以降生も受講可能）

（注2）上記配当セメスターにかかわらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。また、年度により不開講となることがあります。

詳細は時間割冊子およびWeb履修要項画面で確認ください。

対象： **国際学部**

(1) 「仏教の思想」科目

◎は必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
仏教の思想A	2	◎										2科目（4単位）必修
仏教の思想B	2		◎									
歎異抄の思想Ⅰ	2			○						発展	アドバンスト	
歎異抄の思想Ⅱ	2				○					発展	アドバンスト	
仏教の世界	2			○						発展	融合型	
真宗教団史	4			○						発展	学部等提供／アドバンスト	文学部提供科目、文学部履修不可

(2) 教養科目

人文科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
哲学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
哲学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
哲学B	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
倫理学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
倫理学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)

倫理学B	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
論理学	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
クリティカル・シンキング	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
宗教学入門	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
宗教の世界A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
宗教の世界B	2		●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの思想A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの思想B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学A	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学B	4		●							基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学C	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
アジアの文学A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの文学B	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
西洋の文学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学C	2			●						発展	学部等提供／アド バンスト	文学部提供科目、文学部 履修不可 (※1)
西洋の文学D	2				●					発展	学部等提供／アド バンスト	文学部提供科目、文学部 履修不可 (※1)
文章表現法A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
文章表現法B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
言語と文化	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
歴史学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
歴史学	2			●						発展	アドバンスト	(※1)
日本の歴史A	2	●								基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
日本の歴史B	2		●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	(※1)
アジアの歴史A	4	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの歴史B	4		●							基礎	ベーシック	(※1)
アジア交流史	2			●						発展	アドバンスト	(※1)

西洋の歴史 A	4	●							基礎	ベーシック	(※1)
西洋の歴史 B	2		●						発展	アドバンスト	(※1)
西洋の歴史 C	2			●					基礎	ベーシック	(※1)
現代世界の歴史 A	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
現代世界の歴史 B	2		●						基礎	ベーシック	(※1)
心理学入門	4	●							基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
心理学A	2	●							基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
心理学B	2		●						基礎	ベーシック	心理学部履修不可 (※1)
応用心理学 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
応用心理学 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
教育学A	2	●							基礎	スタートアップ／ ベーシック	文学部哲学科教育学専攻 履修不可 (※1)
教育学B	2		●						基礎	スタートアップ／ ベーシック	文学部哲学科教育学専攻 履修不可 (※1)
芸術の世界 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
芸術の世界 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
日本の思想	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
アジアの文化	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と教育 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と教育 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
教育原論 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
教育原論 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論 A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論 B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
大学論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
グローバル・ヒストリー	2				●				発展	学部等提供／アド バンスト	国際学部提供科目、国際 学部グローバルスタディ ーズ学科履修不可 (※1)
文化交流論	2				●				発展	学部等提供／アド バンスト	国際学部提供科目、国際 学部国際文化学科履修不 可 (※1)

教養教育ゼミナール（人文科学）	4			●						発展	教養教育ゼミ	(※1)
-----------------	---	--	--	---	--	--	--	--	--	----	--------	------

(※1) …1科目（2単位以上）必修

社会科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
日本国憲法	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	法学部・政策学部履修不可 (※1)
法学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	法学部履修不可 (※1)
政治学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	法学部・政策学部履修不可 (※1)
社会学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	社会学部履修不可 (※1)
地理学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	(※1)
										発展	融合型	
経済学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	経済学部・政策学部履修不可 (※1)
経営学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	経営学部履修不可 (※1)
国際学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	国際学部履修不可 (※1)
文化人類学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	(※1)
社会調査のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	社会学部履修不可 (※1)
										発展	アクティブ・ラーニング	(※1)
社会統計学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ／ベーシック	(※1)
人権論A	2	●								基礎	ベーシック／アクティブ・ラーニング	(※1)
人権論B	2		●							基礎	ベーシック／アクティブ・ラーニング	(※1)

現代社会とメディア	2			●					発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	法学部・社会学部履修不可 (※1)
現代社会と福祉	2			●					発展	アドバンスト	社会学部履修不可 (※1)
現代社会と法	2			●					発展	アドバンスト	法学部・政策学部履修不可 (※1)
環境と社会	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
平和学A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
ジェンダー論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
国際社会論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会の諸問題	2			●					発展	融合型／アクティブ・ラーニング／アドバンスト	(※1)
地域論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
企業と会計	2			●					発展	アドバンスト	経営学部履修不可 (※1)
現代社会と労働	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
社会思想史	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップB（民主主義）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップC（平和構築）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目、政策学部履修不可 (※1)
データサイエンス・AI入門	2	●							基礎	全学共通／ベーシック	データサイエンス教育プログラム運営委員会提供科目 (※1)
									発展	アクティブ・ラーニング	
データサイエンス基礎	2			●					基礎	全学共通	
									発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	
AI基礎	2				●				基礎	全学共通	

										発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	
教養教育ゼミナール（社会科学）	2			●						発展	教養教育ゼミ	（※1）
社会課題発見演習	2	●								発展	アクティブ・ラーニング	（※1）
社会課題解決演習	2			●						発展	アクティブ・ラーニング	（※1）

（※1）…1科目（2単位以上）必修

自然科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
数学入門	2	●								基礎	ベーシック	（※1）
確率・統計入門	2	●								基礎	ベーシック	
数学への旅	2	●								基礎	ベーシック	
行列と行列式	4	●								基礎	ベーシック	
微分と積分	4	●								基礎	ベーシック	
数理統計学	4			●						発展	アドバンスト	
数理と論証	2			●						発展	アドバンスト	
数理と計算	2			●						発展	アドバンスト	
数学の世界	4			●						発展	アドバンスト	
物理科学の世界	4	●								基礎	ベーシック	
宇宙の科学Ⅰ	4	●								基礎	ベーシック	
宇宙の科学Ⅱ	2			●						発展	アドバンスト	
時間と空間の科学	2	●								基礎	ベーシック	
自然科学史Ⅰ	2	●								基礎	ベーシック	
自然科学史Ⅱ	2			●						発展	アドバンスト	
生物科学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	
生命科学のすすめ	2	●								基礎	ベーシック	
生命科学	2		●							基礎	ベーシック	
生態学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	
人類学のすすめ	4	●								基礎	ベーシック	

環境学	4	●								発展	融合型
地球科学のすすめ	2	●								基礎	ベーシック
地球科学	2		●							基礎	ベーシック
エネルギー入門	2			●						発展	アドバンスト
科学論	2			●						発展	アドバンスト
技術論	2				●					発展	アドバンスト
平和学B	2			●						発展	融合型
里山学	2	●								発展	融合型
日本の自然	4	●								基礎	ベーシック
生命誌	2			●						発展	アドバンスト
植物の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
動物の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
民族の自然誌	2			●						発展	アドバンスト
人類進化学	2			●						発展	アドバンスト
人間の生物学Ⅰ	2			●						発展	アドバンスト
人間の生物学Ⅱ	2				●					発展	アドバンスト
自然誌実習	4			●						発展	アクティブ・ラーニング
野外観察法	2			●						発展	アクティブ・ラーニング
情報科学入門	2			●						基礎	ベーシック
情報科学Ⅰ	2				●					発展	アドバンスト
情報科学Ⅱ	2					●				発展	アドバンスト
情報科学実習	4		●							基礎	ベーシック
教養教育ゼミナール（自然科学）	2			●						発展	教養教育ゼミ

（※1）…1科目（2単位以上）必修

スポーツ科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
健康とスポーツ	2			○						発展	アドバンスト	
現代社会とスポーツ	2		○							基礎	ベーシック	

スポーツ技術学演習	2	○								基礎	ベーシック	
人間とスポーツ	2	○								基礎	ベーシック	
スポーツと人権・平和	2			○						発展	アドバンスト	
スポーツ文化史	2			○						発展	アドバンスト	社会学部履修不可
スポーツ科学最前線	2	○								基礎	ベーシック	
スポーツ科学のすすめ	2	○								基礎	スタートアップ	
教養教育ゼミナール（スポーツ科学）	2			○						発展	教養教育ゼミ	

学部・センター等提供科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
キャリア入門	2	○								基礎	全学共通	キャリアセンター提供科目
キャリア・ディスカバリー	2				○					基礎		
みんなのコミュニケーションA	2	○								基礎		グローバル教育推進センター提供科目
みんなのコミュニケーションB	2	○								基礎		
Inclusive Communication	2	○								基礎		
みんなで学ぶ国際ビジネス事情	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会A	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会B	2	○								基礎		
仏教SDGs 概論	2		○							基礎		ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター（Ryukoku Extension Center）提供科目
アントレプレナーシップ入門	2		○							基礎		
テクノロジーと事業創出	2				○					基礎		
ソーシャルインパクト概論	2				○					基礎		
協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）	2				○					基礎		
アカデミック・ライティング入門	2	○								基礎		学修支援・教育開発センター提供科目
ボランティア・NPO 入門	2	○								基礎		ボランティア・NPO活動センター提供科目

仏教美術（イコノロジー） 入門A※	2			○						発展	学部等提供	文学部提供科目、文学部 履修不可 ※は国際学部国際文化学 科も履修不可
仏教美術（イコノロジー） 入門B※	2				○					発展		
サンスクリット語仏典入 門A 1	2			○						発展		
サンスクリット語仏典入 門A 2	2				○					発展		
チベット語仏典入門A 1	2			○						発展		
チベット語仏典入門A 2	2				○					発展		
古典文学講読（A）A	2			○						発展		
古典文学講読（A）B	2				○					発展		
近代文学講読（C）A	2			○						発展	学部等提供／アク ティブ・ラーニン グ	
近代文学講読（C）B	2				○					発展		
情報出版学講読（B）A	2			○						発展		
脳と心	2				○					発展	学部等提供	心理学部提供科目、心理 学部履修不可
仏教と心理学	2				○					発展		
経済英語Ⅰ※	2		○							発展	学部等提供	経済学部提供科目、経済 学部履修不可 ※は国際学部国際文化学 科も履修不可
経済英語Ⅱ※	2			○						発展		
経済英語Ⅲ※	2				○					発展		
経済社会論入門※	2		○							発展		
地域産業活性化プロジェ クトⅠ（京の老舗と不易 流行）	4			○						発展		
地域産業活性化プロジェ クトⅡ （京の老舗と不易流行）	2				○					発展		
留学英語Ⅰ※	4			○						発展		
留学英語Ⅱ※	2			○						発展		
留学英語Ⅲ※	4				○					発展		
留学英語Ⅳ※	2				○					発展		
経営科学※1	2					○				発展	学部等提供／融合 型	経営学部提供科目 ※1は経営学部経営学科 履修不可 ※2は経営学部商学科履 修不可
社会データ分析※2	2				○					発展	学部等提供	
ワークルール入門※2	2				○					発展		
消費者問題論※2	2			○						発展		

比較社会政策	2				○					発展	学部等提供	政策学部提供科目、政策学部履修不可 ※1は経済学部も履修不可 ※2は法学部も履修不可 ※3は経済学部・法学部も履修不可
公務員論※2	2				○					発展		
国際ビジネス論※1	2					○				発展		
財政学※3	2			○						発展		
地方財政論※3	2				○					発展		
地域レジリエンス論	2			○						発展	学部等提供／融合型	
地域課題発見演習	4				○					発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	
会話分析入門A※1	2			○						発展	学部等提供	国際学部提供科目 ※1は国際学部履修不可 ※2は国際学部グローバルスタディーズ学科のみ履修不可 ※3は国際学部国際文化学科のみ履修不可
会話分析入門B※1	2			○						発展		
言語習得論※2	2				○					発展		
異文化間コミュニケーション論※1	2			○						発展		
Introduction to Sociolinguistics※1	2			○						発展		
国際関係入門※1	2			○						発展		
政治思想概論※2	2			○						発展		
国際開発協力論※2	2			○						発展		
Introduction to Cultural Anthropology※1	2				○					発展		
文化遺産学※2	2				○					発展		
南アジアの言語※2	2			○						発展		
グローバリゼーションとアフリカ※1	2			○						発展		
グローバリゼーションと東アジア※1	2				○					発展		
グローバリゼーションと南アジア※1	2			○						発展		
グローバリゼーションとヨーロッパ※1	2				○					発展		
グローバリゼーションとラテンアメリカ※1	2			○						発展		
グローバル・ガバナンス論※2	2				○					発展		
宗教文化学入門※2	2			○						発展		
日本語教育入門※3	2				○					発展		

世界文学入門※1	2			○					発展		
都市計画入門※3	2			○					発展		
自然人類学入門※1	2			○					発展		
クラウドコンピューティング演習	2			○	※				発展	学部等提供	先端理工学部提供科目 ※は第4クォーター開講科目
理工学のすすめ	2			○					発展		
差別と排除の社会学	2			○					発展	学部等提供	
市民社会の歴史と現在	2				○				発展		
社会学の歴史と理論	2					○			発展		
アートと社会	2				○				発展		
宗教社会学	2			○					発展		
子ども社会学	2			○					発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	社会学部提供科目、社会学部履修不可
社会参画技法	2			○					発展		
社会起業演習A	2						○		発展		
社会起業演習B	2							○	発展		
音楽社会学	2			○					発展	学部等提供	
カルチュラルスタディーズ	2			○					発展		
情報社会論	2			○					発展		
デジタルメディア論	2			○					発展		
農業を支える植物細胞の力	2			○					発展	学部等提供	農学部提供科目
英語コミュニケーションⅠ※	2			○					発展	学部等提供	先修制あり、国際関係コース提供科目、国際関係コース生履修不可 ※は国際学部国際文化学科も履修不可
英語コミュニケーションⅡ※	2				○				発展		
Global Understanding in English※1	4				○				発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	先修制あり、英語コミュニケーションコース提供科目、英語コミュニケーションコース生履修不可 ※1は国際学部国際文化学科も履修不可 ※2は法学部・国際学部国際文化学科も履修不可
Forum※2	2				○				発展		
自然保護論	2					○			発展	学部等提供	環境サイエンスコース提供科目、環境サイエンスコース生履修不可

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
教養教育科目特別講義	2	○									—	4単位科目と2単位科目を複数開講するが、1科目（2単位／4単位）のみ卒業要件単位となる。
	4	○										

注意事項

（注1）各印は配当セメスターを示しています。ただし、それ以上の学年・セメスターであれば受講可能です（一部例外あり）。

（例：1年次配当科目であれば、2年次以降生も受講可能）

（注2）上記配当セメスターにかかわらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。また、年度により不開講となることがあります。

詳細は時間割冊子およびWeb履修要項画面で確認してください。

教養教育科目の教育目的及び履修方法 瀬田学舎（農学部）

【2】 教養教育科目の教育目的及び履修方法

瀬田学舎

対象： 農学部

1. 教養教育カリキュラムとは

（1）教養教育の理念・目的

龍谷大学の教養教育は、人間の根源的な問いからその内面を見つめる思考の幅を広げ、人間をとりまく多様な世界を知ることを通じて、自己を確立できる人間の育成を目指して開講されています。このため、建学の精神に基づく高い倫理性や豊かな人間性ととともに、知性・感性を兼ね備え、現代社会でたくましく生きる力を持った人間の形成、つまり、幅広い知識と知的な諸技法の修得に基づく論理的思考力や判断力の涵養により、社会性をもって現実を正しく理解する力と、国際的なコミュニケーション能力をもった「専門性を身につけた教養人の育成」の一翼を担うことを目的としています。

（2）教養教育科目とは

「浄土真宗の精神」を「建学の精神」とする龍谷大学は、大学としての教育理念・目的を「建学の精神に基づき、『真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする』ことのできる人間を育成する」と定めています。その具現化の一つとして、龍谷大学の長期計画である構想400では、「龍谷大学だからこそ」の人を育むとされており、「まごころ～Magokoro～」ある市民を育むことも目標として掲げています。本学は総合大学として幅広い学問分野を有し、教養教育と専攻教育とが両輪となって総合的な能力の育成を担い、「まごころ」ある市民を育む教育に取り組んでいます。「龍谷大学だからこそ」の人を育む、すなわち龍谷人になる一歩を皆さんは歩み始めています。

学生の皆さんは一人ひとり、多様な興味・関心を持っているでしょう。または、高校までと違って、大学では履修する科目を自由に選ぶことができますが、自由さ故に何を学んだら良いのか戸惑う方もいるかもしれません。そうした多様な興味・関心を持っていたり、迷っていたりする龍谷大学生には教養教育科目の受講をすすめます。

現代は、将来の予測が困難な時代と呼ばれています。教養教育の学びは、このような予測が困難な社会において方向性を見出す羅針盤、全体を俯瞰する海図を手に入れ、社会をよりよく生きていく力を身につけることにつながっていくでしょう。

①基礎教養・発展教養及び教養教育科目群について

基礎教養を主に学ぶ1・2年次では、教養教育を学ぶ意義を知り、学問の扉を開ききっかけを見つけるための科目を提供しており、「スタートアップ科目群」「ベーシック教養科目群」「全学共通教育科目群」で構成されています。基礎教養では、教養教育のおもしろさを実感するとともに、主体的・自立的な学びに誘い、真理探究の学問のおもしろさを知り、知的躍動を引き起こす学修者本位の学びを創造するカリキュラムとして展開します。

発展教養を学ぶ2年次からは、「アドバンスト教養科目群」「教養教育ゼミナール科目群」「アクティブ・ラーニング科目群」「融合型科目群」「学部等提供科目群」などを提供しています。

発展教養の中核をなす「アドバンスト教養科目群」の学びでは、多様で幅広い視野を身に付け、専門領域を相対化し、領域を越境する総合知を育みます。「教養教育ゼミナール科目群」「アクティブ・ラーニング科目群」の学びは、主体的・自立的な学びを学生自らが展開していくことができます。文理融合・領域融合の「融合型科目群」の学びでは、俯瞰力を身につけ、専門分野の領域を越え、自らの専門性を相対化するとともに、広く柔らかな視野を持った総合知を得ることができます。「学部・学部共通コース提供科目群」の学びでは、学生のテーマを持った主体的・自立的な学びや領域を融合する学び、分野を越えた多様で幅広い学びにつなげることができます。

こうした教養教育の学びを通じて「専門性とまごころある市民性を備えた教養人（龍谷人）」になることをめざします。

<教養教育科目群>

基礎教養 大学での学びを始める入学間もない1 年次向けに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝え、 主体的・意欲的な学びを奨励する科目を展開します。	スタートアップ科目群 大学の学びを始める学生のみなさんに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝えるための科目群です。
	ベーシック教養科目群 学びの基礎となる思考の軸を身につけ、自身の専攻の相対化を図る力を養い、テーマを持った学びへ誘うことを目的とした科目群です。
	全学共通教育科目群 学内にある各種センター等の活動等を活かし、現代的なニーズを捉えた科目や社会で必要となる力を身につける科目を開講し、全学で共通した学びを提供することを目的とした科目群です。
発展教養 様々な学修経験を積んだ高年次（2年次以上）学生に、多様で幅広い学びや、 テーマを持った主体的な学びに応え、分野を超えた学びを組み合わせた総合知を育むための科目を展開します。	アドバンスト教養科目群 1年次で学んだ知識や思考を活かしつつ、より多様で幅広い視野を身につけ、複合的な気づきにつながる力を養うための科目群です。
	教養教育ゼミナール科目群 少人数で深い学び、自由で柔軟な授業内容や運営方法を通じて、自身の専攻を越えた視点を身につけ、主体的・自立的に学ぶ力を養うための科目群です。
	アクティブ・ラーニング科目群 アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBL等の手法を取り入れ、学修者本位の学びや主体的・自立的な学びを引き出すことを目的とした科目群です。
	融合型科目群（分離融合・領域融合） 文理に区分された学修体系や自身の専門分野の領域を越え、融合させることで新たな視野を拓き、俯瞰力を養い、総合知を育むことを目的とした科目群です。
	学部等提供科目群 学部・学部共通コースの専攻教育において導入・基礎にあたる科目を、他学部の学生が教養教育科目として学ぶことで、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした科目群です。

②教養教育分野別科目について

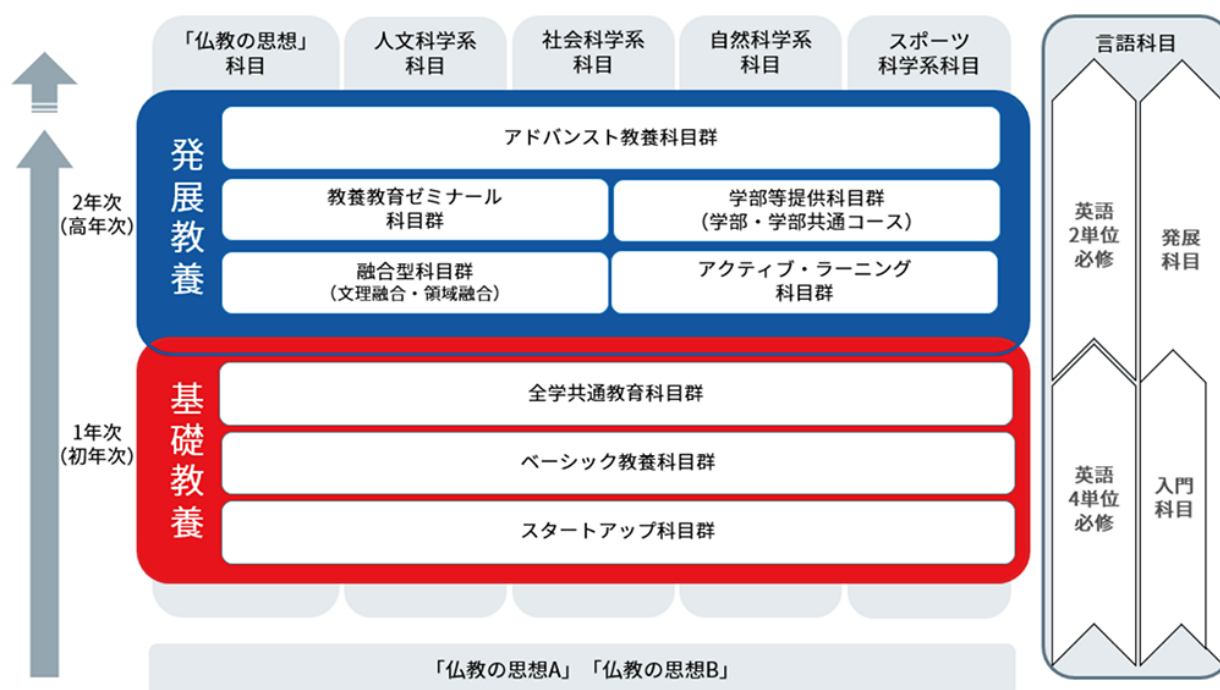
本学の教養教育は、「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目の3つの区分のもと、それぞれの分野別で構成されており、これら全体を教養教育科目とよびます。

<教養教育分野別科目>

「仏教の思想」科目	・必修科目【「仏教の思想A/B」（各2単位）】 ・「歎異抄の思想Ⅰ/Ⅱ」「宗教の世界」「真宗教団史」 本学の建学の精神を涵養する科目が「仏教の思想」科目です。仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的とします。
言語科目	・必修外国語科目【英語（6単位）】 ・選択外国語科目 必修科目として英語を学びます。他にも選択科目として初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語）を開設。外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し異文化理解を深めるとともに、自律的な学修態度を身につけることを目的とします。

教養科目	・人文科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などの分野に分かれ、人間の様々な文化や過去の経験を学ぶことを目的とします。
	・社会科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 社会科学の学びの入り口や基礎となる科目とともに、現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合うための科目を学びます。
	・自然科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 理数系の科目を通じて、社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養うことを目的とします。
	・スポーツ科学系科目 現代社会における人々の健康状況や余暇状況をふまえ、スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学びます。
	・学部・センター等提供科目 学内にいる各種センターや学部・学部共通コースで展開されている一部の科目です。

<教養教育カリキュラム概念図>



- ※ 必修科目として、「仏教の思想A」「仏教の思想B」（各2単位）を履修する必要があります（全学部対象）。
- ※ 必修科目として、英語科目を計6単位履修する必要があります。
- ※ 選択必修科目として「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」の中から各1科目（2単位）以上修得する必要があります。

<カリキュラムマップ>

専攻科目

専門性を身につけた
教養人を育てる

教養教育科目

仏教の思想／言語／人文／
社会／自然／スポーツ

基礎

発展

低年次

高年次

(3) 教養教育科目群とは

教養教育科目群は、基礎教養と発展教養の区分のもと、多様な科目群で構成されています。

基礎教養

大学での学びを始める入学間もない1年次向けに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝え、主体的・意欲的な学びを奨励する科目を展開します。

スタートアップ科目群

大学の学びを始める学生みなさんに教養教育を学ぶ意義やおもしろさを伝えるための科目群です。

<人文科学系科目>

歴史学のすすめ

<社会科学系科目>

日本国憲法、法学のすすめ、政治学のすすめ、社会学のすすめ、地理学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ、国際学のすすめ、文化人類学のすすめ、社会調査のすすめ、社会統計学のすすめ

<スポーツ科学系科目>

スポーツ科学のすすめ

ベーシック教養科目群

学びの基礎となる思考の軸を身につけ、自身の専攻の相対化を図る力を養い、テーマを持った学びへ誘うことを目的とした科目群です。

<人文科学系科目>

哲学入門、倫理学入門、倫理学A、クリティカル・シンキング、宗教学のすすめ、宗教の世界、日本の文学、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋の文学A、西洋の文学B、言語学入門、日本の歴史、日本の文化、西洋の歴史、心理学入門、教育原論A、教育原論B、倫理学B、アジアの歴史

<社会科学系科目>

人権論A、人権論B、情報社会とメディア、データサイエンス・AI入門

<自然科学系科目>

生活の中の数学、生活の中の統計技術、生活の中の化学、生活の中の物理、生活の中の生物学、生活の中の地学、現代の技術、植物の自然誌、現代社会と栄養

<スポーツ科学系科目>

現代社会とスポーツ、スポーツ技術学A、スポーツ技術学B

全学共通教育科目群（学内センター等提供科目）

学内にある各種センター等の活動等を活かし、現代的なニーズを捉えた科目や社会で必要となる力を身につける科目を開講し、全学で共通した学びを提供することを目的とした科目群です。

<キャリアセンター>

キャリア入門、キャリア・ディスカバリー

<グローバル教育推進センター>

みんなのコミュニケーションA、みんなのコミュニケーションB、Inclusive Communication、みんなで学ぶ国際ビジネス事情、英語で学ぶ日本の社会A、英語で学ぶ日本の社会B

<ユネスソーシャルビジネスセンター（REC）>

仏教SDGs 概論、アントレプレナーシップ入門、テクノロジーと事業創出、ソーシャルインパクト概論、協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）

<学修支援・教育開発センター>

アカデミック・ライティング入門

<ボランティア・NPO活動センター>

ボランティア・NPO入門

<データサイエンス教育プログラム運営委員会>

データサイエンス・AI入門、データサイエンス基礎、A I 基礎

発展教養

様々な学修経験を積んだ高年次（2年次以上）学生に、多様で幅広い学びや、テーマを持った主体的な学びに応え、分野を越えた学びを組み合わせた総合知を育むための科目を展開します。

アドバンスト教養科目群

1年次で学んだ知識や思考を活かしつつ、より多様で幅広い視野を身につけ、複合的な気づきにつながる力を養うための科目群です。

<「仏教の思想」科目>

歎異抄の思想Ⅰ、歎異抄の思想Ⅱ、真宗教団史

<人文科学系科目>

西洋の文学C、西洋の文学D、アジアの文化、心理学A、心理学B、学習・発達論A、学習・発達論B、グローバル・ヒストリー、文化交流論

<社会科学系科目>

現代社会とメディア、現代社会と福祉、現代社会と法、現代社会と労働、現代社会の諸問題、環境と社会、平和学A、ジェンダー論、国際社会論、地域論、企業と会計、社会思想史、情報倫理、グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）、グローバル・シチズンシップB（民主主義）、グローバル・シチズンシップC（平和構築）、グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）、データサイエンス基礎、A I 基礎

<自然科学系科目>

生命と科学、自然観察法、里山学、環境の科学、人類の科学、情報と人間

<スポーツ科学系科目>

健康とスポーツ、スポーツ文化論

教養教育ゼミナール科目群

少人数で深い学び、自由で柔軟な授業内容や運営方法を通じて、自身の専攻を越えた視点を身につけ、主体的・自立的に学ぶ力を養うための科目群です。

<社会科学系科目>

教養教育ゼミナール（社会科学）

アクティブ・ラーニング科目群

アクティブ・ラーニングや課題解決型のPBL等の手法を取り入れ、学修者本位の学びや主体的・自立的な学びを引き出すことを目的とした科目群です。

※「アクティブ・ラーニング科目群」は『発展教養』として位置づけますが、1年次配当科目も含んでいます。

<社会科学系科目>

データサイエンス・AI入門〈1年次〜〉、データサイエンス基礎、AI基礎、社会課題発見演習〈1年次〜〉、社会課題解決演習

<自然科学系科目>

自然観察法、里山学

<文学部>

近代文学講読（C）A、近代文学講読（C）B、情報出版学講読（B）A

<政策学部>

地域課題発見演習

<社会学部>

社会参画技法、社会起業演習A、社会起業演習B

<英語コミュニケーションコース>

Global Understanding in English、Forum

融合型科目群（文理融合・領域融合）

文理に区分された学修体系や自身の専門分野の領域を越え、融合させることで新たな視野を拓き、俯瞰力を養い、総合知を育むことを目的とした科目群です。

※「融合型科目群」は『発展教養』として位置づけますが、1年次配当科目も含んでいます。

<「仏教の思想」科目>

仏教の世界

<社会科学系科目>

現代社会の諸問題

<経営学部>

経営科学

<政策学部>

学部等提供科目群

学部・学部共通コースの専攻教育において導入・基礎にあたる科目を、他学部の学生が教養教育科目として学ぶことで、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした科目群です。

※教養教育科目としては2年次からの履修を基本としますが、学部等で1年次配当の科目は、1年次での履修を可とする場合もあります。

(4) 教養教育分野別科目とは

本学の教養教育は、「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目の3つの区分のもと、それぞれの分野別で構成されています。

「仏教の思想」科目

本学は「親鸞聖人によって開示された浄土真宗の精神を建学の精神にもち、真の人間たるにふさわしい世界を開くことをめざし、深い学識と教養をもちながら国際社会の一員として努力する人間を育成すること」をめざしています。

「仏教の思想」は本学の建学の精神を学ぶために必修科目として位置づけられ、大学の一つの個性となっています。この講義では本学のよき伝統を知り、仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的としています。「仏教の思想」は、各学部のカリキュラムに沿って履修しやすいように、クラス指定で1年次に開講されています。また、入学した学生にいち早く建学の精神を学んでほしいという願いもあります。この「仏教の思想」を平易に理解するために、次のような教育目標を掲げています。

1. 人間にとっての宗教の意義を明らかにする。真実の宗教を見極める眼を育てる。
2. 倫理・歴史として「仏教の思想」を学ぶ。
3. 人間学として「仏教の思想」を学ぶ。
4. 広い視野を育てるために「仏教の思想」を学ぶ。
5. 現代世界のあり方を考える思想として「仏教の思想」を学ぶ。
6. いのちのかけがえのなさに目覚め、異なる意見と対話・交流しあえるような姿勢を培うために、「仏教の思想」を学ぶ。
7. 「仏教の思想」を通して、龍谷大学の建学の精神を学ぶ。

<「仏教の思想」科目>

仏教の思想A ※必修、仏教の思想B ※必修、歎異抄の思想Ⅰ、歎異抄の思想Ⅱ、仏教の世界、真宗教団史

言語科目

外国語教育では、母語とは異なる言語に接することで、母語に基づく思考形式とは異なる思考形式への認識を深めることができます。これにより他の言語圏の文化、芸術、社会に現れたさまざまな伝統や価値観を偏りなく理解する能力が培われます。それは、母語をも客観的に眺め、母語を含めた自らの言語能力を見直すためのよい機会となるでしょう

[英語]

●英語（必修科目）の到達目標

辞書を使いながら標準的な語彙を用いた文字または音声による英語の内容を的確に捉えられるようにします。さらに、正確な情報を把握するために基本的な文法構造と語彙を習得します。

1年次では主に英語受信能力の向上に焦点を置き、2年次では発信能力の育成を視野に入れつつ、学生が選択したトピック別の講義を通じて、英語の4技能の充実を図ります。さらに2年間の必修を終えた後、3年次以降にも英語継続学修の動機付けを行います。

●英語セミナー（選択科目）の到達目標

英語セミナーは、必修科目で養った基礎的な運用能力のレベルアップを図るとともに、個々のニーズに合わせた英語運用能力の向上を目指します。例えば専門分野での学習や留学に対応できるように、知的情報の受信発信能力のさらなる向上を目標とします。

【初修外国語】

本学では、英語以外の外国語で、歴史的・社会的・文化的に見て影響力の大きな言語の中からドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語の5言語を「初修外国語」として開講しています。

英語以外の外国語を学ぶことにより、その運用能力を身につけるとともに、言語一般の普遍的構造や機能に対する理解を深め、世界を複眼的に考察する視点を養います。

＜英語科目＞

英語総合1（A）※必修、英語総合1（B）※必修、英語総合2（A）※必修、英語総合2（B）※必修、英語総合3※必修、英語総合4※必修、英語セミナーA、英語セミナーB、英語セミナーC、英語セミナーD、英語セミナーE、英語セミナーF、英語セミナーG、海外英語研修

＜初修外国語科目＞

ドイツ語ⅠA、ドイツ語ⅠB、ドイツ語ⅡA、ドイツ語ⅡB、ドイツ語セミナーⅠA、ドイツ語セミナーⅠB、フランス語ⅠA、フランス語ⅠB、フランス語ⅡA、フランス語ⅡB、フランス語セミナーⅠA、フランス語セミナーⅠB、中国語ⅠA、中国語ⅠB、中国語ⅡA、中国語ⅡB、中国語セミナーⅠA、中国語セミナーⅠB、ロシア語ⅠA、ロシア語ⅠB、ロシア語ⅡA、ロシア語ⅡB、ロシア語セミナーⅠA、ロシア語セミナーⅠB、スペイン語ⅠA、スペイン語ⅠB、スペイン語ⅡA、スペイン語ⅡB、スペイン語セミナーⅠA、スペイン語セミナーⅠB、日本語

人文科学系科目

人文科学は、人間の様々な文化や過去の経験を研究する学問領域で、大きくは文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などに分かれます。人文科学系科目では、先入観や偏見から自由になってものごとを考える力、芸術作品を鑑賞する能力、感情や意見の表現の仕方、人間の心理を理解する方法などを身につけることを目的にしています。

＜人文科学系科目＞以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

哲学入門、倫理学入門、倫理学A、クリティカル・シンキング、宗教学のすすめ、宗教の世界、日本の文学、アジアの文学A、アジアの文学B、西洋の文学A、西洋の文学B、西洋の文学C、西洋の文学D、言語学入門、歴史学のすすめ、日本の歴史、日本の文化、西洋の歴史、心理学入門、教育原論A、教育原論B、倫理学B、アジアの歴史、アジアの文化、心理学A、心理学B、学習・発達論A、学習・発達論B、グローバル・ヒストリー、文化交流論

社会科学系科目

社会科学は、絶えず変動し複雑さを増す現代社会を広く見渡すとともに、現代社会の諸問題を多角的に捉え、思考・判断する力を養います。そのために、様々な学問分野が培ってきた「ものの見方」や「考え方」、さらには幅広い知識や知的な諸技法を学びます。

＜社会科学系科目＞以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

日本国憲法、法学のすすめ、政治学のすすめ、社会学のすすめ、地理学のすすめ、経済学のすすめ、経営学のすすめ、国際学のすすめ、文化人類学のすすめ、社会調査のすすめ、社会統計学のすすめ、人権論A、人権論B、現代社会とメディア、現代社会と福祉、現代社会と法、環境と社会、平和学A、ジェンダー論、国際社会論、現代社会の諸問題、地域論、企業と会計、現代社会と労働、社会思想史、データサイエンス・AI入門、データサイエンス基礎、AI基礎、社会課題発見演習、社会課題解決演習、グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）、グローバル・シチズンシップB（民主主義）、グローバル・シチズンシップC（平和構築）、グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）、教養教育ゼミナール（社会科学）、情報倫理、情報社会とメディア

自然科学系科目

自然科学は社会生活を送るうえで重要な分野の一つをなしています。社会人になってからの生活や社会活動の際に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養います。数学、情報科学、物理学、天文学、科学史、地球科学、生物学、環境学、化学などの主要分野をカバーする科目を開設します。

＜自然科学系科目＞以下の科目の中から2単位以上の修得が必要です。

生活の中の数学、生活の中の統計技術、生活の中の化学、生活の中の物理、生活の中の生物学、生活の中の地学、生命と科学、現代の技術、自然観察法、里山学、植物の自然誌、環境の科学、人類の科学、情報と人間、現代社会と栄養

スポーツ科学系科目

生涯にわたる健康で文化的な生活の基礎を築くため、実際に身体活動・スポーツを行う実習・演習科目や行動変容を促す講義科目を設定しています。各科目での学修を通じて、自身の身体に向き合うとともに、文化としてのスポーツへの理解を深め、現代社会におけるスポーツの役割や人間の身体がもつ可能性について考えることを目的とします。

＜スポーツ科学系科目＞

健康とスポーツ、現代社会とスポーツ、スポーツ技術学A、スポーツ技術学B、スポーツ文化論、スポーツ科学のすすめ

2. 履修方法について

(1) 「仏教の思想」科目の履修方法

① 必修科目

「仏教の思想A」「仏教の思想B」は必修科目です。配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。

② 選択科目

「仏教の世界」「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」「真宗教団史」は選択科目で、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

③ クラス指定

授業内容の系統性を確保するため、「仏教の思想A」「仏教の思想B」は同一の授業担当者になります。学部指定やクラス指定を行っていますので、時間割の指示にしたがって履修登録してください。なお、9月入学生については、所属学部教務課の指示にしたがって履修してください。

④ 「仏教の思想A」「仏教の思想B」の再履修

配当されたセメスターで不合格となった場合は、2年次以降に次のとおり再度履修してください。

なお、この場合は、上記③（同一の授業担当者による受講及びクラス指定）は適用しません。各自、履修登録を行ってください。

年次	セメスター	科目名
2年次	3	「仏教の思想A」（正規クラスを再履修として履修）
	4	「仏教の思想B」（正規クラスを再履修として履修）
3年次～ （注）	5	「仏教の思想A」（正規クラスを再履修として履修） 「仏教の思想B」（再履修クラス）
	6	「仏教の思想A」（再履修クラス） 「仏教の思想B」（正規クラスを再履修として履修）

（注）3年次以上は、同一セメスターで、A・Bを同時履修することが可能です。

(2) 言語科目の履修方法

①必修外国語科目（英語）の履修

「読む・書く・聴く・話す」といった言語能力の向上を図るとともに、国際社会において適切な判断・主張・行動ができるための素地の育成をめざします。

必修科目として、2年間で英語科目を6単位学びます

<開設科目・配当セメスター>

1年次		2年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター
＜英語 4単位＞		＜英語 2単位＞	
英語総合1 (A) (週1回：1単位)	英語総合2 (A) (週1回：1単位)	英語総合3 (週1回：1単位)	英語総合4 (週1回：1単位)
英語総合1 (B) (週1回：1単位)	英語総合2 (B) (週1回：1単位)		

②習熟度別クラス編成

必修外国語である英語の1年次クラスは、習熟度別クラス編成を行っています。これは、既修の英語の知識、能力を踏まえつつ、英語圏の文化に対する理解及び情報伝達のための英語力（読む・書く・聴く・話す）の総合的向上を図るために、より学生の実態に即した教育を行うためのものです。

習熟度別クラスは、入学時に実施する英語クラス編成テスト（プレイスメントテスト）の得点結果によって編成します。

③トピック別クラス編成

必修外国語である英語の2年次クラスは、トピック別クラス編成を行っています。これは、これまでに習得した英語の知識・能力の上に立ち、学生の興味・関心に応じて、より深く重点的に教育を行うためのものです。

トピック別クラスは、1年次第2学期に実施する希望調査及び成績に基づいて編成します。

④再履修

必修外国語科目（英語）が不合格になった場合は、定められた方法により、再履修しなければなりません。

再履修するには、受講予定者自身が履修登録期間中に履修登録を行う必要があります。希望の曜講時を選択し登録してください。

※受講者数が均等になるよう調整するため、担当者やクラスを選択することはできません。

英語総合の再履修	再履修用科目「英語総合（再）」を、必要単位数（不合格となった科目数）履修してください。
----------	---

⑤選択外国語科目の履修

選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目が開設されています。高度な運用能力（読む・聴く・話す・書く）の育成を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。なお、選択外国語科目は教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

<選択外国語 開設科目・配当セメスター>

	1年次				2年次			
	第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター	
初修外国語 ・ 初修外国語 セミナー	【入門科目】	ドイツ語Ⅰ A、ⅠB フランス語 ⅠA、ⅠB 中国語ⅠA、 ⅠB スペイン語 ⅠA、ⅠB	【入門科目】	ドイツ語Ⅱ A、ⅡB フランス語 ⅡA、ⅡB 中国語ⅡA、 ⅡB スペイン語 ⅡA、ⅡB	【発展科目】	ドイツ語セミナーⅠA フランス語 セミナーⅠA 中国語セミ ナーⅠA スペイン語 セミナーⅠA	【発展科目】	ドイツ語セ ミナーⅠB フランス語 セミナーⅠB 中国語セミ ナーⅠB スペイン語 セミナーⅠB

		コリア語Ⅰ A、ⅠB		コリア語Ⅱ A、ⅡB		コリア語セ ミナーⅠA		コリア語セ ミナーⅠB
英語セミナ ー	【発展科目】	英語セミナーA 英語セミナーG			【発展科目】	英語セミナーB 英語セミナーC 英語セミナーD 英語セミナーE 英語セミナーF		
海外英語研 修	-	-	【発展科目】	海外英語研 修（注）	-	-	-	-

（注）「海外英語研修」（2単位）は1年次生と2年次生のみ履修が可能です。グローバル教育推進センターにおいて申込み手続きを行ってください（Web履修登録不要）。

⑥選択外国語科目の先修制

選択外国語科目のうち以下の科目には先修制が定められています。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名及び単位数
ドイツ語ⅡA、ⅡB	「ドイツ語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
フランス語ⅡA、ⅡB	「フランス語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
中国語ⅡA、ⅡB	「中国語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
スペイン語ⅡA、ⅡB	「スペイン語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
コリア語ⅡA、ⅡB	「コリア語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
ドイツ語セミナーⅠA、ⅠB	「ドイツ語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
フランス語セミナーⅠA、ⅠB	「フランス語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
中国語セミナーⅠA、ⅠB	「中国語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
スペイン語セミナーⅠA、ⅠB	「スペイン語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得
コリア語セミナーⅠA、ⅠB	「コリア語ⅠA、ⅠB」の中からいずれかの1単位の修得

（3）教養科目の履修方法

教養科目は、科目群のほか「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」「スポーツ科学系科目」の4つの分野に分類されており、それぞれに教養教育科目群が構成されています。偏りなく履修することで、幅広い教養を身につけることを可能にしています。

すべての教養科目は自由に選択できますが、選択必修として「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」の中から各1科目（2単位）以上修得する必要があります。なお、2単位を超えて修得した単位及び「スポーツ科学系科目」については、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

それぞれの教養教育分野及び教養教育科目群の特徴を確認して履修を行うようにしてください。

※科目によっては学部や学年が指定されています。履修登録時には注意してください。

（4）単位認定の方法

単位は、それぞれの科目ごとに認定されます。

（5）開講方式及び履修方法

① すべての科目には配当セメスターが設定されており、配当セメスターより前のセメスターにおいては履修できません。

- ② 同一科目名で授業担当者が異なる場合でも同一科目として取り扱います。
よって、同じセメスターにおいて、2つ以上同時に履修することや一度単位認定された科目を再度履修することはできません。
- ③ 同一の科目名でありながら、「〇〇A」「〇〇B」とある科目や「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」とある科目は、それぞれ独立した科目であり、いずれも卒業要件として認定されます。「〇〇A」という科目を修得していなくても、「〇〇B」の履修は可能です。なお、「〇〇Ⅰ」「〇〇Ⅱ」の「Ⅰ」「Ⅱ」は科目内容のグレードを表していますので、できるだけ順序だてて履修してください。

3. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録

必修科目を除く教養教育科目では、各授業科目の受講者数を適正規模に調整するために定員を超過する場合には抽選を行うことがあります。

したがって、必修科目を除く教養教育科目の受講に際しては、年次にかかわらず、履修登録期間に抽選登録科目の履修登録を行う必要があります。

抽選科目は学期ごとに定められている履修登録制限単位数に基づき、履修計画をたてた上で、登録を行ってください（一部抽選が不要な科目もありますので、以下の「(4) 抽選が不要な科目」を参照してください）。

履修登録の結果、受講が許可された科目は、Web履修登録画面にあらかじめ確定した状態で表示されます。その場合、登録の取消はできませんので注意してください。

なお、履修登録で希望した科目の受講が許可されなかった場合や、同期間で履修登録を行わなかった場合でも、Web履修登録画面に表示されている科目を選択し履修登録することができます。

(1) 抽選登録科目の登録方法

本学ホームページの「ポータルサイト」から、Web履修登録画面にアクセスの上、履修を希望する抽選登録科目を選択します。

履修登録期間については、履修説明会及びポータルサイトで確認してください。

(2) 抽選登録科目の履修登録結果発表

履修登録結果はWeb履修登録画面で確認してください。

なお、発表日時（履修登録期間）については、履修説明会及びポータルサイトで確認してください。

(3) 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録

- ① 第1学期（前期）の履修登録は、第1学期（前期）開講科目と通年科目及び8月と9月に開講されるサマーセッション科目を登録します。第2学期（後期）の履修登録は、第2学期（後期）開講科目を登録します（ただし、4年次生以上は、第1学期（前期）に第2学期（後期）開講科目を含む通年分の履修登録をする必要があります）。
- ② 各年次について定められている抽選登録科目の上限履修登録数及び履修登録制限単位の範囲で履修登録をしてください。
- ③ 重複登録（同一曜講時に2科目以上の抽選A科目を登録すること）、二重登録（すでに修得した科目（既修得科目）を再度登録すること、及び同時に同一科目を2科目以上登録すること）をした場合、当該科目はすべて無効となります。

(4) 抽選が不要な科目

以下の科目は抽選が不要です。

「海外英語研修」（1年次配当科目。1年次生と2年次生のみ履修可）

※「海外英語研修」の履修を希望する学生は、グローバル教育推進センターが開催する説明会に参加してください（開催日等はポータルサイト等で確認してください）。その上で申込み手続きを行ってください（Web履修登録不要）。

4. 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）履修について

一部の科目は、自身の所属学部（学舎）にとらわれずに履修できます。

全学に共通した学びを提供することを目的とした「全学共通教育科目群」、分野を越えた幅広い学びにつなげることを目的とした「学部等提供科目群」及び深草学舎・瀬田学舎それぞれで開講される一部の科目を対象とし、学舎や所属学部を越えた多様な学びを展開しています。

(1) 学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）の履修方法

学舎を跨いだ科目（キャンパスコネクト科目）は、他の科目と同様、履修登録期間内に履修登録を行ってください。

なお、原則として対面形式で開講しますので、所属する学舎からの移動時間を見込んでおく必要があります。そのため、1・2講時や3・4講時といった連続受講は認められませんが、2講時と3講時は昼休みを含み移動時間が確保できることから、連続受講することができます。

学舎の移動には、スクールバスを活用するなどして計画的な履修登録をしてください。

(2) 学舎を跨いで履修できる科目（キャンパスコネクト科目）一覧

開講学舎や開講形態は科目によって異なります。詳細はこちら「履修要項Webサイト」
 (https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html) からご確認ください。

- は選択必修として開講する分野必修科目
- は選択科目

科目名	単 位 数	配当セメスター								科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8		
キャリア入門	2	○								全学共通 ※1 社会科学系科目のベーシック／アクティブ・ラーニングを兼ねる ※2 社会科学系科目のアドバンスト／アクティブ・ラーニングを兼ねる	キャリアセンター提供科目
キャリア・ディスカバリー	2				○						
みんなのコミュニケーションA	2	○									グローバル教育推進センター提供科目
みんなのコミュニケーションB	2	○									
Inclusive Communication	2	○									
みんなで学ぶ国際ビジネス事情	2	○									
英語で学ぶ日本の社会A	2	○									
英語で学ぶ日本の社会B	2	○									
仏教SDGs 概論	2		○								ユネスソーシャルビジネスリサーチセンター（Ryukoku Extension Center）提供科目
アントレプレナーシップ入門	2		○								
テクノロジーと事業創出	2				○						
ソーシャルインパクト概論	2				○						
協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）	2				○						
アカデミック・ライティング入門	2	○									学修支援・教育開発センター提供科目
ボランティア・NPO 入門	2	○									ボランティア・NPO活動センター提供科目
データサイエンス・AI入門 ※1	2	●									データサイエンス教育プログラム運営委員会提供科目
データサイエンス基礎 ※2	2			●							
AI基礎 ※2	2				●						

真宗教団史 ※1	4			○					学部等提供 ※1 「仏教の思想」科目のアドバンストを兼ねる ※2 人文科学系科目のアドバンストを兼ねる ※3 社会科学系科目のアドバンストを兼ねる ※4 アクティブ・ラーニングを兼ねる ※5 融合型を兼ねる	文学部提供科目 【文学部履修不可】
西洋の文学C（文学部専攻科目名：「米文学史A」） ※2	2			●						
西洋の文学D（文学部専攻科目名：「米文学史B」） ※2	2				●					
仏教美術（イコノロジー）入門A	2			○						文学部提供科目 【文学部・国際学部国際文化学科履修不可】
仏教美術（イコノロジー）入門B	2				○					
サンスクリット語仏典入門A1	2			○						文学部提供科目 【文学部履修不可】
サンスクリット語仏典入門A2	2				○					
チベット語仏典入門A1	2			○						
チベット語仏典入門A2	2				○					
古典文学講読（A）A	2			○						
古典文学講読（A）B	2				○					
近代文学講読（C）A ※4	2			○						
近代文学講読（C）B ※4	2				○					
情報出版学講読（B）A ※4	2			○						
脳と心	2				○					心理学部提供科目 【心理学部履修不可】
仏教と心理学	2				○					
経済英語Ⅰ	2		○						経済学部提供科目 【経済学部・国際学部国際文化学科履修不可】	
経済英語Ⅱ	2			○						
経済英語Ⅲ	2				○					
経済社会論入門	2		○							
地域産業活性化プロジェクトⅠ（京の老舗と不易流行）	4			○					経済学部提供科目 【経済学部履修不可】	
地域産業活性化プロジェクトⅡ（京の老舗と不易流行）	2				○					
留学英語Ⅰ	4			○					経済学部提供科目 【経済学部・国際学部国際文化学科履修不可】	
留学英語Ⅱ	2			○						
留学英語Ⅲ	4				○					
留学英語Ⅳ	2				○					

経営科学 ※5	2				○					経営学部提供科目 【経営学部経営学科履修不可】
社会データ分析	2				○					経営学部提供科目 【経営学部商学科履修不可】
ワークルール入門	2				○					経営学部提供科目 【経営学部商学科履修不可】
消費者問題論	2			○						経営学部提供科目 【経営学部商学科履修不可】
比較社会政策	2				○					政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
公務員論	2				○					政策学部提供科目 【法学部・政策学部履修不可】
国際ビジネス論	2					○				政策学部提供科目 【経済学部・政策学部履修不可】
財政学	2			○						政策学部提供科目 【経済学部・法学部・政策学部履修不可】
地方財政論	2				○					政策学部提供科目 【経済学部・法学部・政策学部履修不可】
地域レジリエンス論 ※5	2			○						政策学部提供科目 【経済学部・法学部・政策学部履修不可】
地域課題発見演習 ※4	4			○						政策学部提供科目 【経済学部・法学部・政策学部履修不可】
グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）※3	2				●					政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
グローバル・シチズンシップB（民主主義）※3	2				●					政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
グローバル・シチズンシップC（平和構築）※3	2				●					政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）※3	2				●					政策学部提供科目 【政策学部履修不可】
会話分析入門A	2			○						学部等提供 ※1 「仏教の思想」科目のアドバンストを兼ねる ※2 人文科学系科目のアドバンストを兼ねる ※3 社会科学系科目のアドバンストを兼ねる ※4 アクティブ・ラーニングを兼ねる ※5 融合型を兼ねる
会話分析入門B	2			○						
言語習得論	2				○					
異文化間コミュニケーション論	2			○						
Introduction to Sociolinguistics	2			○						
国際関係入門	2			○						
政治思想概論	2			○						
国際開発協力論	2			○						
										国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
										国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
										国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
										国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】

Introduction to Cultural Anthropology	2				○				
文化遺産学	2				○				
南アジアの言語	2			○					
グローバリゼーションとアフリカ	2			○					
グローバリゼーションと東アジア	2				○				
グローバリゼーションと南アジア	2			○					
グローバリゼーションとヨーロッパ	2				○				
グローバリゼーションとラテンアメリカ	2			○					
グローバル・ガバナンス論	2				○				
宗教文化学入門	2			○					
日本語教育入門	2				○				
世界文学入門	2			○					
都市計画入門	2			○					
自然人類学入門	2			○					
グローバル・ヒストリー (国際学部専攻科目名:「グローバル・ヒストリー入門」) ※2	2				●				
文化交流論(国際学部専攻科目名:「東西文化交流入門」) ※2	2				●				
クラウドコンピューティング演習	2				○ *				
理工学のすすめ	2				○				
差別と排除の社会学	2				○				
市民社会の歴史と現在	2					○			
社会学の歴史と理論	2						○		
アートと社会	2					○			

国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部国際文化学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部グローバルスタディーズ学科履修不可】
国際学部提供科目 【国際学部国際文化学科履修不可】
先端理工学部提供科目 【先端理工学部履修不可】 *は第4クォーター開講
社会学部提供科目 【社会学部履修不可】

[illegible]

歴史学のすすめ	2	●							スタートアップ	社会科学系科目部会
アジアの文化	2				●				アドバンスト	
現代社会の諸問題	2			●					融合型（京都学舎のみ） ／アドバンスト（京都学舎のみ） ／アクティブ・ラーニング	
教養教育ゼミナール（社会科学）	2				●				教養教育ゼミ	
社会課題発見演習	2	●							アクティブ・ラーニング	
社会課題解決演習	2			●					アクティブ・ラーニング	

りゅうがくせい たいしょう に ほ ん ご かいこう
留学生を対象に、「日本語」を開講しています。

科目名	単位	はいどうねんじ 配当年次	りゅうたん い とりあつかい 履修単位の 取 扱
にほんご 日本語	1	ねんじいじょう 1年次以上	さいだい たんい ひっしゅうがいくこご にんてい ひっしゅうがいくこご たんいしゅうとく 最大2単位を必修外国語として認定する。ただし、必修外国語を6単位修得した ばあい たんい きょうようきょういくかもく せんたくかもく そつぎょうようけんだんい にんてい 場合は、1単位までは、教養教育科目の選択科目（卒業要件単位）として認定し、 のこ たんい ずいい 残りの単位は、随意とする。

(1) 「仏教の思想」科目

◎は必修科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
仏教の思想A	2	◎									仏教の思想	2科目（4単位）必修
仏教の思想B	2		◎								仏教の思想	
歎異抄の思想Ⅰ	2			○						発展	アドバンスト	
歎異抄の思想Ⅱ	2				○					発展	アドバンスト	
仏教の世界	2			○						発展	融合型	
真宗教団史	4			○						発展	学部等提供／アドバンスト	文学部提供科目

◎は必修外国語科目

[illegible]

[illegible]

コリア語ⅠB	1	○										
コリア語ⅡB	1		○									先修制あり
コリア語セミナーⅠA	2			○								先修制あり
コリア語セミナーⅠB	2				○							先修制あり
スペイン語ⅠA	1	○										
スペイン語ⅡA	1		○									先修制あり
スペイン語ⅠB	1	○										
スペイン語ⅡB	1		○									先修制あり
スペイン語セミナーⅠA	2			○								先修制あり
スペイン語セミナーⅠB	2				○							先修制あり

※下記の科目は留学生のみ履修可能です。

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
日本語	1	○										留学生対象科目

(3) 教養科目

人文科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
哲学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
倫理学入門	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
倫理学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
クリティカル・シンキング	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
宗教学のすすめ	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
宗教の世界	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
日本の文学	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの文学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
アジアの文学B	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学A	2	●								基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学B	2		●							基礎	ベーシック	(※1)
西洋の文学C	2			●						発展	学部等提供／アドバンスト	文学部提供科目 (※1)

西洋の文学D	2			●					発展	学部等提供／アドバンスト	文学部提供科目 (※1)
言語学入門	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
歴史学のすすめ	2	●							基礎	スタートアップ	(※1)
日本の歴史	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
日本の文化	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
西洋の歴史	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
心理学入門	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
教育原論A	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
教育原論B	2		●						基礎	ベーシック	(※1)
倫理学B	2		●						基礎	ベーシック	(※1)
アジアの歴史	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
アジアの文化	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
心理学A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
心理学B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
学習・発達論B	2				●				発展	アドバンスト	(※1)
グローバル・ヒストリー	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	国際学部提供科目 (※1)
文化交流論	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	国際学部提供科目 (※1)

(※1) 1科目 (2単位以上) 必修

社会科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
日本国憲法	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
法学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
政治学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
社会学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
地理学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
経済学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)
経営学のすすめ	2	●								基礎	スタートアップ	(※1)

国際学のすすめ	2	●							基礎	スタートアップ	(※1)
文化人類学のすすめ	2	●							基礎	スタートアップ	(※1)
社会調査のすすめ	2	●							基礎	スタートアップ	(※1)
社会統計学のすすめ	2	●							基礎	スタートアップ	(※1)
人権論A	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
人権論B	2		●						基礎	ベーシック	(※1)
現代社会とメディア	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と福祉	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と法	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会と労働	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
現代社会の諸問題	2			●					発展	融合型／アドバンスト	(※1)
環境と社会	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
平和学A	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
ジェンダー論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
国際社会論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
地域論	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
企業と会計	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
社会思想史	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
情報倫理	2			●					発展	アドバンスト	(※1)
情報社会とメディア	2	●							基礎	ベーシック	(※1)
グローバル・シチズンシップA（公共性・コミュニティ）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目 (※1)
グローバル・シチズンシップB（民主主義）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目 (※1)
グローバル・シチズンシップC（平和構築）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目 (※1)
グローバル・シチズンシップD（人間の安全保障）	2				●				発展	学部等提供／アドバンスト	政策学部提供科目 (※1)
データサイエンス・A I 入門	2	●							基礎	ベーシック	データサイエンス教育プログラム運営委員会提供科目 (※1)
									発展	全学共通／アクティブ・ラーニング	
データサイエンス基礎	2			●					基礎	全学共通	
									発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	

A I 基礎	2				●					基礎	全学共通	
										発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	
教養教育ゼミナール（社会科学）	2			●						発展	教養教育ゼミ	（※1）
社会課題発見演習	2	●								発展	アクティブ・ラーニング	（※1）
社会課題解決演習	2			●						発展	アクティブ・ラーニング	（※1）

（※1）1科目（2単位以上）必修

自然科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
生活の中の数学	2	○/ ●								基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生活の中の統計技術	2	○/ ●								基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生活の中の化学	2	○/ ●								基礎	ベーシック	先端理工学部応用化学課程履修不可 先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生活の中の物理	2	○/ ●								基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生活の中の生物学	2	○/ ●								基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生活の中の地学	2		○/ ●							基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
生命と科学	2			○/ ●						発展	アドバンスト	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）
現代の技術	2		○/ ●							基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 （※1）

自然観察法	2			○/ ●						発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
里山学	2	○/ ●								発展	アドバンスト／アクティブ・ラーニング	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
植物の自然誌	2		○/ ●							基礎	ベーシック	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
環境の科学	2			○/ ●						発展	アドバンスト	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
人類の科学	2			○/ ●						発展	アドバンスト	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
情報と人間	2		○/ ●							発展	アドバンスト	先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)
現代社会と栄養	2	○/ ●								基礎	ベーシック	農学部食品栄養学科履修 不可 先端理工学部選択科目、 農学部選択必修科目 (※1)

(※1) 1科目 (2単位以上) 必修

スポーツ科学系科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
健康とスポーツ	2			○						発展	アドバンスト	
現代社会とスポーツ	2		○							基礎	ベーシック	
スポーツ技術学 A	1	◎/ ○								基礎	ベーシック	先端理工学部必修科目、 農学部選択科目
スポーツ技術学 B	1		◎/ ○							基礎	ベーシック	先端理工学部必修科目、 農学部選択科目
スポーツ文化論	2			○						発展	アドバンスト	
スポーツ科学のすすめ	2	○								基礎	スタートアップ	

学部・センター等提供科目

●は選択必修として開講する分野必修科目

○は選択科目

科目名	単位	配当セメスター	基礎／発展	科目群	備考
-----	----	---------	-------	-----	----

		1	2	3	4	5	6	7	8			
キャリア入門	2	○								基礎	全学共通	キャリアセンター提供科目
キャリア・ディスカバリー	2				○					基礎		
みんなのコミュニケーションA	2	○								基礎		グローバル教育推進センター提供科目
みんなのコミュニケーションB	2	○								基礎		
Inclusive Communication	2	○								基礎		
みんなで学ぶ国際ビジネス事情	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会A	2	○								基礎		
英語で学ぶ日本の社会B	2	○								基礎		
仏教SDGs 概論	2		○							基礎		ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター（Ryukoku Extension Center）提供科目
アントレプレナーシップ入門	2		○							基礎		
テクノロジーと事業創出	2				○					基礎		
ソーシャルインパクト概論	2				○					基礎		
協創イノベーションラボ（PBL型企業連携）	2				○					基礎		
アカデミック・ライティング入門	2	○								基礎		学修支援・教育開発センター提供科目
ボランティア・NPO 入門	2	○								基礎		ボランティア・NPO活動センター提供科目
仏教美術（イコノロジー）入門A	2			○						発展	学部等提供	文学部提供科目
仏教美術（イコノロジー）入門B	2				○					発展		
サンスクリット語仏典入門A 1	2			○						発展		
サンスクリット語仏典入門A 2	2				○					発展		
チベット語仏典入門A 1	2			○						発展		
チベット語仏典入門A 2	2				○					発展		
古典文学講読（A）A	2			○						発展		
古典文学講読（A）B	2				○					発展		
近代文学講読（C）A	2			○						発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	

近代文学講読（C）B	2				○					発展	グ	
情報出版学講読（B）A	2			○						発展		
脳と心	2				○					発展	学部等提供	心理学部提供科目
仏教と心理学	2				○					発展		
経済英語Ⅰ	2		○							発展		
経済英語Ⅱ	2			○						発展		
経済英語Ⅲ	2				○					発展		
経済社会論入門	2		○							発展		
地域産業活性化プロジェクトⅠ（京の老舗と不易流行）	4			○						発展	学部等提供	経済学部提供科目
地域産業活性化プロジェクトⅡ（京の老舗と不易流行）	2				○					発展		
留学英語Ⅰ	4			○						発展		
留学英語Ⅱ	2			○						発展		
留学英語Ⅲ	4				○					発展		
留学英語Ⅳ	2				○					発展		
経営科学	2					○				発展	学部等提供／融合型	
社会データ分析	2				○					発展		経営学部提供科目
ワークルール入門	2				○					発展	学部等提供	
消費者問題論	2			○						発展		
比較社会政策	2				○					発展		
公務員論	2				○					発展		
国際ビジネス論	2					○				発展	学部等提供	
財政学	2			○						発展		
地方財政論	2				○					発展		政策学部提供科目
地域レジリエンス論	2			○						発展	学部等提供／融合型	
地域課題発見演習	4			○						発展	学部等提供／アクティブ・ラーニング	
会話分析入門A	2			○						発展	学部等提供	国際学部提供科目
会話分析入門B	2			○						発展		
言語習得論	2				○					発展		

異文化間コミュニケーション論	2			○						発展		
Introduction to Sociolinguistics	2			○						発展		
国際関係入門	2			○						発展		
政治思想概論	2			○						発展		
国際開発協力論	2			○						発展		
Introduction to Cultural Anthropology	2				○					発展		
文化遺産学	2				○					発展		
南アジアの言語	2			○						発展		
グローバリゼーションとアフリカ	2			○						発展		
グローバリゼーションと東アジア	2				○					発展		
グローバリゼーションと南アジア	2			○						発展		
グローバリゼーションとヨーロッパ	2				○					発展		
グローバリゼーションとラテンアメリカ	2			○						発展		
グローバル・ガバナンス論	2				○					発展		
宗教文化学入門	2			○						発展		
日本語教育入門	2				○					発展		
世界文学入門	2			○						発展		
都市計画入門	2			○						発展		
自然人類学入門	2			○						発展		
クラウドコンピューティング演習	2				○※					発展	学部等提供	先端理工学部提供科目、 先端理工学部履修不可 ※は第4クォーター開講科目
理工学のすすめ	2				○					発展		
差別と排除の社会学	2				○					発展	学部等提供	社会学部提供科目
市民社会の歴史と現在	2					○				発展		
社会学の歴史と理論	2						○			発展		
アートと社会	2					○				発展		
宗教社会学	2				○					発展		
子ども社会学	2			○						発展		

社会参画技法	2				○					発展	学部等提供／アク ティブ・ラーニン グ	
社会起業演習A	2							○		発展		
社会起業演習B	2								○	発展		
音楽社会学	2			○						発展	学部等提供	
カルチュラルスタディー ズ	2				○					発展		
情報社会論	2				○					発展		
デジタルメディア論	2			○						発展		
農業を支える植物細胞の 力	2			○						発展	学部等提供	農学部提供科目、農学部 履修不可
英語コミュニケーション Ⅰ	2				○					発展	学部等提供	国際関係コース提供科 目、先修制あり
英語コミュニケーション Ⅱ	2					○				発展		
Global Understanding in English	4					○				発展	学部等提供／アク ティブ・ラーニン グ	英語コミュニケーション コース提供科目、先修制 あり
Forum	2					○				発展		
自然保護論	2						○			発展	学部等提供	環境サイエンスコース提 供科目

教養教育科目特別講義

科目名	単位	配当セメスター								基礎／発展	科目群	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8			
教養教育科目特別講義	2	○									—	「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは1科目（2単位）までです。（余剰分はフリーゾーンに計上されません）
	8	○										「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは4科目（8単位）までです。

注意事項

（注1）各印は配当セメスターを示しています。ただし、それ以上の学年・セメスターであれば受講可能です（一部例外あり）。

（例：1年次配当科目であれば、2年次以降生も受講可能）

（注2）上記配当セメスターにかかわらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。また、年度により不開講となる場合があります。

詳細は時間割表および履修要項で確認してください。

(注3) 同一の科目名で授業担当者が異なる場合でも同一科目として扱います。

よって、同じセメスターにおいて、二つ以上同時に履修することや一度単位認定された科目を再度履修することはできません。

(注4) 同一の科目名でありながら、「○○A」「○○B」とある科目や「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」とある科目は、それぞれ独立した科目であり、いずれも卒業要件として認定されます。

「○○A」という科目を修得していなくても、「○○B」という科目は履修可能です。なお、「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」の「Ⅰ」「Ⅱ」は科目内容のグレードを表していますので、できるだけ順序だてて履修してください。

(注5) 「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは4科目（8単位）までです。

【2】教養教育科目の教育目的及び履修方法

京都学舎

対象： 経営学部 社会学部

1. 教養教育とは

（1）教養教育の理念・目的

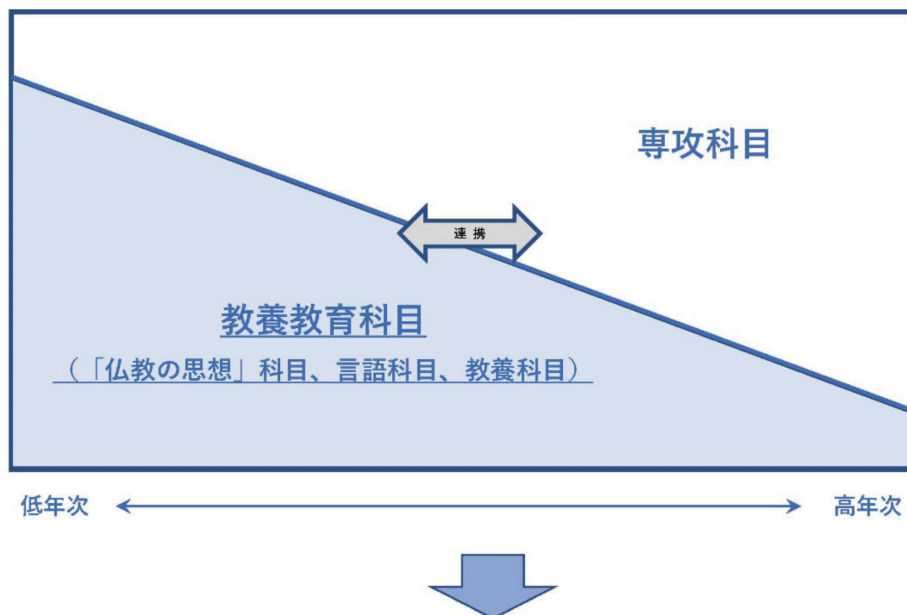
龍谷大学の教養教育は、人間の根源的な問いからその内面を見つめる思考の幅を広げ、人間をとりまく多様な世界を知ることを通じて、自己を確立できる人間の育成を目指して開講されています。このため、建学の精神に基づく高い倫理性や豊かな人間性ととともに、知性・感性を兼ね備え、現代社会でたくましく生きる力を持った人間の形成、つまり、幅広い知識と知的な諸技法の修得に基づく論理的思考力や判断力の涵養により、社会性をもって現実を正しく理解する力と、国際的なコミュニケーション能力をもった「専門性を身につけた教養人の育成」の一翼を担うことを目的としています。

（2）教養教育科目とは

本学の教養教育は、「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目の3つの科目区分で構成されており、これら全体を教養教育科目とよびます。

「仏教の思想」科目	・「仏教の思想A」「仏教の思想B」【必修科目】 ・「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」 本学の建学の精神を涵養する科目が「仏教の思想」科目です。仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的とします。
言語科目	・必修外国語科目 ・選択外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語、ポルトガル語、ロシア語、ラテン語、ギリシア語、ペルシア語、トルコ語、アラビア語を開設。外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し異文化理解を深めるとともに、自律的な学修態度を身につけることを目的とします。
教養科目	・人文科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などの分野に分かれ、人間の様々な文化や過去の経験を学ぶことを目的とします。
	・社会科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 社会科学の学びの入り口や基礎となる科目（社会学、経済学、法学、政治学など）とともに、現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合うための科目を学びます。
	・自然科学系科目 【1科目（2単位以上）必修】 理数系の科目を通じて、社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養うことを目的とします。
	・スポーツ科学系科目 現代社会における人々の健康状況や余暇状況をふまえ、スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学びます。

（3）カリキュラムマップ



		配当セメスター							
		1	2	3	4	5	6	7	8
「仏教の思想」科目	仏教の思想 等	本学の建学の精神を涵養する							
	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、							
言語科目	初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける							
	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経験を学ぶ							
	社会科学系科目	現代社会の様々な場面において立ちあられる多様な問題と向き合う							
	自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う							
教養科目	スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ							

2. 「仏教の思想」科目

「仏教の思想」科目では、1年次の必修科目「仏教の思想A」「仏教の思想B」と、2年次以降の選択科目「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」が開設されています。ここでは「仏教の思想」を中心に説明します。

(1) 目的と意義

本学は「親鸞聖人によって開示された浄土真宗の精神を建学の精神にもち、真の人間たるにふさわしい世界を開くことをめざし、深い学識と教養をもちながら国際社会の一員として努力する人間を育成すること」をめざしています。

「仏教の思想」は本学の建学の精神を学ぶために必修科目として位置づけられ、大学の一つの個性となっています。この講義では本学のよき伝統を知り、仏教の思想を学ぶを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的としています。「仏教の思想」は、学部のカリキュラムに沿って履修しやすいように、クラス指定で1年次に開講されています。また、入学した学生にいち早く建学の精神を学んでほしいという願いもあります。この「仏教の思想」を平易に理解するために、次のような教育目標を掲げています。

1. 人間にとっての宗教の意義を明らかにする。真実の宗教を見極める眼を育てる。
2. 倫理・歴史として「仏教の思想」を学ぶ。
3. 人間学として「仏教の思想」を学ぶ。
4. 広い視野を育てるために「仏教の思想」を学ぶ。
5. 現代世界のあり方を考える思想として「仏教の思想」を学ぶ。
6. いのちのかけがえのなさに目覚め、異なる意見と対話・交流しあえるような姿勢を培うために、「仏教の思想」を学ぶ。
7. 「仏教の思想」を通して、龍谷大学の建学の精神を学ぶ。

(2) 履修方法

① 必修科目

「仏教の思想A」「仏教の思想B」は必修科目です。配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。

② 選択科目

「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」は選択科目で、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

③ クラス指定

授業内容の系統性を確保するため、「仏教の思想A」「仏教の思想B」は同一の授業担当者になります。

学部指定やクラス指定を行っていますので、時間割の指示にしたがって履修登録してください。

なお、9月入学生については、所属学部教務課の指示にしたがって履修してください。

④ 「仏教の思想A」「仏教の思想B」の再履修

配当されたセメスターで不合格となった場合は、2年次以降に次のとおり再度履修してください。

なお、この場合は、上記③（同一の授業担当者による受講およびクラス指定）は適用しません。各自、履修登録を行ってください。

年次	セメスター	科目名
2年次	3	「仏教の思想A」（正規クラスを再履修として履修）
	4	「仏教の思想B」（正規クラスを再履修として履修）
3年次～ （注）	5	「仏教の思想A」（正規クラスを再履修として履修） 「仏教の思想B」（再履修クラス）
	6	「仏教の思想A」（再履修クラス） 「仏教の思想B」（正規クラスを再履修として履修）

（注）3年次以上は、同一セメスターで、A・Bを同時履修することが可能です。

3. 言語科目

言語科目には、必修外国語科目と選択外国語科目があります。必修外国語科目として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・コリア語が、選択外国語科目として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・コリア語・ポルトガル語・ロシア語・ラテン語・ギリシア語・ペルシア語・トルコ語・アラビア語が開設されています。必修外国語科目12単位は必ず修得してください。

(1) 目的と意義

外国語教育では、母語とは異なる言語に接することで、母語に基づいた思考様式とは異なった思考様式に対する認識・理解を深めることができます。また、これにより、外国の文化、芸術、社会におけるさまざまな伝統や価値観をより深く理解する能力も養われます。さらにそれは、日本語を客観的にながめ、自らの日本語能力を見直すよい機会ともなるでしょう。このような意味で、外国語教育は大学生活に必須の学問的基礎訓練の一環となっています。こうした目標を達成するには、地道な努力の継続が欠かせないこと、また、授業時間外における自主的な学修も必要であることを心に留めておいてください。

[英語]

・ 必修外国語科目・英語（英語総合）の到達目標

標準的な語彙を用いた文字または音声による英語の内容を的確に捉えられるようにします。また、基本的な文法能力や談話能力を身につけたうえで、さらに発展的な高次の学習環境を自発的に創造できるような自律的な学習態度を身につけます。

・ 選択外国語科目・英語（英語セミナーなど）の到達目標

基礎的な英語運用能力のさらなるレベルアップをはかるとともに、専門分野での学習、海外留学、資格試験対策など、個々の学生のニーズに合わせた知的情報の受信・発信能力のさらなる向上をめざします。

[初修外国語]

本学では、英語以外の外国語で、歴史的・社会的・文化的に見て重要な言語の中から、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語の5言語を「初修外国語」として必修科目に組み入れています。

英語以外の外国語を学ぶことによって、その運用能力を身につけるとともに、言語一般の普遍的構造や機能に対する理解を深め、世界を複眼的に考察する視点を養います。

(2) 必修外国語科目の履修

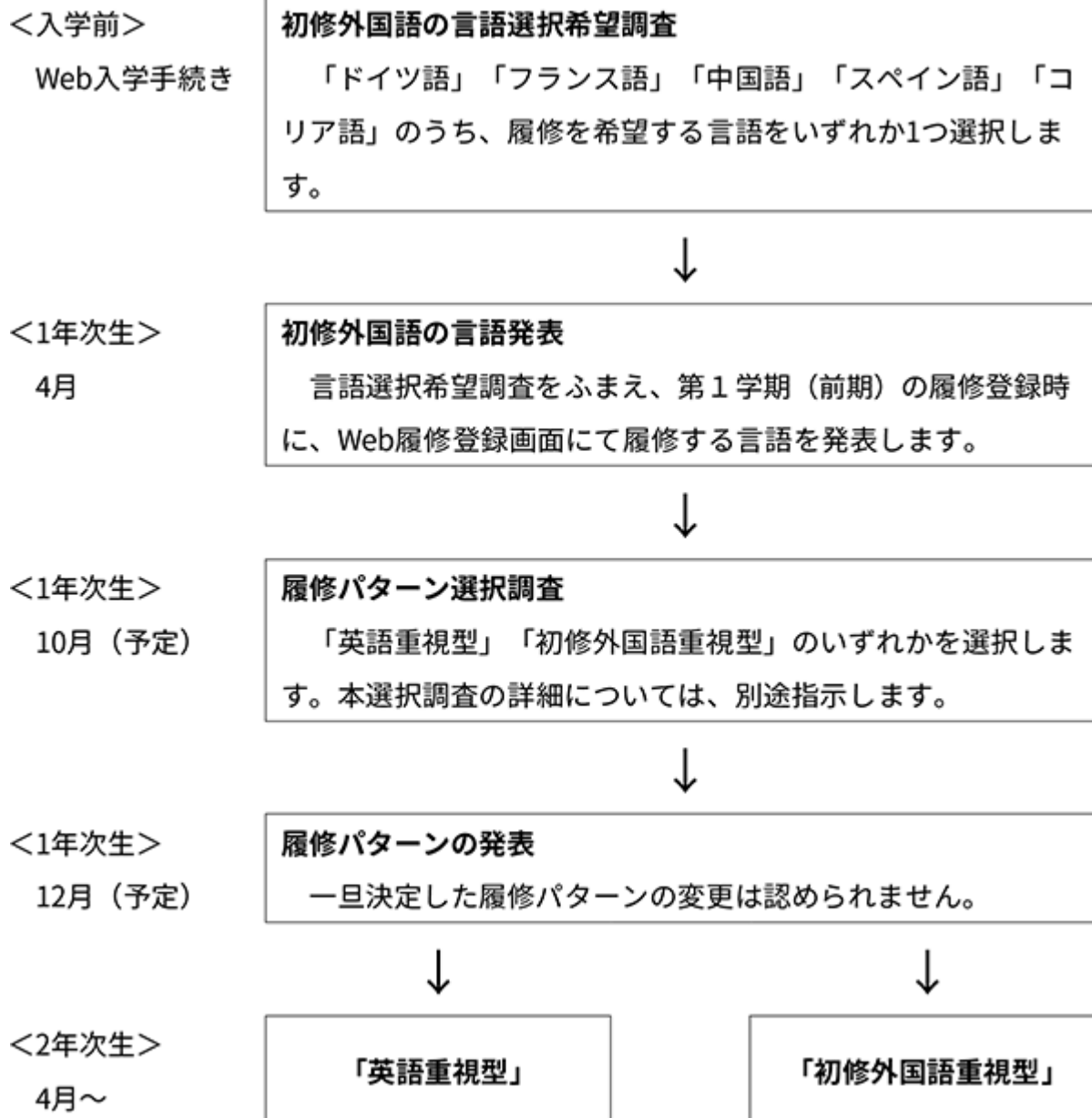
「読む・書く・聴く・話す」といった技能のレベルアップを図るとともに、国際社会において確固とした判断・主張・行動ができるための素地の育成をめざします。

計12単位を必修とし、1年次には英語と初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、コリア語のうち1つを選択）を学び、2年次には英語（英語重視型の場合）もしくは初修外国語（初修外国語重視型の場合）のいずれかを学びます。

①開設科目・配当セメスター（履修パターン別）

1年次		2年次		
第1セメスター 〈4単位〉	第2セメスター 〈4単位〉	履修パターン	第3セメスター 〈2単位〉	第4セメスター 〈2単位〉
＜英語 4単位＞		英語重視型	＜英語 4単位＞	
英語総合1 (A) (週1回：1単位)	英語総合2 (A) (週1回：1単位)		英語総合3 (A) (週1回：1単位)	英語総合4 (A) (週1回：1単位)
英語総合1 (B) (週1回：1単位)	英語総合2 (B) (週1回：1単位)		英語総合3 (B) (週1回：1単位)	英語総合4 (B) (週1回：1単位)
＜初修外国語 4単位＞		初修外国語 重視型	＜初修外国語 4単位＞	
I (週2回：2単位)	II (週2回：2単位)		IIIA (週1回：1単位) IIIC (週1回：1単位)	IIIB (週1回：1単位) IIID (週1回：1単位)

②初修外国語の言語及び履修パターンの選択スケジュール



③習熟度別クラス編成

英語のクラスは、習熟度別クラス編成を行っています。これは、既習の英語の知識、能力を踏まえつつ、より学生の実態に即した教育を行うためのものです。

1年次クラスは入学時に実施する英語クラス編成テスト（プレイスメントテスト）、2年次クラスは1年次の12月頃に実施する英語クラス編成テスト（英語確認テスト）の得点結果によって編成します。

④先修制

必修外国語科目のうち以下の科目には先修制が定められています。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名および単位数
ドイツ語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠD	ドイツ語Ⅰ（2単位）
フランス語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠD	フランス語Ⅰ（2単位）
中国語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠD	中国語Ⅰ（2単位）
スペイン語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠD	スペイン語Ⅰ（2単位）
コリア語Ⅱ，ⅢⅠA～ⅢⅠD	コリア語Ⅰ（2単位）

⑤再履修

必修外国語科目が不合格になった場合は、定められた方法により、再履修しなければなりません。

再履修するには、受講予定者自身が履修登録期間中に履修登録を行う必要があります。希望の曜講時を選択し登録してください。

※受講者数が均等になるよう調整するため、担当者やクラスを選択できない場合があります。

※履修方法等については、科目ごとに異なりますので注意してください。

○英語の再履修について

英語総合の再履修	再履修用科目「英語総合（再）」を、必要単位数（不合格となった科目数）履修してください。評価の最高点は79点となります。 <u>なお、すでに単位を修得した「英語総合（再）」と同じ開講期・曜講時に開講する「英語総合（再）」は、再度履修することはできません。</u>
----------	---

例：第2学期（後期）月曜日5講時に開講する「英語総合（再）」の単位を修得した場合、次年度以降、第2学期（後期）月曜日5講時に開講する「英語総合（再）」は履修できません。ただし、第1学期（前期）月曜日5講時やその他の曜日に開講する「英語総合（再）」は履修できます。

○初修外国語の再履修について

初修外国語Ⅰ・Ⅱの再履修	不合格となった科目の再履修クラスあるいは正規クラスを選択して履修してください。 ※クラス名は、別途配布の時間割表やWeb履修登録画面にて確認のこと。
初修外国語ⅢA～ⅢDの再履修	不合格となった科目あるいは再履修用科目（○○○語Ⅲ（再））を履修してください。 例）ドイツ語ⅢCを不合格となった場合、ドイツ語ⅢCあるいはドイツ語Ⅲ（再）を履修。

⑥選択した履修パターンにある科目以外の必修外国語科目を履修したい場合（2年次生以降）

各自が選択した履修パターンにある科目以外で、先修条件を満たしている必修外国語科目は履修することができます。履修を希望する場合は、学部教務課にある「希望届」を学部教務課に提出してください。ただし、「希望届」の内容、各言語の開講曜日、クラス編成などの条件により、許可されない場合があります。

修得した単位数はフリーゾーンとして卒業要件に含むことができます。

<例>

1. フランス語を選択している英語重視型の学生が、「フランス語ⅢA」を履修し修得した単位
2. 初修外国語重視型の学生が「英語総合3（A）」を履修し修得した単位
3. 中国語を選択している英語重視型または初修外国語重視型の学生が、「スペイン語Ⅰ」を履修し修得した単位

⑦初修外国語の言語を変更したい場合（2年次生以降）

一旦選択した初修外国語の履修を放棄し、他の言語への変更を特に希望する場合は、学部教務課にある「変更理由書」を、学部教務課に提出してください。ただし、「変更理由書」の内容、各言語の開講曜日、クラス編成などの条件により、許可されない場合があります。変更が認められた場合は、新たに「Ⅰ」から履修してください。

変更前に修得した言語の単位はフリーゾーンとして卒業要件に含むことができます。

例：「ドイツ語Ⅰ」の単位修得後、フランス語に言語変更した場合、先に修得した「ドイツ語Ⅰ」は「フランス語Ⅰ」として読み替えられませんので注意が必要です。

(3) 選択外国語科目の履修

選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目が開設されています。より高度な運用能力（読む・聴く・話す・書く）の向上を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。なお、選択外国語科目は教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

【入門科目】開設言語

【発展科目】開設言語

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、ロシア語、ラテン語、ギリシア語、ペルシア語、トルコ語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、ロシア語
---	--

①開設科目・配当セメスター

		1年次		2年次		3年次	
		第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター
英語	【発展科目】	英語セミナーA1 (2単位)	英語セミナーA2 (2単位)	英語セミナーB1 (2単位)	英語セミナーB2 (2単位)	英語セミナーD1 (2単位)	英語セミナーD2 (2単位)
		英語セミナーG1 (2単位)	英語セミナーG2 (2単位)	英語セミナーC1 (2単位)	英語セミナーC2 (2単位)	英語セミナーH1 (2単位)	英語セミナーH2 (2単位)
		英語セミナーI1 (2単位)	英語セミナーI2 (2単位)	英語セミナーE1 (2単位)	英語セミナーE2 (2単位)	英語セミナーJ1 (2単位)	英語セミナーJ2 (2単位)
		英語資格試験セミナー (2単位／サマーセッション)		英語セミナーF1 (2単位)	英語セミナーF2 (2単位)		
			海外英語研修 (注1) (2単位／集中)				
初修外国語	【入門科目】 ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 ロシア語				コミュニケーションⅠ (2単位)	コミュニケーションⅡ (2単位)	
	【発展科目】 ドイツ語 フランス語 中国語 スペイン語 ロシア語			セミナーⅠA (2単位)	セミナーⅠB (2単位)	セミナーⅡA (2単位)	セミナーⅡB (2単位)
				セミナーⅠC (2単位)	セミナーⅠD (2単位)	セミナーⅡC (2単位)	セミナーⅡD (2単位)
				海外中国語研修講座（注2） (2単位／通年集中)			
	【入門科目】 ラテン語 ギリシア語			Ⅰ (1単位)	Ⅱ (1単位)		
	【入門科目】 トルコ語 アラビア語 ペルシア語 ポルトガル語 ロシア語			Ⅰ (2単位)	Ⅱ (2単位)		
	【発展科目】 ポルトガル語 ロシア語					ⅢA (2単位)	ⅢB (2単位)

(注1)「海外英語研修」(2単位)は1年次生と2年次生のみ履修が可能です。グローバル教育推進センターにおいて申込み手続きを行ってください(Web履修登録不要)。

(注2)「海外中国語研修講座」(2単位)は、現地研修に先立ち、グローバル教育推進センターにおいて申込み手続きを行い(Web履修登録不要)、第1学期(前期)には事前指導が行われるので必ず出席してください。

なお、「海外中国語研修講座」（2単位）は、原則、所属する学部教務課へ申し出ることにより、初修外国語重視型「中国語ⅢA～ⅢD（計4単位）」のなかで、2単位まで充当されます。

対象： **経営学部**

（注3）専攻科目としての履修について

- 「セミナーⅠA, ⅠB, ⅠC, ⅠD」（各2単位）
8単位まで学科専攻科目〔上級外国語A,B,C,D〕として修得することが可能です。
- 履修上の注意事項
「セミナーⅠA」と「上級外国語A」は、同内容の科目なので、選択外国語科目と学科専攻科目の両方で履修することはできません（「セミナーⅠB, ⅠC, ⅠD」についても同様）。
選択外国語科目と学科専攻科目のどちらで履修するかは、履修登録時に決めなければなりません。なお、履修登録後の変更は認められません。

①先修制

選択外国語科目のうち以下の科目には先修制が定められています。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名および単位数
ドイツ語セミナーⅠA～ⅠD	「ドイツ語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）
フランス語セミナーⅠA～ⅠD	「フランス語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）
中国語セミナーⅠA～ⅠD	「中国語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）
スペイン語セミナーⅠA～ⅠD	「スペイン語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）
コリア語セミナーⅠA～ⅠD	「コリア語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）
ドイツ語セミナーⅡA～ⅡD	「ドイツ語ⅢA～ⅢD」（計4単位）または「ドイツ語セミナーⅠA～ⅠD」（各2単位）より2科目（計4単位）
フランス語セミナーⅡA～ⅡD	「フランス語ⅢA～ⅢD」（計4単位）または「フランス語セミナーⅠA～ⅠD」（各2単位）より2科目（計4単位）
中国語セミナーⅡA～ⅡD	「中国語ⅢA～ⅢD」（計4単位）または「中国語セミナーⅠA～ⅠD」（各2単位）より2科目（計4単位）
スペイン語セミナーⅡA～ⅡD	「スペイン語ⅢA～ⅢD」（計4単位）または「スペイン語セミナーⅠA～ⅠD」（各2単位）より2科目（計4単位）
コリア語セミナーⅡA～ⅡD	「コリア語ⅢA～ⅢD」（計4単位）または「コリア語セミナーⅠA～ⅠD」（各2単位）より2科目（計4単位）
ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」（2単位）または「ドイツ語コミュニケーションⅠ」（2単位）
フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」（2単位）または「フランス語コミュニケーションⅠ」（2単位）
中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」（2単位）または「中国語コミュニケーションⅠ」（2単位）
スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」（2単位）または「スペイン語コミュニケーションⅠ」（2単位）
コリア語コミュニケーションⅡ	「コリア語Ⅰ」（2単位）または「コリア語コミュニケーションⅠ」（2単位）
英語セミナーB1, B2, C1, C2, E1, E2, F1, F2	「英語総合1（A）,1（B）,2（A）,2（B）」（計4単位）
英語セミナーD1, D2, H1, H2, J1, J2	「英語総合1（A）,1（B）,2（A）,2（B）,3（A）,3（B）,4（A）,4（B）」（各1単位）より4科目（計4単位）
海外中国語研修講座	「中国語Ⅰ,Ⅱ」（計4単位）

ポルトガル語Ⅱ、ⅢA、ⅢB	「ポルトガル語Ⅰ」（2単位）
ロシア語Ⅱ、ⅢA、ⅢB	「ロシア語Ⅰ」（2単位）
ペルシア語Ⅱ	「ペルシア語Ⅰ」（2単位）

4. 教養科目

教養科目は、「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」「スポーツ科学系科目」の4つの系列に分類されており、各系列から偏りなく履修することを通じ、幅広い教養を身につけることを可能にしています。全ての教養科目は自由に選択できますが、選択必修として「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」に設置されている基幹科目（学びの入門となる科目や諸学の基本を学ぶ科目）の中から各1科目（2単位）以上修得する必要があります。なお、「スポーツ科学系科目」及び2単位を超えて修得した基幹科目の単位については、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

人文科学系科目

人文科学は、人間の様々な文化や過去の経験を研究する学問領域で、大きくは文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などに分かれます。人文科学系科目では、先入観や偏見から自由になってものごとを考える力、芸術作品を鑑賞する能力、感情や意見の表現の仕方、人間の心理を理解する方法などを身につけることを目的にしています。

社会科学系科目

社会科学（社会学、経済学、法学、政治学など）は、絶えず変動し複雑さを増す現代社会を広く見渡すとともに、現代社会の諸問題を多角的に捉え、思考・判断する力を養います。そのために、様々な学問分野が培ってきた「ものの見方」や「考え方」、さらには幅広い知識や知的な諸技法を学びます。

自然科学系科目

自然科学は社会生活を送るうえで重要な分野の一つをなしています。社会人になってからの生活や社会活動の際に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養います。数学、情報科学、物理学、天文学、科学史、地球科学、生物学、環境学、化学などの主要分野をカバーする科目を開設します。

スポーツ科学系科目

生涯にわたり健康で文化的な生活の基礎を築くとともに、文化としてのスポーツに対する理解を促し、現代社会におけるスポーツの役割や人間の身体がもつ可能性について考える機会とするための科目を設定しています。具体的には実際にスポーツや身体活動を行う実習科目や行動変容を促す講義科目を開設します。

※「スポーツ技術学演習」

- ① 「スポーツ技術学演習」を履修するためには、本学で行う健康診断を受けておかねばなりません。健康診断の日程については履修説明会や本学ホームページにて確認してください。
- ② 各演習ともに、第1回目の授業は「体育館メインフロア（2階）」に集合してください。

（1）単位認定の方法

単位は、それぞれの科目ごとに認定されます。

（2）開講方式および履修方法

- ① すべての科目には配当セメスターが設定されており、配当セメスターより前のセメスターにおいては履修できません。
- ② 同一科目名の授業の中にも、セメスター型、通年型の開講方式があり、いずれの方式の授業でも履修できます（ただし、1科目のみ）。
- ③ 同一科目名で授業担当者が異なる場合でも同一科目として取り扱います。
よって、同じセメスターにおいて、二つ以上同時に履修することや一度単位認定された科目を再度履修することはできません。
- ④ 同一の科目名でありながら、「○○A」「○○B」「○○C」とある科目や「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」「○○Ⅲ」とある科目は、それぞれ独立した科目であり、いずれも卒業要件として認定されます。「○○A」という科目を修得していなくても、「○○B」の履修は可能です。なお、「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」「○○Ⅲ」の「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」は科目内容のグレードを表していますので、できるだけ順序だてて履修してください。

5. 教養教育科目（必修科目を除く）の履修登録

必修科目を除く教養教育科目では、各授業科目の受講者数を適正規模に調整するために定員を超過する場合には抽選を行うことがあります。

したがって、必修科目を除く教養教育科目の受講に際しては、年次にかかわらず、履修登録期間に抽選登録科目の履修登録を行う必要があります。

抽選登録科目は上限履修登録数及び学期ごとに定められている履修登録制限単位数に基づき、履修計画をたてた上で、登録を行ってください（一部抽選が不要な科目もありますので、以下の「(5) 抽選が不要な科目」を参照してください）。

履修登録の結果、受講が許可された科目は、Web履修登録画面にあらかじめ確定した状態で表示されます。その場合、登録の取消はできませんので注意してください。

なお、履修登録で希望した科目の受講が許可されなかった場合や、同期間で履修登録を行わなかった場合でも、Web履修登録画面に表示されている科目を選択し履修登録することができます。

(1) 抽選登録科目の登録方法

本学ホームページの「ポータルサイト」から、Web履修登録画面にアクセスの上、履修を希望する抽選登録選科目を選択します。

履修登録期間については、履修説明会およびポータルサイトで確認してください。

(2) 抽選登録科目（うち、教養教育科目のみ対象）の上限履修登録単位数

第1学期（前期）（通年科目含む）：7科目

第2学期（後期）：5科目（ただし、文学部、心理学部については、7科目）

なお、4年次生には抽選登録科目の制限はありません。

(3) 抽選登録科目の履修登録結果発表

履修登録結果はWeb履修登録画面で確認してください。

なお、発表日時（履修登録期間）については、履修説明会およびポータルサイトで確認してください。

(4) 抽選登録科目の履修登録に関する注意事項

- ① 第1学期（前期）の履修登録は、第1学期（前期）開講科目と通年科目および8月と9月に開講されるサマーセッション科目を登録します。第2学期（後期）の履修登録は、第2学期（後期）開講科目を登録します（ただし、4年次生以上は、第1学期（前期）に第2学期（後期）開講科目を含む通年分の履修登録をする必要があります）。
- ② 各年次について定められている抽選登録科目の上限履修登録数および履修登録制限単位の範囲で履修登録をしてください。
- ③ 重複登録（同一曜講時に2科目以上の抽選A科目を登録すること）、二重登録（すでに修得した科目（既修得科目）を再度登録すること、および同時に同一科目を2科目以上登録すること）をした場合、当該科目はすべて無効となります。

(5) 抽選が不要な科目

以下の科目は抽選が不要です。

「人権論A・B」（1年次配当科目）受講を希望する場合は、履修登録期間中に履修登録をしてください。

「海外英語研修」（1年次配当科目。1年次生と2年次生のみ履修可）※

※「海外英語研修」の履修を希望する学生は、グローバル教育推進センターが開催する説明会に参加してください（開催日等はポータルサイト等で確認してください）。その上で申込み手続きを行ってください。

「海外中国語研修講座」（2年次配当科目）※

※「海外英語研修」「海外中国語研修講座」の履修を希望する学生は、グローバル教育推進センターが開催する説明会に参加してください（開催日等はポータルサイト等で確認してください）。その上で申込み手続きを行ってください。なお、「海外中国語研修講座」は「中国語Ⅰ・Ⅱ」の計4単位を修得した学生だけが履修できますので注意してください。

6. 留学生の必修外国語科目（日本語科目等）

留^{りゅうがくせい}学^{がく}生^{せい}は「日^に本^{ほん}語^ご」および「留^{りゅうがくせい}学^{がく}生^{せい}のた^{ため}の英^{えいご}語^ご入^い門^{もん}A^ん」・「留^{りゅうがくせい}学^{がく}生^{せい}のた^{ため}の英^{えいご}語^ご入^い門^{もん}B^ん」を必修^{ひつしゅう}外^{がい}国^{こく}語^ごとし^て12単^{たん}位^い履^り修^{しゅう}し修^{しゅう}得^{とく}する^{こと}を原則^{げんそく}とし^ます。

た^だし、登^{とう}録^{ろく}にあ^った^つては必^{かな}ず学^{がく}部^ぶ教^{がく}務^ぶ課^か窓^{まど}口^{ぐち}で相^{そう}談^{だん}して^くだ^さい。

科目名	単位	配当年次	開講形態
日本語	1	1年次以上	セメスター型
留 ^{りゅうがくせい} 学 ^{がく} 生 ^{せい} のた ^{ため} の英 ^{えいご} 語 ^ご 入 ^い 門 ^{もん} A ^ん (注1)	1	1年次以上	セメスター型
留 ^{りゅうがくせい} 学 ^{がく} 生 ^{せい} のた ^{ため} の英 ^{えいご} 語 ^ご 入 ^い 門 ^{もん} B ^ん (注2)	1	1年次以上	セメスター型

(注1) 学^{がく}則^{そく}上^{じょう}の科^か目^{めい}名^なは「英^{えいご}語^ご総^{そう}合^{ごう}1 (B)」です。

(注2) 学^{がく}則^{そく}上^{じょう}の科^か目^{めい}名^なは「英^{えいご}語^ご総^{そう}合^{ごう}2 (B)」です。

7. 教養教育科目開設科目

「仏教の思想」科目

◎は必修科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
仏教の思想 A	2	◎						2科目（4単位）必修
仏教の思想 B	2		◎					
歎異抄の思想 I	2			○				
歎異抄の思想 II	2				○			

言語科目

◎は必修外国語科目

○は選択外国語科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
英語総合1（A）	1	◎						
英語総合1（B）	1	◎						
英語総合2（A）	1		◎					
英語総合2（B）	1		◎					
英語総合3（A）	1			◎				
英語総合3（B）	1			◎				
英語総合4（A）	1				◎			
英語総合4（B）	1				◎			
ドイツ語 I	2	◎						
ドイツ語 II	2		◎					

ドイツ語Ⅲ A	1			◎				
ドイツ語Ⅲ B	1				◎			
ドイツ語Ⅲ C	1			◎				
ドイツ語Ⅲ D	1				◎			
フランス語Ⅰ	2	◎						
フランス語Ⅱ	2		◎					
フランス語Ⅲ A	1			◎				
フランス語Ⅲ B	1				◎			
フランス語Ⅲ C	1			◎				
フランス語Ⅲ D	1				◎			
中国語Ⅰ	2	◎						
中国語Ⅱ	2		◎					
中国語Ⅲ A	1			◎				
中国語Ⅲ B	1				◎			
中国語Ⅲ C	1			◎				
中国語Ⅲ D	1				◎			
スペイン語Ⅰ	2	◎						
スペイン語Ⅱ	2		◎					
スペイン語Ⅲ A	1			◎				
スペイン語Ⅲ B	1				◎			
スペイン語Ⅲ C	1			◎				
スペイン語Ⅲ D	1				◎			
コリア語Ⅰ	2	◎						
コリア語Ⅱ	2		◎					
コリア語Ⅲ A	1			◎				
コリア語Ⅲ B	1				◎			
コリア語Ⅲ C	1			◎				
コリア語Ⅲ D	1				◎			
英語セミナー A1	2	○						
英語セミナー A2	2		○					
英語セミナー B1	2			○				
英語セミナー B2	2				○			
英語セミナー C1	2			○				

英語セミナーC2	2				○			
英語セミナーD1	2					○		
英語セミナーD2	2						○	
英語セミナーE1	2			○				
英語セミナーE2	2				○			
英語セミナーF1	2			○				
英語セミナーF2	2				○			
英語セミナーG1	2	○						
英語セミナーG2	2		○					
英語セミナーH1	2					○		
英語セミナーH2	2						○	
英語セミナーI1	2	○						
英語セミナーI2	2		○					
英語セミナーJ1	2					○		
英語セミナーJ2	2						○	
英語資格試験セミナー	2		○					
海外英語研修	2		○					1年次生と2年次生のみ履修可
ドイツ語セミナーⅠA	2			○				
ドイツ語セミナーⅠB	2				○			
ドイツ語セミナーⅠC	2			○				
ドイツ語セミナーⅠD	2				○			
ドイツ語セミナーⅡA	2					○		
ドイツ語セミナーⅡB	2						○	
ドイツ語セミナーⅡC	2					○		
ドイツ語セミナーⅡD	2						○	
ドイツ語コミュニケーションⅠ	2				○			国際関係コース提供科目
ドイツ語コミュニケーションⅡ	2					○		国際関係コース提供科目
フランス語セミナーⅠA	2			○				
フランス語セミナーⅠB	2				○			
フランス語セミナーⅠC	2			○				
フランス語セミナーⅠD	2				○			
フランス語セミナーⅡA	2					○		
フランス語セミナーⅡB	2						○	

フランス語セミナーⅡ C	2					○		
フランス語セミナーⅡ D	2						○	
フランス語コミュニケーションⅠ	2				○			国際関係コース提供科目
フランス語コミュニケーションⅡ	2					○		国際関係コース提供科目
中国語セミナーⅠ A	2			○				
中国語セミナーⅠ B	2				○			
中国語セミナーⅠ C	2			○				
中国語セミナーⅠ D	2				○			
中国語セミナーⅡ A	2					○		
中国語セミナーⅡ B	2						○	
中国語セミナーⅡ C	2					○		
中国語セミナーⅡ D	2						○	
中国語コミュニケーションⅠ	2				○			国際関係コース提供科目
中国語コミュニケーションⅡ	2					○		国際関係コース提供科目
スペイン語セミナーⅠ A	2			○				
スペイン語セミナーⅠ B	2				○			
スペイン語セミナーⅠ C	2			○				
スペイン語セミナーⅠ D	2				○			
スペイン語セミナーⅡ A	2					○		
スペイン語セミナーⅡ B	2						○	
スペイン語セミナーⅡ C	2					○		
スペイン語セミナーⅡ D	2						○	
スペイン語コミュニケーションⅠ	2				○			国際関係コース提供科目
スペイン語コミュニケーションⅡ	2					○		国際関係コース提供科目
コリア語セミナーⅠ A	2			○				
コリア語セミナーⅠ B	2				○			
コリア語セミナーⅠ C	2			○				
コリア語セミナーⅠ D	2				○			
コリア語セミナーⅡ A	2					○		
コリア語セミナーⅡ B	2						○	
コリア語セミナーⅡ C	2					○		
コリア語セミナーⅡ D	2						○	
コリア語コミュニケーションⅠ	2				○			国際関係コース提供科目

コリア語コミュニケーションⅡ	2					○		国際関係コース提供科目
海外中国語研修講座	2			○				
ポルトガル語Ⅰ	2			○				
ポルトガル語Ⅱ	2				○			
ポルトガル語ⅢA	2					○		
ポルトガル語ⅢB	2						○	
ロシア語Ⅰ	2			○				
ロシア語Ⅱ	2				○			
ロシア語ⅢA	2					○		
ロシア語ⅢB	2						○	
ラテン語Ⅰ	1			○				
ラテン語Ⅱ	1				○			
ギリシア語Ⅰ	1			○				
ギリシア語Ⅱ	1				○			
ペルシア語Ⅰ	2			○				
ペルシア語Ⅱ	2				○			
トルコ語Ⅰ	2			○				
トルコ語Ⅱ	2				○			
アラビア語Ⅰ	2			○				
アラビア語Ⅱ	2				○			

※下記の科目は留学生のみ履修可能です。

日本語	1	◎	◎					
留学生のための英語入門A	1	◎	◎					学則上の科目名（英語総合1（B））
留学生のための英語入門B	1	◎	◎					学則上の科目名（英語総合2（B））

教養科目（人文科学系科目）

●は選択必修科目として開講する基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
哲学入門	2	●						(※1)
哲学A	2	●						
倫理学入門	2	●						

倫理学 A	2	●					
クリティカル・シンキング	2	●					
宗教学入門	4	●					
宗教の世界 A	2	●					
宗教の世界 B	2		●				
中国の思想 A	2	●					
中国の思想 B	2		●				
日本の文学 A	4	●					
日本の文学 B	4		●				
アジアの文学 A	2	●					
アジアの文学 B	2	●					
西洋の文学 A	2	●					
西洋の文学 B	2		●				
文章表現法 A	2	●					
文章表現法 B	2		●				
言語と文化	2	●					
日本の歴史 A	4	●					
日本の歴史 B	4		●				
アジアの歴史 A	4	●					
アジアの歴史 B	4		●				
西洋の歴史 A	4	●					
現代世界の歴史 A	2	●					
現代世界の歴史 B	2		●				
心理学	4	●					
心の科学 A	2	●					
心の科学 B	2		●				
教育学のすすめ A	2	●					
教育学のすすめ B	2		●				
哲学 B	2			○			
倫理学 B	2			○			
論理学	2			○			
芸術の世界 A	2			○			
芸術の世界 B	2				○		

日本の文学C	2			○				
歴史学入門	2			○				
日本の文化	4				○			
アジアの文化	2			○				
西洋の歴史B	2			○				
西洋の歴史C	2				○			
応用心理学A	2			○				
応用心理学B	2				○			
現代社会と教育A	2			○				
現代社会と教育B	2				○			
教育原論A	2			○				
教育原論B	2				○			
学習・発達論A	2			○				
学習・発達論B	2				○			
人文科学セミナー	4			○				
大学論	2			○				

(※1) …1科目 (2単位以上) 必修

教養科目（社会科学系科目）

●は選択必修科目として開講する基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
日本国憲法	2	●						(※1) 法学部・政策学部履修不可
法学のすすめ	2	●						(※1) 法学部履修不可
政治学のすすめ	2	●						(※1) 法学部・政策学部履修不可
社会学のすすめ	2	●						(※1) 社会学部履修不可
地理学のすすめ	2	●						(※1)
経済学のすすめ	2	●						(※1) 経済学部・政策学部履修不可
経営学のすすめ	2	●						(※1) 経営学部履修不可

国際学のすすめ	2	●						(※1) 国際学部履修不可
文化人類学のすすめ	2	●						(※1) 社会学部履修不可
社会調査のすすめ	2	●						(※1) 社会学部履修不可
社会統計学のすすめ	2	●						(※1)
人権論A	2	○						
人権論B	2		○					
現代社会とメディア	2			○				法学部履修不可
現代社会と福祉	2			○				社会学部履修不可
現代社会と法	2			○				法学部・政策学部履修不可
環境と社会	2			○				
平和学A	2			○				
ジェンダー論	2			○				
国際社会論	2			○				
現代社会の諸問題	2			○				
地域論	2			○				
企業と会計	2			○				経営学部履修不可
現代社会と労働	2			○				
社会思想史	2			○				
英語で学ぶ日本の社会A	2	○						
英語で学ぶ日本の社会B	2	○						
データサイエンス・AI入門	2	○						

(※1) …1科目 (2単位以上) 必修

教養科目（自然科学系科目）

●は選択必修科目として開講する基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
数学入門	2	●						(※1)
数学への旅	2	●						
確率・統計入門	2	●						
宇宙の科学Ⅰ	4	●						
地球科学のすすめ	2	●						

物理科学の世界	4	●						
時間と空間の科学	2	●						
自然科学史Ⅰ	2	●						
生物科学のすすめ	4	●						
生命科学のすすめ	2	●						
生態学のすすめ	4	●						
人類学のすすめ	4	●						
環境学	4	●						
情報科学入門	2			●				
微分と積分	4	○						
行列と行列式	4	○						
数理統計学	4			○				
数理と計算	2			○				
数学の世界	4			○				
数理と論証	2			○				
宇宙の科学Ⅱ	2			○				
地球科学	2		○					
エネルギー入門	2			○				
自然科学史Ⅱ	2			○				
科学論	2			○				
技術論	2				○			
平和学B	2			○				
里山学	2	○						
生命科学	2		○					
日本の自然	4	○						
生命誌	2			○				
植物の自然誌	2			○				
動物の自然誌	2			○				
民族の自然誌	2			○				
人類進化学	2			○				
人間の生物学Ⅰ	2			○				
人間の生物学Ⅱ	2				○			
自然誌実習	4			○				

野外観察法	2			○				
情報科学Ⅰ	2				○			
情報科学Ⅱ	2					○		
情報科学実習	4		○					

(※1) …1科目 (2単位以上) 必修

教養科目 (スポーツ科学系科目)

●は選択必修科目として開講する基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
健康とスポーツ	2			○				
現代社会とスポーツ	2		○					
スポーツ技術学演習	2	○						
人間とスポーツ	2	○						
スポーツと人権・平和	2			○				
スポーツ文化史	2			○				社会学部履修不可
スポーツ科学最前線	2	○						

教養教育科目特別講義

●は選択必修科目として開講する基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位	配当セメスター						備考
		1	2	3	4	5	6	
教養教育科目特別講義	2	○						4単位科目と2単位科目を複数開講するが、1科目 (2単位/4単位) のみ卒業要件単位となる。
教養教育科目特別講義	4	○						

(注1) 各印は配当セメスターを示しています。ただし、それ以上の学年・セメスターであれば受講可能です。(一部例外あり)

(例: 1年次配当科目であれば、2年次以降も受講可能)

(注2) 上記配当セメスターにかかわらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。また、年度により不開講となることがあります。

詳細は時間割冊子およびWeb履修登録画面で確認してください。

教養教育科目の教育目的及び履修方法 瀬田学舎（先端理工学部）

【2】 教養教育科目の教育目的及び履修方法

瀬田学舎

対象： 先端理工学部

1. 教養教育とは

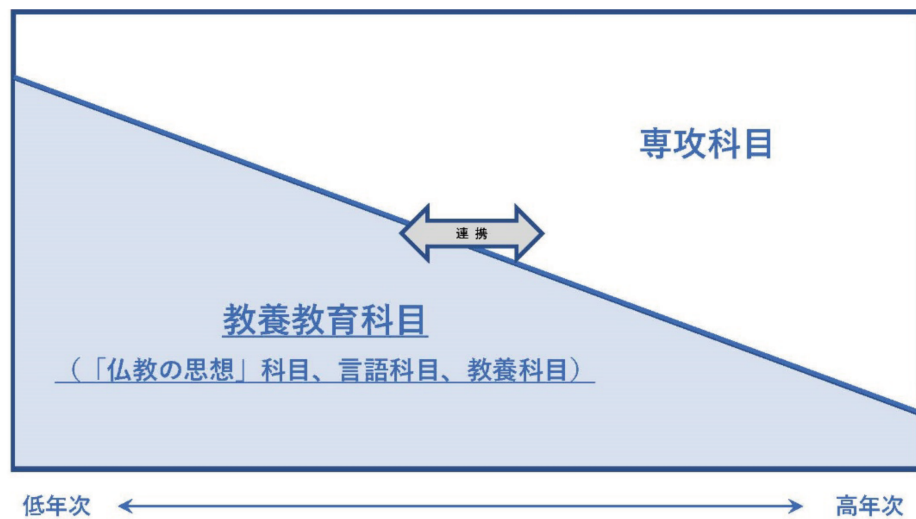
(1) 教養教育の理念・目的

龍谷大学の教養教育は、人間の根源的な問いからその内面を見つめる思考の幅を広げ、人間をとりまく多様な世界を知ることを通じて、自己を確立できる人間の育成を目指して開講されています。このため、建学の精神に基づく高い倫理性や豊かな人間性ととともに、知性・感性を兼ね備え、現代社会でたくましく生きる力を持った人間の形成、つまり、幅広い知識と知的な諸技法の修得に基づく論理的思考力や判断力の涵養により、社会性をもって現実を正しく理解する力と、国際的なコミュニケーション能力をもった「専門性を身につけた教養人の育成」の一翼を担うことを目的としています。

(2) 教養教育科目とは

「仏教の思想」科目	・「仏教の思想A」「仏教の思想B」【必修科目】 ・「歎異抄の思想I」「歎異抄の思想II」 本学の建学の精神を涵養する科目が「仏教の思想」科目です。仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的とします。
言語科目	・必修外国語科目（英語） ・選択外国語科目（初修外国語・英語） 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語を開設。外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し異文化理解を深めるとともに、自律的な学修態度を身につけることを目的とします。
教養科目	・人文科学系科目 基幹科目【1科目（2単位以上）必修】 文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などの分野に分かれ、人間の様々な文化や過去の経験を学ぶことを目的とします。
	・社会科学系科目 基幹科目【1科目（2単位以上）必修】 社会科学の学びの入り口や基礎となる科目（社会学、経済学、法学、政治学など）とともに、現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合うための科目を学びます。
	・自然科学系科目 理数系の科目を通じて、社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養うことを目的とします。
	・スポーツ科学系科目 ・「スポーツ技術学A」「スポーツ技術学B」【必修科目】 現代社会における人々の健康状況や余暇状況をふまえ、スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学びます。

(3) カリキュラムマップ



		配当セメスター							
		1	2	3	4	5	6	7	8
「仏教の思想」科目	仏教の思想等	本学の建学の精神を涵養する							
言語科目	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、							
	初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける							
教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経験を学ぶ							
	社会科学系科目	現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合う							
	自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う							
	スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ							

(4) 教養教育科目の必修科目

「教養教育科目」として開設している科目の中から、次表に示す科目を必修科目・選択必修科目（基幹科目）として合計16単位修得しなければなりません。

科目区分		科目名	各単位数	合計単位数
「仏教の思想」科目		仏教の思想A、仏教の思想B	各2単位	4単位
言語科目		英語総合1(A)、英語総合1(B)、英語総合2(A)、英語総合2(B)、英語総合3、英語総合4	各1単位	6単位
教養科目	人文科学系科目	選択必修科目として定める各科目（基幹科目）	1科目(2単位)以上	2単位以上
	社会科学系科目	選択必修科目として定める各科目（基幹科目）	1科目(2単位)以上	2単位以上
	スポーツ科学系科目	スポーツ技術学A、スポーツ技術学B	各1単位	2単位

① 仏教の思想の履修

「仏教の思想」科目区分のうち、「仏教の思想A、B（各2単位）」は、配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。配当されたセメスターで単位を修得できなかった場合は、次年次以降に再履修しなければなりません。詳細は本項目以降の説明をよく読んでください。

② 英語の履修

「言語科目」区分のうち、必修外国語として英語6単位を履修しなければなりません。配当されたセメスターで単位を修得できなかった場合は、次学期以降再履修しなければなりません。詳細は本項目以降の説明をよく読んでください。

③ 教養科目の履修

「教養科目」区分のうち、「人文科学系科目」「社会科学系科目」に設置されている「基幹科目（学びの入門となる科目や諸学の基本を学ぶ科目）」の中から各1科目（2単位）以上を修得してください。

④ スポーツ技術学の履修

「スポーツ技術学A、B（各1単位）」は、配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。配当されたセメスターで単位を修得できなかった場合は、次年次以降再履修しなければなりません。詳細は本項目以降の説明をよく読んでください。

2. 「仏教の思想」科目

「仏教の思想」科目では、1年次の必修科目「仏教の思想A」「仏教の思想B」と、2年次以降の選択科目「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」が開設されています。ここでは「仏教の思想」を中心に説明します。

（1）目的と意義

本学は「親鸞聖人によって開示された浄土真宗の精神を建学の精神にもち、真の人間たるにふさわしい世界を開くことをめざし、深い学識と教養をもちながら国際社会の一員として努力する人間を育成すること」をめざしています。

「仏教の思想」は本学の建学の精神を学ぶために必修科目として位置づけられ、大学の一つの個性となっています。この講義では本学のよき伝統を知り、仏教の思想を学ぶことを通して、自己を内省し、幅広いものの見方と心の豊かさを育てることを目的としています。「仏教の思想」は、各学部のカリキュラムに沿って履修しやすいように、クラス指定で1年次に開講されています。また、入学した学生にいち早く建学の精神を学んでほしいという願いもあります。この「仏教の思想」を平易に理解するために、次のような教育目標を掲げています。

1. 人間にとっての宗教の意義を明らかにする。真実の宗教を見極める眼を育てる。
2. 倫理・歴史として「仏教の思想」を学ぶ。
3. 人間学として「仏教の思想」を学ぶ。
4. 広い視野を育てるために「仏教の思想」を学ぶ。
5. 現代世界のあり方を考える思想として「仏教の思想」を学ぶ。
6. いのちのかけがえのなさに目覚め、異なる意見と対話・交流しあえるような姿勢を培うために、「仏教の思想」を学ぶ。
7. 「仏教の思想」を通して、龍谷大学の建学の精神を学ぶ。

（2）履修方法

① 必修科目

「仏教の思想A」「仏教の思想B」は必修科目です。配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。

② 選択科目

「歎異抄の思想Ⅰ」「歎異抄の思想Ⅱ」は選択科目で、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

③ クラス指定

授業内容の系統性を確保するため、「仏教の思想A」「仏教の思想B」は同一の授業担当者になります。

学部指定やクラス指定を行っていますので、時間割の指示にしたがって履修登録してください。

なお、9月入学生については、所属学部教務課の指示にしたがって履修してください。

④ 「仏教の思想A」「仏教の思想B」の再履修

配当されたセメスターで不合格となった場合は、2年次以降に次のとおり再度履修してください。

なお、この場合は、上記③（同一の授業担当者による受講およびクラス指定）は適用しません。各自、履修登録を行ってください。

年次	セメスター	科目名
2年次	3	「仏教の思想A」（正規クラスを再履修として履修）
	4	「仏教の思想B」（正規クラスを再履修として履修）

3年次～ (注)	5	「仏教の思想A」(正規クラスを再履修として履修) 「仏教の思想B」(再履修クラス)
	6	「仏教の思想A」(再履修クラス) 「仏教の思想B」(正規クラスを再履修として履修)

(注) 3年次以上は、同一セメスターで、A・Bを同時履修することが可能です。

3. 言語科目

言語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語が開設され、必修外国語科目と選択外国語科目とに区分されます。言語科目のうち、必修外国語科目（英語）6単位を必ず修得してください。なお、6単位を超えて修得した単位は、教養教育科目の選択科目として認定されます。

(1) 目的と意義

外国語教育では、母語とはまったく異なる言語に接することで、母語に基づいた思考様式とはまったく異なった思考様式に対する認識・理解を深めることができます。また、これにより、外国の文化、芸術、社会におけるさまざまな伝統や価値観をより深く理解する能力も養われます。さらにそれは、日本語を客観的にながめ、自らの日本語能力を見直すよい機会ともなるでしょう。このような意味で、外国語教育は大学生活に必須の学問的基礎訓練の一環となっています。こうした目標を達成するには、地道な努力の継続が欠かせないこと、また、教室外での自発的な研修も必要であることを心に留めておいてください。

[英語]

• 英語（必修科目）の到達目標

辞書を使いながら標準的な語彙を用いた文字または音声による英語の内容を的確に捉えられるようにします。さらに、正確な情報を把握するために基本的な文法構造と語彙を習得します。

• 英語セミナー（選択科目）の到達目標

英語セミナーは、必修科目で養った基礎的な運用能力のレベルアップを図るとともに、個々のニーズに合わせた英語運用能力の向上を目指します。例えば専門分野での学習や留学に対応できるように、知的情報の受信発信能力のさらなる向上を目標とします。

[初修外国語]

本学では、英語以外の外国語で、歴史的・社会的・文化的に見て重要な言語の中からドイツ語、フランス語、中国語、コリア語の4言語を「初修外国語」として開講しています。

英語以外の外国語を学ぶことによって、その運用能力を身につけるとともに、言語一般の普遍的構造や機能に対する理解を深め、世界を複眼的に考察する視点を養います。

(2) 必修外国語科目（英語）の履修

本当に使える外国語の力を身につけたいといった要望に応え、「読む・書く・聴く・話す」といった技能のレベルアップを図るとともに、国際社会において確固とした判断・主張・行動ができるための素地の育成をめざします。

①開設科目

科目	配当	科目概要	履修方法	再履修
英語総合1（A）、 英語総合1（B）	1セメ	基礎的な英語力の見直し	クラス指定が行われま す。 指定された科目を履修登 録してください。	各科目の次の開講セメス ターから再履修が可能で す。抽選登録を行い、履 修を行ってください。
英語総合2（A）、 英語総合2（B）	2セメ	「1」を発展させた基礎 力の強化		
英語総合3	3セメ	トピック別クラス		
英語総合4	4セメ			

②習熟度別クラス編成

必修外国語である英語のクラスは、習熟度別クラス編成を行っています。これは、既習の英語の知識、能力を踏まえつつ、英語圏の文化に対する理解および情報伝達のための英語力（読む、書く、聴く、話す）の総合的向上を図るために、より学生の実態に即した教育を行うためのものです。習熟度別クラスについては、入学時に実施する英語クラス編成テスト（プレイスメントテスト）の得点結果によって編成します。

③トピック別クラス編成

必修外国語である英語の2年次クラスは、トピック別クラス編成を行っています。これは、これまでに習得した英語の知識・能力の上に立ち、学生の興味・関心に応じて、より深く重点的に教育を行うためのものです。

トピック別クラスは、1年次第2学期に実施する希望調査および成績に基づいて編成します。

④再履修

必修外国語科目（英語）が不合格になった場合は、再履修科目を履修しなければなりません。

「英語総合（再）」は抽選登録が必要となります。

履修方法等については、各学期の履修指導期間にポータルサイト等で周知しますので、希望の曜講時を選択し登録してください。なお、クラスは受講者数が均等になるよう大学で割り振りますので、受講予定者自身がクラスを選択することはできません。不合格となった科目数しか履修は認められませんのでご注意ください。

(3) 選択外国語科目の履修

選択外国語科目には、新しい言語にチャレンジするための入門科目と発展科目であるセミナー科目が開設されています。より高度な運用能力（読む・書く・聴く・話す）の向上を図るとともに、そのことばが用いられている国・地域の文化的、社会的事情についての理解を深めることをめざします。

①開設科目・配当セメスター

	1年次		2年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター
初修外国語 ・ 初修外国語セミナー	ドイツ語ⅠA、ⅠB フランス語ⅠA、ⅠB 中国語ⅠA、ⅠB コリア語ⅠA、ⅠB	ドイツ語ⅡA、ⅡB フランス語ⅡA、ⅡB 中国語ⅡA、ⅡB コリア語ⅡA、ⅡB	ドイツ語セミナーⅠA フランス語セミナーⅠA 中国語セミナーⅠA コリア語セミナーⅠA	ドイツ語セミナーⅠB フランス語セミナーⅠB 中国語セミナーⅠB コリア語セミナーⅠB
英語セミナー	英語セミナーA1 英語セミナーG1	英語セミナーA2 英語セミナーG2	英語セミナーB1 英語セミナーC1 英語セミナーD1 英語セミナーE1 英語セミナーF1	英語セミナーB2 英語セミナーC2 英語セミナーD2 英語セミナーE2 英語セミナーF2
海外英語研修	-	海外英語研修（注）	-	-

（注）1・2年次のみ履修可

②履修方法

選択外国語科目は全て抽選登録が必要となります。

「海外英語研修」については、グローバル教育推進センターにおいて、申込み手続きを行ってください（Web履修登録不要）。

③先修制

選択外国語科目には下記のとおり先修制が定められていますので履修には注意が必要です。

授業科目等	履修の要件となる授業科目名および単位数
ドイツ語セミナーⅠA、ⅠB	「ドイツ語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」の中からいずれかの1単位の修得

フランス語セミナーⅠA、ⅠB	「フランス語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」の中からいずれかの1単位の修得
中国語セミナーⅠA、ⅠB	「中国語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」の中からいずれかの1単位の修得
コリア語セミナーⅠA、ⅠB	「コリア語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB」の中からいずれかの1単位の修得

4. 教養科目

教養科目は、「人文科学系科目」「社会科学系科目」「自然科学系科目」「スポーツ科学系科目」の4つの系列に分類されており、各系列から偏りなく履修することを通じ、幅広い教養を身につけることを可能にしています。全ての教養科目は自由に選択できますが、選択必修として「人文科学系科目」「社会科学系科目」に設置されている基幹科目（学びの入門となる科目や諸学の基本を学ぶ科目）の中から各1科目（2単位）以上修得する必要があります。なお、2単位を超えて修得した基幹科目の単位については、教養教育科目の選択科目として単位認定されます。

人文科学系科目

人文科学は、人間の様々な文化や過去の経験を研究する学問領域で、大きくは文学、哲学、歴史学、宗教学、心理学、教育学などに分かれます。人文科学系科目では、先入観や偏見から自由になってものごとを考える力、芸術作品を鑑賞する能力、感情や意見の表現の仕方、人間の心理を理解する方法などを身につけることを目的にしています。

社会科学系科目

社会科学（社会学、経済学、法学、政治学など）は、絶えず変動し複雑さを増す現代社会を広く見渡すとともに、現代社会の諸問題を多角的に捉え、思考・判断する力を養います。そのために、様々な学問分野が培ってきた「ものの見方」や「考え方」、さらには幅広い知識や知的な諸技法を学びます。

自然科学系科目

自然科学は社会生活を送るうえで重要な分野の一つをなしています。社会人になってからの生活や社会活動の際に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養います。数学、情報科学、物理学、天文学、科学史、地球科学、生物学、環境学、化学などの主要分野をカバーする科目を開設します。

スポーツ科学系科目

生涯にわたり健康で文化的な生活の基礎を築くとともに、文化としてのスポーツに対する理解を促し、現代社会におけるスポーツの役割や人間の身体がもつ可能性について考える機会とするための科目を設定しています。具体的には実際にスポーツや身体活動を行う実習科目や行動変容を促す講義科目を開設します。

※「スポーツ技術学」の履修

「スポーツ技術学A、B（各1単位）」は、必修科目です。配当されたセメスターにおいて必ず履修してください。

①履修方法

科目	開講	履修方法	再履修
スポーツ技術学A	1セメ	入学前に「Web入学手続」で登録した希望種目を参考にクラス指定を行います。 指定されたクラスにて履修登録してください。	ポータルサイトで周知を行います。 通常の抽選登録とは異なるスケジュールとなるので必ずポータルサイト等を確認してください。
スポーツ技術学B	2セメ		

②再履修

スポーツ技術学A、Bが不合格になった場合は、当該科目を再履修しなければなりません。

「スポーツ技術学A、B（再）」は抽選登録が必要となりますが、通常のスケジュールや運用とは異なります。

履修方法等については、ポータルサイト等で周知しますので、必ず確認を行ってください。

5. 教養教育科目の抽選登録科目

教養教育科目のうち、下記の科目は、教育環境、授業密度を考慮し、受講者数を適正規模に調整するため、抽選登録科目としています。抽選の結果にしたがって履修登録を行ってください。

抽選登録科目は、学期ごとに定められている履修制限単位数に基づき、履修計画をたてた上で登録を行ってください。

- ① 「英語総合（再）」
- ② 「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「コリア語」の各選択外国語科目。
- ③ 「英語セミナー」、「ドイツ語セミナー」、「フランス語セミナー」、「中国語セミナー」、「コリア語セミナー」の各科目。
- ④ 「自然観察法」
- ⑤ 「スポーツ技術学A、B（再）」※通常の抽選登録科目とは取り扱いが異なります。

なお、上記以外の科目においても抽選を行う場合があります。ポータルサイトで周知を行いますので、必ず履修登録期間に確認をしてください。

抽選の結果、受講が許可された科目は、Web履修登録画面にあらかじめ確定した状態で表示されます。その場合、登録の取消はできませんので注意してください。

(1) 抽選登録科目の登録方法

本学ホームページの「ポータルサイト」から、Web履修登録画面にアクセスの上、希望する抽選登録科目を選択します。

履修登録期間については、履修説明会およびポータルサイトで確認してください。

(2) 抽選登録科目の結果発表

結果はWeb履修登録画面で確認してください。

なお、発表日時（履修登録期間）については、履修説明会およびポータルサイトで確認してください。

(3) 抽選登録科目の履修登録に関する注意事項

- ① 第1学期（前期）履修登録は、第1学期（前期）開講科目と通年科目および8月と9月に開講されるサマーセッション科目を登録します。第2学期（後期）履修登録は、第2学期（後期）開講科目を登録します（ただし、4年次生以上は、第1学期（前期）に第2学期（後期）開講科目を含む通年分の履修登録をする必要があります）。
- ② 各年次について定められている抽選登録科目の上限履修登録数および履修登録制限単位の範囲で履修登録をしてください。
- ③ 重複登録（同一曜講時に2科目以上の履修登録をすること）、二重登録（すでに修得した科目（既修得科目）を再度登録すること、および同時に同一科目を2科目以上登録すること）をした場合、当該科目はすべて無効となります。

6. 日本語科目等（留学生対象科目）

留学生を対象に、「日本語」を開講しています。
履修・登録にあたっては必ず理工学部教務課窓口で相談してください。

科目名	単位	配当年次	履修単位の取 扱
日本語	1	1年次以上	教養教育科目の選択科目 (卒業要件単位として認定)

7. 教養教育科目開設科目

「仏教の思想」科目

- ◎は必修科目
- は選択必修科目／基幹科目
- は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター		備考
		1年次	2年次	

		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
仏教の思想 A	2	◎				2科目（4単位）必修
仏教の思想 B	2		◎			
歎異抄の思想 I	2			○		
歎異抄の思想 II	2				○	

言語科目

◎は必修科目

●は選択必修科目／基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
英語総合1（A）	1	◎				6科目（6単位）必修
英語総合1（B）	1	◎				
英語総合2（A）	1		◎			
英語総合2（B）	1		◎			
英語総合3	1			◎		
英語総合4	1				◎	
英語セミナーA1	2	○				
英語セミナーA2	2		○			
英語セミナーB1	2			○		
英語セミナーB2	2				○	
英語セミナーC1	2			○		
英語セミナーC2	2				○	
英語セミナーD1	2			○		
英語セミナーD2	2				○	
英語セミナーE1	2			○		
英語セミナーE2	2				○	
英語セミナーF1	2			○		
英語セミナーF2	2				○	
英語セミナーG1	2	○				
英語セミナーG2	2		○			

海外英語研修	2		○			1・2年次のみ履修可
ドイツ語ⅠA	1	○				
ドイツ語ⅠB	1	○				
ドイツ語ⅡA	1		○			
ドイツ語ⅡB	1		○			
フランス語ⅠA	1	○				
フランス語ⅠB	1	○				
フランス語ⅡA	1		○			
フランス語ⅡB	1		○			
中国語ⅠA	1	○				
中国語ⅠB	1	○				
中国語ⅡA	1		○			
中国語ⅡB	1		○			
コリア語ⅠA	1	○				
コリア語ⅠB	1	○				
コリア語ⅡA	1		○			
コリア語ⅡB	1		○			
ドイツ語セミナーⅠA	2			○		
ドイツ語セミナーⅠB	2				○	
フランス語セミナーⅠA	2			○		
フランス語セミナーⅠB	2				○	
中国語セミナーⅠA	2			○		
中国語セミナーⅠB	2				○	
コリア語セミナーⅠA	2			○		
コリア語セミナーⅠB	2				○	
日本語	1	○				留学生対象科目

教養科目（人文科学系科目）

◎は必修科目

●は選択必修科目／基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	

哲学入門	2	●				(※1)
倫理学入門	2	●				
倫理学A	2	●				
クリティカル・シンキング	2	●				
宗教学のすすめ	2	●				
宗教の世界	2	●				
日本の文学M	2	●				
日本の文学N	2		●			
アジアの文学A	2	●				
アジアの文学B	2	●				
西洋の文学A	2	●				
西洋の文学B	2			●		
言語学入門	2	●				
歴史入門	2	●				
日本の歴史M	2	●				
日本の歴史N	2		●			
日本の文化	2	●				
西洋の歴史M	2	●				
西洋の歴史N	2	●				
心理学入門	2	●				
教育原論A	2	●				
教育原論B	2		●			
倫理学B	2			○		
アジアの歴史M	2			○		
アジアの歴史N	2				○	
アジアの文化	2			○		
心理学A	2			○		
心理学B	2				○	
学習・発達論A	2			○		
学習・発達論B	2				○	

(※1) …1科目（2単位以上）必修

教養科目（社会科学系科目）

○は必修科目

●は選択必修科目／基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
日本国憲法	2	●				(※1)
法学のすすめ	2	●				
政治学のすすめ	2	●				
社会学のすすめ	2	●				
地理学のすすめ	2	●				
経済学のすすめ	2	●				
経営学のすすめ	2	●				
国際学のすすめ	2	●				
文化人類学のすすめ	2	●				
社会調査のすすめ	2	●				
社会統計学のすすめ	2	●				
人権論 A	2	○				
人権論 B	2		○			
現代社会とメディア	2			○		
現代社会と福祉	2			○		
現代社会と法	2			○		
現代社会と労働	2			○		
現代社会の諸問題	2			○		
環境と社会	2			○		
平和学 A	2			○		
ジェンダー論	2			○		
国際社会論	2			○		
地域論	2			○		
企業と会計	2			○		
社会思想史	2			○		
情報倫理	2			○		
情報社会とメディア	2	○				
データサイエンス・AⅠ入門	2	○				

(※1) …1科目 (2単位以上) 必修

教養科目（自然科学系科目）

- ◎は必修科目
- は選択必修科目／基幹科目
- は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
生活の中の数学	2	○				★
生活の中の統計技術	2	○				
生活の中の化学	2	○				★ 応用化学課程では履修不可
生活の中の物理	2	○				★
生活の中の生物学	2	○				★
生活の中の地学	2		○			
生命と科学	2			○		
現代の技術	2		○			
自然観察法	2			○		
里山学	2	○				
植物の自然誌	2		○			
環境の科学	2			○		
人類の科学	2			○		
情報と人間	2		○			
現代社会と栄養	2	○				

教養科目（スポーツ科学系科目）

- ◎は必修科目
- は選択必修科目／基幹科目
- は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
スポーツ技術学A	1	◎				2科目（2単位）必修
スポーツ技術学B	1		◎			
健康とスポーツ	2			○		

現代社会とスポーツ	2		○			
スポーツ文化論	2			○		

教養教育科目特別講義

◎は必修科目

●は選択必修科目／基幹科目

○は選択科目

授業科目名	単位数	配当年次・セメスター				備考
		1年次		2年次		
		前	後	前	後	
		1	2	3	4	
教養教育科目特別講義	2	○				1科目（2単位）まで卒業要件単位として認める

注意事項

- 各印は配当セメスターを示しています。ただし、それ以上の学年・セメスターであれば受講可能です（一部例外あり）。
（例：1年次配当科目であれば、2年次以降生も受講可能）
- 上記配当セメスターに関わらず、開講セメスターは年度により変更することがあります。
また、年度により不開講になることがあります。詳細は、時間割冊子およびWeb履修登録画面で確認してください。
- ★印の4科目のうち、卒業要件として認められるのは1科目2単位までです（余剰分はフリーゾーンにも計上されません）。
- 同一の科目名で授業担当者が異なる場合でも同一科目として取り扱います。
よって、同じセメスターにおいて、二つ以上同時に履修することや一度単位認定された科目を再度履修することはできません。
- 同一の科目名でありながら、「○○A」「○○B」「○○M」「○○N」とある科目や「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」とある科目は、それぞれ独立した科目であり、いずれも卒業要件として認定されます。「○○A」という科目を修得していなくても、「○○B」の履修は可能です。なお、「○○Ⅰ」「○○Ⅱ」の「Ⅰ」「Ⅱ」は科目内容のグレードを表していますので、できるだけ順序だてて履修してください。
- 「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは1科目（2単位）までです。
（余剰分はフリーゾーンにも計上されません。）